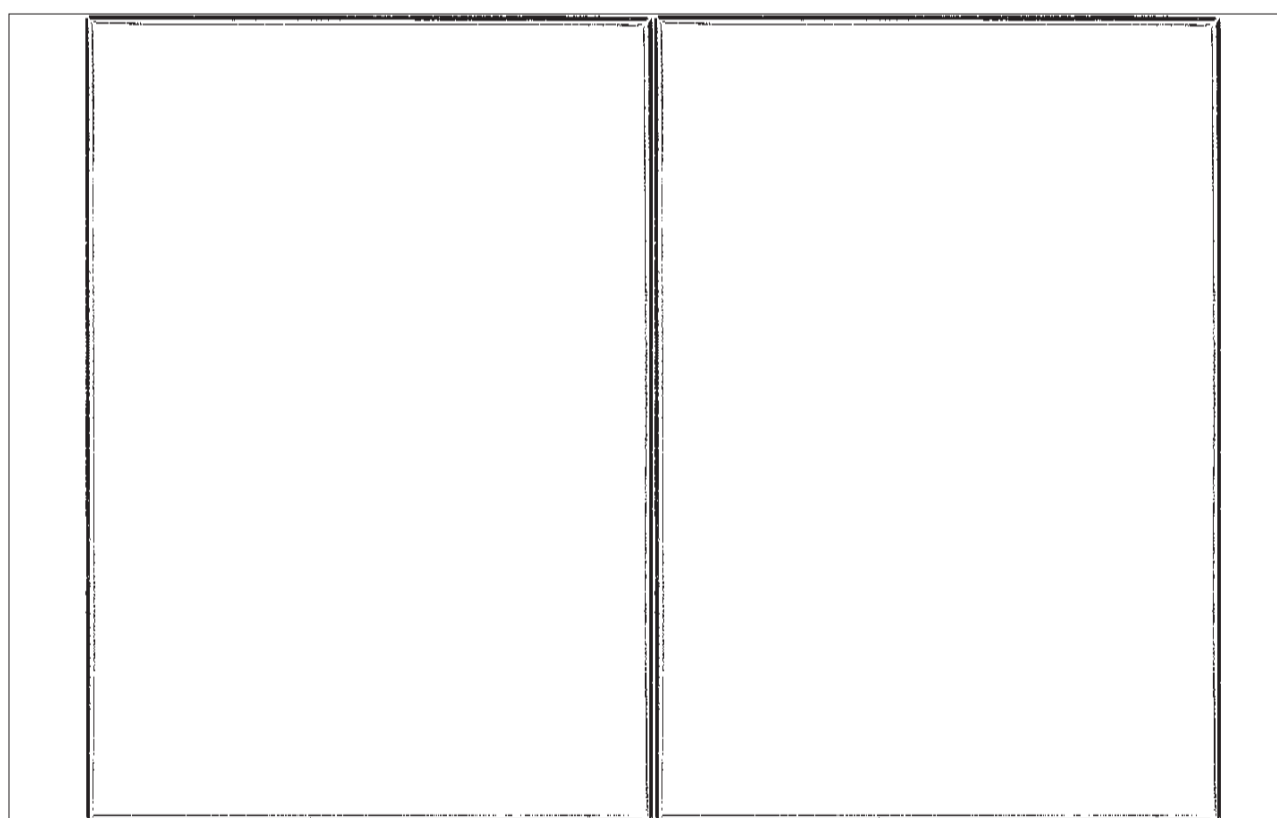
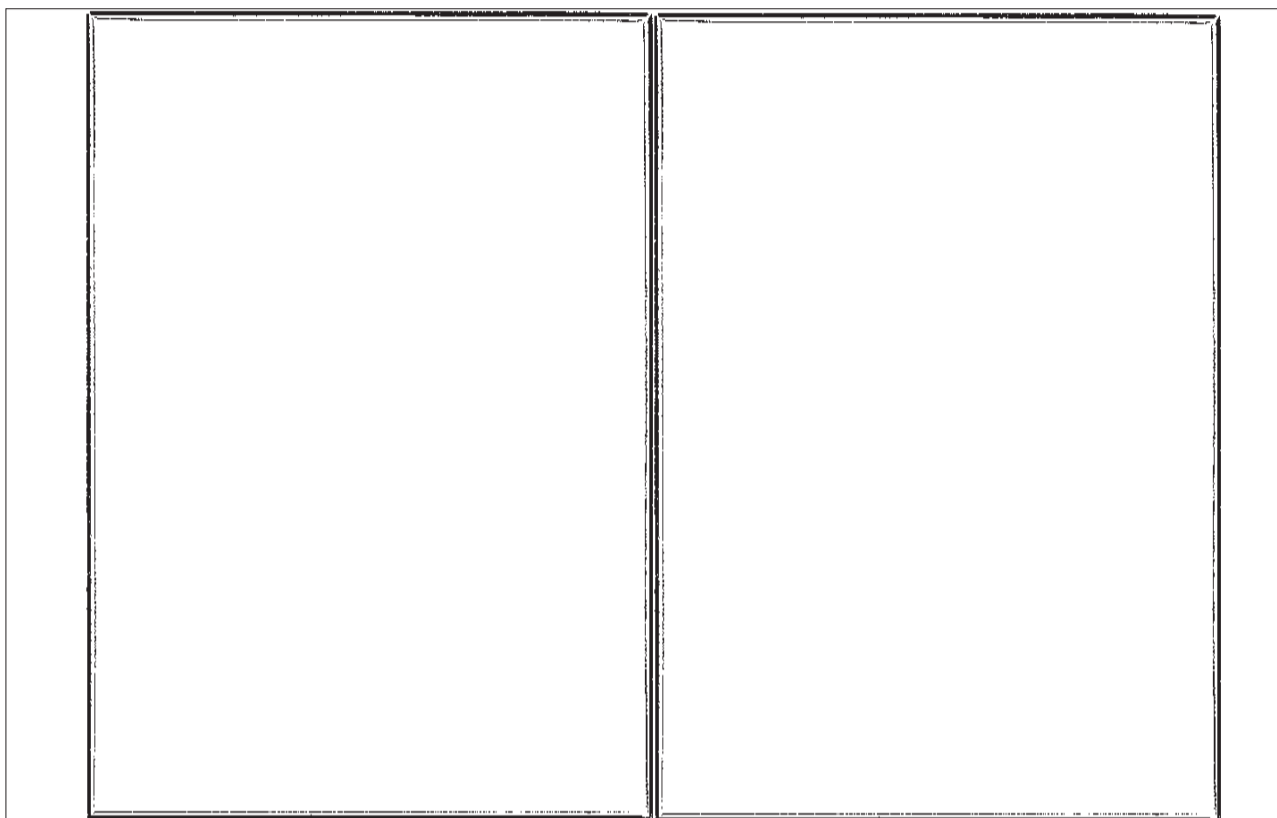


昭和四年民團事務報告書

附 民團財產明細書

天津居留民團

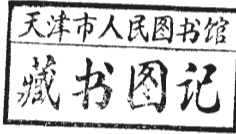




昭和四年天津居留民團事務報告目次

第一、庶務部

一、行政委員	一七
二、行政委員會決議事項	一七
三、會計検査委員	一八
四、諸規則の制定及改正	一八
イ、天津日本義勇隊表彰規程	一九
ロ、巡捕給與規則	一九
ハ、巡捕貯金規則	二〇
ニ、請願巡捕規則	二〇
ホ、天津療病院規程	二一
ヘ、天津居留民團勤務時間及休日改正ノ件	二二
ト、電氣供給規程中改正ノ件	二二
チ、實業復興資金特別會計條例	二三
リ、興業資金貸付委員會條例	二三
ス、興業資金貸付條例	二四



(1) (2)

ル、興業資金貸付細則	三三
オ、天津居留民團金融部規程	三三
五、豫備費支出の件	三七
六、特別委員囑託	三八
イ、課金調査委員	三八
ロ、民團法規調査特別委員	四〇
ハ、興業資金貸付委員	四二
七、臨時民會	四二
八、民團二十年誌編纂事務經過ノ件	四三
九、天津日本人商業會議所へ臨時經營補助の件	四四
一〇、第三回北支那日本小學校校長會議開催の件	四四
一一、民團對張文郡土地訴訟事件完結の件	四八
一二、在支居留民團及商工會議所聯合會開催方提議の件	四九
一三、花旗銀行團債更新契約締結の件	五三
一四、山口街陸軍倉庫並開口宿舎移轉に關する交渉完結の件	五三
一五、天津製氷冷蔵株式會社株式應募の件	五九
一六、民會議員移動並現在員	五九
一七、昭和四年中受附寄附金品	六一
一八、吏員及雇員の移動並に現在員	六三

第二、學務部

一、天津高等女學校	六八
二、天津尋常高等小學校	七八
三、第三回北支日本小學校校長會議報告書	九三
四、天津幼稚園	一一二
五、圖書館	一一六

第三、調査部

一、一般戸口調査	一四〇
二、課金調査委員會	一四〇
三、土地家屋台帳地籍圖ニ關スル事項	一四四
四、雜件	一四四
五、諸統計表	一四五
イ、戸口統計一覽表	一四六
ロ、租界内日本人戸口表	一四七
ハ、租界外日本人戸口表	一四九
ニ、朝鮮人戸口表	一五〇

(3) (4)

第四、財務部

一、出納検査	一六一
二、課金使用料其他徴收量況	一六二
三、電車公司及水道公司利益配當金受領ノ件	一六三
四、教育費國庫補助金	一六三
五、民團課金雜種課金及工巡費負擔者數	一六四

(5)

イ、土地課金	一六四
ロ、家屋課金	一六五
ハ、取得課金	一六七
ニ、營業課金	一六八
ホ、工巡費	一七一
ヘ、常設興行	一七一
ト、日本藝妓	一七二
チ、酌藝妓	一七二
リ、支那藝妓	一七三
六、各種寄附金	一七三
七、昭和二年居留民團歲入出決算書	一八一
八、昭和二年特別會計電氣歲入出決算書	二〇一
九、昭和四年居留民團歲入出豫算書	二〇七
一〇、昭和四年特別會計電氣歲入出豫算書	二三四
一一、昭和四年居留民團歲入出追加豫算書	二四〇
一二、昭和四年居留民團歲入出追加豫算書	二四二
一、土木	二四三
二、	二四三
三、	二四三
四、	二四三
五、	二四三
六、	二四三
七、	二四三
八、	二四三
九、	二四三
一〇、	二四三
一一、	二四三
一二、	二四三
一三、	二四三
一四、	二四三
一五、	二四三
一六、	二四三
一七、	二四三
一八、	二四三
一九、	二四三
二〇、	二四三
二一、	二四三
二二、	二四三
二三、	二四三
二四、	二四三
二五、	二四三
二六、	二四三
二七、	二四三
二八、	二四三
二九、	二四三
三〇、	二四三
三一、	二四三
三二、	二四三
三三、	二四三
三四、	二四三
三五、	二四三
三六、	二四三
三七、	二四三
三八、	二四三
三九、	二四三
四〇、	二四三
四一、	二四三
四二、	二四三
四三、	二四三
四四、	二四三
四五、	二四三
四六、	二四三
四七、	二四三
四八、	二四三
四九、	二四三
五〇、	二四三
五一、	二四三
五二、	二四三
五三、	二四三
五四、	二四三
五五、	二四三
五六、	二四三
五七、	二四三
五八、	二四三
五九、	二四三
六〇、	二四三
六一、	二四三
六二、	二四三
六三、	二四三
六四、	二四三
六五、	二四三
六六、	二四三
六七、	二四三
六八、	二四三
六九、	二四三
七〇、	二四三
七一、	二四三
七二、	二四三
七三、	二四三
七四、	二四三
七五、	二四三
七六、	二四三
七七、	二四三
七八、	二四三
七九、	二四三
八〇、	二四三
八一、	二四三
八二、	二四三
八三、	二四三
八四、	二四三
八五、	二四三
八六、	二四三
八七、	二四三
八八、	二四三
八九、	二四三
九〇、	二四三
九一、	二四三
九二、	二四三
九三、	二四三
九四、	二四三
九五、	二四三
九六、	二四三
九七、	二四三
九八、	二四三
九九、	二四三
一〇〇、	二四三

(6)

一、處理事項	二四三
二、工事施行	二四四
三、街樹	二六七
四、公園	二六九
五、防道	二七三
六、水道	二八〇
七、建築	二八七
八、(一)處理事項	二八七
九、(二)工事施行	二八七
一〇、	二八七
一一、	二八七
一二、	二八七
一三、	二八七
一四、	二八七
一五、	二八七
一六、	二八七
一七、	二八七
一八、	二八七
一九、	二八七
二〇、	二八七
二一、	二八七
二二、	二八七
二三、	二八七
二四、	二八七
二五、	二八七
二六、	二八七
二七、	二八七
二八、	二八七
二九、	二八七
三〇、	二八七
三一、	二八七
三二、	二八七
三三、	二八七
三四、	二八七
三五、	二八七
三六、	二八七
三七、	二八七
三八、	二八七
三九、	二八七
四〇、	二八七
四一、	二八七
四二、	二八七
四三、	二八七
四四、	二八七
四五、	二八七
四六、	二八七
四七、	二八七
四八、	二八七
四九、	二八七
五〇、	二八七
五一、	二八七
五二、	二八七
五三、	二八七
五四、	二八七
五五、	二八七
五六、	二八七
五七、	二八七
五八、	二八七
五九、	二八七
六〇、	二八七
六一、	二八七
六二、	二八七
六三、	二八七
六四、	二八七
六五、	二八七
六六、	二八七
六七、	二八七
六八、	二八七
六九、	二八七
七〇、	二八七
七一、	二八七
七二、	二八七
七三、	二八七
七四、	二八七
七五、	二八七
七六、	二八七
七七、	二八七
七八、	二八七
七九、	二八七
八〇、	二八七
八一、	二八七
八二、	二八七
八三、	二八七
八四、	二八七
八五、	二八七
八六、	二八七
八七、	二八七
八八、	二八七
八九、	二八七
九〇、	二八七
九一、	二八七
九二、	二八七
九三、	二八七
九四、	二八七
九五、	二八七
九六、	二八七
九七、	二八七
九八、	二八七
九九、	二八七
一〇〇、	二八七

(7)

一、傳染病	三〇〇
二、保健及防疫	三〇七
三、出生ニ關スル事項	三一六
四、死亡ニ關スル事項	三一七
五、狂犬病豫防ニ關スル事項	三二一
六、療病院ノ狀況	三二二
一、清潔法施行	三二七
二、道路撒水	三二八
三、道路掃除	三二九
四、除雪	三三一
五、公設下水道掃除及汚水池液瀦	三三一
六、私設下水道掃除及汚水汲取	三三三
七、塵芥收去	三三五
八、尿尿收去	三三六
九、冷蔵用天然氷配給	三三七
一、隊員及役員異動	三三八
二、教育及訓練	三三八
三、隊員表彰及弔慰	三四〇
四、本隊の經理	三四一
一、天津邦人實業復興資金貸下請願運動ノ經過	三四二
二、請願運動ノ起因	三四二
三、請願ニ對スル行政委員會ノ經過	三四七
四、民會ニ對スル請願運動經過報告	三五二
五、第一生命保險相互會社ヨリ金參拾萬圓借入ノ契約	三五四
六、實業復興資金運用ニ關スル諸條例ノ制定	三五八
七、實業復興資金運用ニ關スル諸條例ノ公布ト金融部開設	三五八
八、金融部事務報告	三五九
九、	三五九
一〇、	三五九
一一、	三五九
一二、	三五九
一三、	三五九
一四、	三五九
一五、	三五九
一六、	三五九
一七、	三五九
一八、	三五九
一九、	三五九
二〇、	三五九
二一、	三五九
二二、	三五九
二三、	三五九
二四、	三五九
二五、	三五九
二六、	三五九
二七、	三五九
二八、	三五九
二九、	三五九
三〇、	三五九
三一、	三五九
三二、	三五九
三三、	三五九
三四、	三五九
三五、	三五九
三六、	三五九
三七、	三五九
三八、	三五九
三九、	三五九
四〇、	三五九
四一、	三五九
四二、	三五九
四三、	三五九
四四、	三五九
四五、	三五九
四六、	三五九
四七、	三五九
四八、	三五九
四九、	三五九
五〇、	三五九
五一、	三五九
五二、	三五九
五三、	三五九
五四、	三五九
五五、	三五九
五六、	三五九
五七、	三五九
五八、	三五九
五九、	三五九
六〇、	三五九
六一、	三五九
六二、	三五九
六三、	三五九
六四、	三五九
六五、	三五九
六六、	三五九
六七、	三五九
六八、	三五九
六九、	三五九
七〇、	三五九
七一、	三五九
七二、	三五九
七三、	三五九
七四、	三五九
七五、	三五九
七六、	三五九
七七、	三五九
七八、	三五九
七九、	三五九
八〇、	三五九
八一、	三五九
八二、	三五九
八三、	三五九
八四、	三五九
八五、	三五九
八六、	三五九
八七、	三五九
八八、	三五九
八九、	三五九
九〇、	三五九
九一、	三五九
九二、	三五九
九三、	三五九
九四、	三五九
九五、	三五九
九六、	三五九
九七、	三五九
九八、	三五九
九九、	三五九
一〇〇、	三五九

(8)

一、隊員及役員異動	三三八
二、教育及訓練	三三八
三、隊員表彰及弔慰	三四〇
四、本隊の經理	三四一
一、天津邦人實業復興資金貸下請願運動ノ經過	三四二
二、請願運動ノ起因	三四二
三、請願ニ對スル行政委員會ノ經過	三四七
四、民會ニ對スル請願運動經過報告	三五二
五、第一生命保險相互會社ヨリ金參拾萬圓借入ノ契約	三五四
六、實業復興資金運用ニ關スル諸條例ノ制定	三五八
七、實業復興資金運用ニ關スル諸條例ノ公布ト金融部開設	三五八
八、金融部事務報告	三五九
九、	三五九
一〇、	三五九
一一、	三五九
一二、	三五九
一三、	三五九
一四、	三五九
一五、	三五九
一六、	三五九
一七、	三五九
一八、	三五九
一九、	三五九
二〇、	三五九
二一、	三五九
二二、	三五九
二三、	三五九
二四、	三五九
二五、	三五九
二六、	三五九
二七、	三五九
二八、	三五九
二九、	三五九
三〇、	三五九
三一、	三五九
三二、	三五九
三三、	三五九
三四、	三五九
三五、	三五九
三六、	三五九
三七、	三五九
三八、	三五九
三九、	三五九
四〇、	三五九
四一、	三五九
四二、	三五九
四三、	三五九
四四、	三五九
四五、	三五九
四六、	三五九
四七、	三五九
四八、	三五九
四九、	三五九
五〇、	三五九
五一、	三五九
五二、	三五九
五三、	三五九
五四、	三五九
五五、	三五九
五六、	三五九
五七、	三五九
五八、	三五九
五九、	三五九
六〇、	三五九
六一、	三五九
六二、	三五九
六三、	三五九
六四、	三五九
六五、	三五九
六六、	三五九
六七、	三五九
六八、	三五九
六九、	三五九
七〇、	三五九
七一、	三五九
七二、	三五九
七三、	三五九
七四、	三五九
七五、	三五九
七六、	三五九
七七、	三五九
七八、	三五九
七九、	三五九
八〇、	三五九
八一、	三五九
八二、	三五九
八三、	三五九
八四、	三五九
八五、	三五九
八六、	三五九
八七、	三五九
八八、	三五九
八九、	三五九
九〇、	三五九
九一、	三五九
九二、	三五九
九三、	三五九
九四、	三五九
九五、	三五九
九六、	三五九
九七、	三五九
九八、	三五九
九九、	三五九
一〇〇、	三五九

# 昭和四年天津居留民團事務報告

大正十四年一月總領事館令第一號第二十條の規定に遵ひ昭和四年一月より全十二月に至る一箇年間に於ける本民團事務の概要を報告すること左の如し

## 第一、庶務部

### 一、行政委員

昭和三年十二月二日改選の行政委員は昭和四年三月全部辭任し、全月開會の居留民會臨時會に於て之に付選舉を行ひ、全年十二月五日居留民會臨時會に於て再び改選せらるる本年中に於ける行政委員長並副會長、會計主任、行政委員を擧ぐれば左の如し

會長 田村俊次 昭和三年十二月就任 昭和四年三月辭任  
 副會長 上野壽 昭和四年四月就任 昭和四年十二月任期満了  
 田村俊次 昭和四年十二月就任  
 副會長 勝田重直 昭和三年十二月就任 昭和四年四月重任

(1) (2)

石川通 昭和四年十二月任期満了  
 會計主任 石川通 昭和三年十二月就任 昭和四年三月辭任  
 田中鑄太郎 昭和四年四月就任 昭和四年十二月任期満了  
 大澤大之助 昭和四年十二月就任  
 行政委員 上野壽 昭和三年十二月重任 昭和四年三月辭任  
 藤田重直 全 就任  
 勝田重直 全 就任  
 金井潤三 全 就任  
 大澤大之助 全 就任  
 石川通 全 就任  
 白井忠三 全 就任  
 利根川久 全 就任  
 牧尚一 全 就任  
 田村俊次 全 重任  
 藤田重直 全 重任  
 田村俊次 全 重任  
 田村俊次 全 重任

(3) (4)

岡本久雄 就任 全  
 大澤大之助 重任 全  
 松尾豊實 就任 全  
 田中鑄太郎 就任 全  
 白井忠三 重任 全  
 土岐正直 就任 昭和四年九月辭任  
 勝田重直 重任 昭和四年十二月満了  
 上野壽 全  
 遠山猛雄 全  
 石川通 昭和四年九月上任 全  
 勝田重直 昭和四年十二月就任 全  
 田中鑄太郎 全  
 古田治四郎 全  
 田村俊次 全  
 永安平吉 全  
 大澤大之助 全  
 武田守信 全  
 川島範彦 全  
 眞藤榮生 全

豫備行政委員 小倉章 昭和三年十二月就任 昭和四年三月辭任  
 岡本久雄 全 全  
 古田治四郎 全 全  
 松尾豊實 全 全  
 遠山猛雄 全 全  
 石川通 全 昭和四年四月就任 昭和四年九月行政委員上任 昭和四年十二月任期満了  
 古田治四郎 全 全  
 植松眞經 全 全  
 川島範彦 全 全  
 那茂行 全 昭和四年十二月就任  
 長谷川義三郎 全  
 孫潤宇 全  
 潮底正敏 全  
 金山喜八郎 全

二、行政委員會決議事項  
 本年中に於ける行政委員會開會回数五十四回總覽決議八回にして其決議事項左の如し





(13)

八月三十日	一、低利資金借入に關する件	可決
九月四日	一、土木材料倉庫新設の件	懸案
	一、昭和四年度取得課金負擔額「追加二」決定の件	可決
	一、昭和四年度營業課金負擔等級「追加二」決定の件	可決
	一、昭和四年度營業課金負擔等級決定に對し異議申立に付再決定の件	可決
	一、雜種課金(常設興行)負擔等級決定の件	可決
	一、人事に關する件	可決
九月十一日	一、三島街歩道修築工事施行の件	可決
	一、第一生命保險相互會社低利資金借入契約書案に關する件	修正可決
九月十八日	一、昭和四年度取得課金負擔額「追加三」決定の件	可決
	一、昭和四年度營業課金負擔等級「追加三」決定の件	可決
	一、昭和四年度營業課金負擔等級決定に對し異議申立に付再決定の件	可決
	一、電氣調査委員會設置に關する件	可決
	一、橫濱菊治貸下低利資金に關し勞錫英高閣齋より出願の件	委員銓衡會長一任
	一、人事に關する件	可決

(14)

九月二十五日	一、在支日本居留民聯合會加入の件	猶研究の旨回答
	一、低利資金借入に關する件	延期
	一、個人鑿井取締に關する件	懸案
	一、昭和四年度取得課金負擔額「追加四」決定の件	可決
	一、昭和四年度營業課金負擔等級異議申立再決定の件	可決
	一、土地貸下料決定の件	懸案
十月三日	一、道路用碎石購入の件	可決
	一、本年度下半年期實行豫算審査の件	可決
	一、巡捕被服購入の件	懸案
	一、土地貸下料決定の件	條件附保留
	一、臨時民會議案に關する件	修正可決
十月七日	一、天津製氷冷蔵株式會社より電力料金減價請願の件	可決
十月九日	一、本年度下半年期實行豫算審査の件	可決
十月二十四日	一、消防用唧筒自動車購入の件	撤回協議事項として承認
		可決

(15)

	一、實業復興資金運用方法に關する件	調査委員選定依頼
	一、花旗銀行更新契約締結に關する件	可決
	一、第一生命保險相互會社を關する契約締結の件	會長一任
十月三十一日(總覽決議)	一、低利資金借入に關する件	可決
十一月六日	一、民會議員選舉人名簿決定の件	可決
	一、ケーブル線並に電線購入の件	可決
十一月二十日	一、辯護士報酬に關する件	懸案
	一、住吉街より軍隊池に至る道路修繕工事の件	可決
十一月二十七日	一、實業復興資金特別會計條例案	修正可決
	一、興業資金貸付條例案	一部可決
十一月二十八日	一、興業資金貸付條例案	修正可決
	一、興業資金貸付條例案	修正可決
	一、昭和四年度居留民團歲入出追加豫算案	修正可決
	一、昭和四年度居留民團特別會計實業復興資金歲入出豫算案	修正可決

(16)

	一、特別會計埠頭築造費不足額を一般會計より支出の件	可決
十一月四日	一、陸軍用地交換契約修正の件	可決
	一、天津居留民團金融部規程案	修正可決
	一、豫備費支出の件	可決
十一月六日	一、行政委員會會長選舉	田村委員當選
	一、會計主任選舉	石川委員當選
十一月九日	一、興業資金貸付委員推薦の件	大澤委員當選
	一、課金調査委員會の件	候補者中決定會長一任
	一、民團法規調査特別委員會の件	可決
	一、第一相互會社借入金取寄方法に關する件	會計主任一任
十二月十二日	一、豫備費支出決議取消の件	可決
	一、民團法規調査特別委員會補選の件	可決
十二月十八日	一、人事に關する件	可決



(18)

(17)

<p>昭和三末より昭和四年中に於ける會計検査委員の異動左の如し</p> <p>田中 鑄太郎 (昭和三年十二月二日當選)</p> <p>藤 平 正男 (全)</p> <p>筒井 精逸 (全)</p> <p>田中 鑄太郎 (昭和四年四月行政委員就任に付解任)</p> <p>鍛冶 静一郎 (昭和四年十月十五日當選)</p> <p>鍛冶 静一郎 (昭和四年十二月五日改選)</p> <p>藤 平 正男 (昭和四年十二月五日改選)</p> <p>中村 鐵一 (全)</p> <p>四、諸規則の制定及改正</p> <p>(1) 天津日本義勇隊表彰規程 (二月行政委員會議)</p> <p>第一條 本隊々員ノ名譽ヲ表彰スル爲メニ精勳章及勳功章ヲ付與ス</p> <p>第二條 精勳章ハ隊員入隊後一箇年以上経過シ隊務精勵成績優良ナル者ニ對シ隊長之ヲ付與ス</p> <p>第三條 勳功章ハ隊員中精勳章參個ヲ有シ且引續キ隊務精勵成績優秀ナル者ニ對シ隊長之ヲ付與ス</p> <p>第四條 勳功章ハ一人一回ノ外付與スルコトナシ</p> <p>第五條 精勳章及勳功章ノ制式ハ附圖ニ依ル</p> <p>第六條 精勳章及勳功章ヲ付與スヘキモノアル時ハ本部ハ各主任其他ハ班長、中隊長ヨリ順序ヲ經テ隊長ニ上申スルモノトス</p> <p>第七條 隊長精勳章及勳功章ヲ付與セントスル時ハ證據ヲ添ヘ之ヲ授與スヘシ</p> <p>第八條 精勳章及勳功章ヲ付與スルトキハ本隊整列ノ前ニ於テ隊長之ヲ授與スルモノトス</p>	<p>一、民團吏員其他年末慰勞金に關する件 可決</p> <p>一、興業資金貸付細則案承認の件 可決</p> <p>十二月二十四日</p> <p>一、昭和四年度家屋課金負擔額(追加二)決定の件 可決</p> <p>一、昭和四年度取得課金負擔額(追加五)決定の件 可決</p> <p>一、昭和四年度營業課金負擔等級(追加四)決定の件 可決</p> <p>一、天津公共客運汽車公司より願出の件 條件附許可</p> <p>一、牛乳營業者取締規則案上申の件 可決</p> <p>十二月二十六日</p> <p>一、人事に關する件 可決</p> <p>三、會計検査委員</p>
--	--

(20)

(19)

<p>附 則</p> <p>本規程ハ本隊ノ成立昭和二年五月二十四日ニ遡リ之ヲ適用ス</p> <p>(制式圖略)</p> <p>(ロ) 巡捕給與規則 (二月二十七日行政委員會議)</p> <p>第一條 巡捕ハ左ノ十六級トス</p> <p>一級 俸 四拾 弗</p> <p>二級 俸 參拾 五弗</p> <p>三級 俸 參拾 弗</p> <p>四級 俸 貳拾 七弗</p> <p>五級 俸 貳拾 四弗</p> <p>六級 俸 貳拾 貳弗</p> <p>七級 俸 貳拾 弗</p> <p>八級 俸 拾 八弗</p> <p>九級 俸 拾 六弗</p> <p>十級 俸 拾 五弗</p> <p>十一級 俸 拾 四弗</p> <p>十二級 俸 拾 參弗</p> <p>十三級 俸 拾 貳弗</p> <p>十四級 俸 拾 壹弗</p> <p>十五級 俸 拾 弗</p> <p>十六級 俸 拾 弗</p> <p>此限リニ在ラス</p> <p>十四級俸以下ノ者 三箇月</p> <p>十三級以上十級俸以下ノ者 六箇月</p> <p>九級俸以上五級俸以下ノ者 壹箇年</p> <p>四級俸以上二級俸以下ノ者 貳箇年</p> <p>昇給ハ第一條記載ノ順序ニ依ル</p> <p>第一條 一級俸ヲ受ケ在職五年以上ニ至リタル者及五年ニ至ラサルモ特ニ功勞顯著ナル者ニハ月額拾弗以内ノ加俸ヲ給スルコトヲ得</p> <p>第二條 特殊ノ技能ヲ有スル者ニハ一定ノ期間月額拾弗以内ノ手當ヲ給スルコトヲ得</p> <p>第三條 滿三年以上ノ勤務成績ニ依リ一箇月三十仙以上壹弗五十仙以下ノ精勳加俸ヲ給スルコトヲ得</p> <p>第四條 懲戒ニヨリ免職セラレタルトキハ當月分ノ俸給ハ日割ヲ以テ之ヲ支給ス</p> <p>第五條 退職シ若クハ在職中死亡シタルトキハ其當月分ノ全額ヲ支給ス</p> <p>第六條 手當ノ支給ハ依給ノ例ニ依ル</p> <p>第七條 巡捕ニ給與スヘキ品目數及供用期間左ノ如シ</p> <p>一、冬 帽 壹個 十六箇月</p> <p>一、冬 服(手袋共) 壹着 八箇月</p> <p>一、夏 帽 壹個 四箇月</p> <p>一、夏 服(手袋共) 壹着 四箇月</p> <p>一、靴 壹足 六箇月</p> <p>一、冬 卷脚絆 壹組 十六箇月</p> <p>一、夏 卷脚絆 壹組 八箇月</p>	<p>第一條 俸給ハ左ノ十六級トス</p> <p>一級 俸 四拾 弗</p> <p>二級 俸 參拾 五弗</p> <p>三級 俸 參拾 弗</p> <p>四級 俸 貳拾 七弗</p> <p>五級 俸 貳拾 四弗</p> <p>六級 俸 貳拾 貳弗</p> <p>七級 俸 貳拾 弗</p> <p>八級 俸 拾 八弗</p> <p>九級 俸 拾 六弗</p> <p>十級 俸 拾 五弗</p> <p>十一級 俸 拾 四弗</p> <p>十二級 俸 拾 參弗</p> <p>十三級 俸 拾 貳弗</p> <p>十四級 俸 拾 壹弗</p> <p>十五級 俸 拾 弗</p> <p>十六級 俸 拾 弗</p> <p>此限リニ在ラス</p> <p>十四級俸以下ノ者 三箇月</p> <p>十三級以上十級俸以下ノ者 六箇月</p> <p>九級俸以上五級俸以下ノ者 壹箇年</p>
--	--

(21)

(22)

第八條 巡捕ニ貸與スヘキ品目左ノ如シ

- 一、警 棒
- 一、縮 革
- 一、帽 章
- 一、襟 章
- 一、手 帳
- 一、捕 籠
- 一、呼 笛
- 一、防 傘
- 一、防 寒 帽
- 一、冬 外 套

第九條 貸與品ハ解職免職又ハ死亡ノ際之ヲ返納セシム供用期間内ノ給與品亦同シ

第十條 貸與品又ハ供用期間内ノ給與品ヲ毀損紛失シタル者アルトキハ代用品ヲ給與又ハ貸與ス但シ毀損紛失カ過失怠慢ニ出テタルモノナルトキハ其代料辨償ノ責ニ任セシムヘシ

第十一條 病氣ノ爲メ職務セサルコト三十日ヲ起ユル者ハ以後六十日間割ヲ以テ月俸ノ半額ヲ減シ以後ハ支給セス但シ公務ノ爲メ傷病ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ服忌ヲ受ケタル者ハ此限リニ在ラス

第十二條 滿三年以上減賃ニ勤務シ退職又ハ在職中死亡シタルトキハ退職當時ノ月俸三箇月分ヲ勤績慰勞金トシテ支給ス勤績四箇月以上ハ一箇年ヲ増ス毎ニ月俸ノ一箇月分以内ヲ加フ

第十三條 在職中死亡シタルトキハ死亡當時ノ月俸三箇月分ヲ祭祀料トシテ支給ス

第十四條 勤務中疾病ニ罹リタルトキハ醫藥手當ノ實費ヲ給ス

第十五條 職務ノ爲メ傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルトキハ療治料實費ヲ給スル外相當ト認ムル期間左ノ救助手當ヲ支給ス

- 一、輕 傷 一日 一弗以内
- 二、重 傷 一日 二弗以内

第十六條 前條ノ傷病又ハ疾病ニ因リ其職ニ堪ヘス退職シタルトキハ左記手當金ヲ支給ス

一、終身不其トナリ自用ヲ辦スル能ハサル者ハ、退職當時ノ月俸八箇月分ニ勤績二箇年以上ハ一箇年ヲ増ス毎ニ月俸三箇月分以内ヲ加フ

二、終身不其トナルモ自用ヲ辦シ得ル者ハ退職當時ノ月俸六箇月分ニ勤績二箇年以上ハ一箇年ヲ増ス毎ニ月俸二箇月分以内ヲ加フ

第十七條 職務ノ爲メ傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ在職中死亡シタルトキハ祭祀料ノ外死亡當時ノ月俸十二月分ニ勤績一年毎ニ月俸三箇月分以内ヲ遺族扶助料トシテ給與ス

第十八條 第十二條第二項、第十五條、第十六條、第十七條ニ關スル事項ハ行政委員會ニ於テ之ヲ決ス

附 則  
本規則ハ昭和四年四月一日ヨリ施行ス

(23)

(24)

明治四十二年四月二十三日巡捕給與品及貸與品支給規則並ニ巡捕及消防組員給助規則ハ之ヲ廢止ス

(ハ) 巡 捕 貯 金 規 則 (二月二十七日行政委員會決議)

第一條 巡捕ハ毎月左記金額ノ貯金ヲ爲スヘシ

- 三級俸以上 貳 弗
- 七級俸以上 壹 弗
- 十級俸以上 五拾 仙
- 十一級俸以上 貳拾 仙

第二條 本貯金ハ居留民團事務所ニ於テ之ヲ管理ス

第三條 貯金通帳ハ貯金ノ都度其金額ヲ記入シ取扱者捺印ノ上各本人ニ交付ス

第四條 本貯金ハ本人退職スル場合之ヲ交付ス

第五條 本貯金ハ在職一年以下ノ者ニ對シテハ在職中貯金拂渡ヲ爲サス

特別ノ事情アリト認ムル場合ハ在職中貯金額ノ三分ノ一以内ニ限リ拂渡ヲナスコトヲ得

第六條 懲戒處分ニ依リ其職ヲ免セラレタル者ニ付テハ本貯金ヲ交付セサルコトヲ得

第七條 本貯金ノ拂渡ヲ受ケントスルトキハ警察署ノ證明ヲ添ヘ貯金通帳ヲ居留民團事務所ニ提出スヘシ

附 則  
本規則ハ昭和四年四月一日ヨリ施行ス

明治四十二年四月二十三日巡捕貯金規則ハ之ヲ廢止ス

(ニ) 請 願 巡 捕 規 則 (二月二十七日行政委員會決議)

第一條 日本專管居留地ニ居住スル者ニシテ特種ノ警護ヲ爲スタメ巡捕ノ配置ヲ請ハントスル者ハ其住所、氏名、請願ノ目的、場所、人員及期間ヲ具シ居留民團事務所ニ出願シ其許可ヲ受ケヘシ其人員ヲ増加シ若クハ期間ヲ延長セントスルトキ亦同シ

第二條 請願巡捕配置期間ハ六箇月トス

第三條 請願費ハ巡捕一名ニ付六箇月銀百八十弗トシ之ヲ前納スヘシ

第四條 請願期間内ニ警護ノ廢止又ハ人員ノ減少アルモ既納ノ費用ハ還付セス

第五條 請願配置ノ許可ヲ受ケタル者ハ詰所及宿舍ヲ設備シ必要ナル器具及消耗品ヲ供給スヘシ

第六條 巡捕ノ勤務ニ付テハ總領事館警察署ノ指揮監督ニ從フヘシ

附 則  
本規則ハ昭和四年四月一日ヨリ施行ス

明治四十二年四月二十三日請願巡捕規則ハ之ヲ廢止ス

(ホ) 天津療病院規程 (七月二日公定)

- 第一條 本院ハ天津居留民團之ヲ設立シ、天津療病院ト稱ス
- 第二條 本院ハ左ノ事務ヲ執ル
  - 一、傳染病豫防法ニ定ムル傳染病患者ノ隔離診療
  - 二、防疫上必要ト認ムル者ノ隔離
  - 三、各種病原體検査及一般病理試驗
  - 四、民國公務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ノ診療
  - 五、巡捕ノ診療
  - 六、酌婦ノ健康診断
  - 七、通院患者ノ診療
- 第三條 本院ニ左ノ職員ヲ置ク
  - 一、醫師若干名
  - 二、技衛員若干名
  - 三、事務員若干名
  - 四、看護人若干名
- 第四條 醫師ハ民團技師、技衛員ハ技手、事務員ハ書記又ハ雇員、看護人ハ雇員ヲ以テ之ニ充ツ
- 第五條 醫師ハ患者ノ診療ニ任ス

(26)

(25)

- 第六條 技衛員ハ院長ノ指揮ヲ承ケ調劑其他各種ノ試驗並ニ検査ニ從事ス
- 第七條 事務員ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理シ院內ノ取締ニ從事ス
- 第八條 看護人ハ患者ノ看護、診療ノ介補、病室內ノ整理ニ任シ患者附添人ノ看護勤務其他ニ付テ之ヲ監視スヘシ
- 第九條 技衛員、事務員ノ中一名及看護人ノ中一名院內ニ於テ宿直ヲナスヘシ
  - 宿直員ハ休日及勤務時限後ニ於ケル諸般ノ事務ヲ處理ス
  - 重要ナル事項ニ付テハ直チニ院長ニ申告シ其指揮ヲ受クヘシ
- 第十條 院長ハ院務ニ付テハ日報及月報ヲ作成シ理事ニ報告スヘシ
- 第十一條 本規程ニ關スル細則ハ行政委員會別ニ之ヲ定ム

(ハ) 天津居留民團執務時間及休日改正ノ件 (六月十四日改正)

天津居留民團執務時間及休日規程ヲ左ノ通り改ム

本民團事務所ノ執務時間並ニ休日左ノ如シ

執務時間 午前九時ヨリ正午マデ  
午後一時ヨリ午後五時マデ

自九月一日至五月三十一日

自六月一日至八月卅一日 午前九時ヨリ正午マデ  
午後二時ヨリ午後四時マデ

但土曜日ハ正午限リ

- 一、日 曜 日
- 二、大 祭 日、祝 日
- 三、舊 曆 五 月 端 午 節
- 四、陽 曆 十 二 月 三 十 日 ヨリ 一 月 三 日 マ デ
- 五、舊 曆 正 月 元 旦
- 六、十 月 靖 國 神 社 祭 禮 日
- 七、仲 秋 節
- 八、四 月 十 一 日 天 津 神 社 大 祭 日

(ト) 電氣供給規程中改正ノ件 (十月十五日臨時民會議決)

電氣供給規程中左ノ通り改ム

第十六條第二種ニ左ノ但書ヲ附加ス

(28)

(27)

但シ公益上ノ事由ニヨリ特ニ必要アリト認ムルトキハ行政委員會ハ特別ノ料金を定ムルコトヲ得

附則ニ左ノ一項ヲ加フ

本規程中改正ニ係ル部分ハ昭和四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(チ) 實業復興資金特別會計條例 (十二月五日臨時民會議決)

- 第一條 實業復興資金ノ收支ハ特別會計トス
- 第二條 實業復興資金ノ總額ハ金三十萬圓トス
  - 前項資金ノ内金二十萬圓ヲ實業資金ニ充テ金十萬圓ヲ天津商工業金融組合ニ貸付ス
  - 前項天津商工業金融組合ニ對スル貸付金ニ付テハ年七分五厘ノ利息ヲ徵ス
- 第三條 實業復興資金ノ貸付期間ハ五箇年以内トス但シ天津商工業金融組合貸付資金ニ付テハ組合ノ成績良好ト認メラルル場合ニ限り在天津帝國領事官ノ認可ヲ得五箇年以内宛期限ノ延長ヲ爲スコトヲ得
  - 前項但書ノ延長期限內ニ於テハ利率ヲ年四分迄引下クルコトヲ得
- 第四條 實業復興資金貸付ニ要スル一切ノ費用ハ本資金貸付利子、預金利子其ノ他ノ雜收入中ヨリ之ヲ支辨ス但シ天津商工業金融組合ニ對スル貸付金ノ取寄費用ハ組合ノ負擔トス
- 第五條 行政委員會ハ實業復興資金貸借ニ關スル翌年度收支豫算ヲ一月末日迄ニ作成シ之ヲ民會ニ提出スヘシ
- 第六條 行政委員會ハ實業復興資金貸借ニ關スル前年度收支決算及三月底現在ノ貸借對照表

(30)

(29)

<p>第七條 本會計ノ收入支出ニ關スル規定ハ行政委員會之ヲ定ム 附 則 本條例ハ昭和四年十二月六日ヨリ之ヲ施行ス</p> <p>(リ) 興業資金貸付委員會條例 (十二月五日臨時民會議決)</p> <p>第一條 天津居留民團ニ興業資金貸付委員會ヲ置ク 興業資金貸付委員會ハ興業資金貸付ニ關スル事項ヲ調査審議シ及資金借受申込人ニ對スル貸付ノ可否、順位金額、期間其ノ他必要ナル事項ヲ決定ス</p> <p>第二條 興業資金貸付委員會ハ左ニ掲グル七人ノ委員ヨリ成ル 一、在天津帝國領事官ノ指名シタル者 二、行政委員會ニ於テ推薦シ在天津帝國領事官ノ認可ヲ經タル者 三、四人 委員ハ名譽職トス</p> <p>第三條 興業資金貸付委員會ニ委員長一人、副委員長一人ヲ置キ委員中ヨリ之ヲ互選ス 委員長ハ委員會ヲ召集シ議長ト爲リ會議ヲ整理シ副委員長ハ委員長ハ委員長政障アルトキ其ノ職務ヲ代行ス</p> <p>第四條 興業資金貸付委員會ハ委員半數以上出席セサルトキハ會議ヲ開クコトヲ得ス 決議ハ出席委員ノ過半數ニ依リ之ヲ決ス</p> <p>可否同數ナル場合ハ委員長ノ決スル所ニ依ル</p> <p>第五條 委員ノ任期ハ一年トス但シ重任ヲ妨ケス 委員中副委員長シタルトキハ現滞ナク補闕ヲ爲スヘシ</p> <p>第六條 補闕委員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス</p> <p>第七條 興業資金貸付委員會ニ書記ヲ置キ天津居留民團金融部書記ヲ以テ之ニ充ツ 附 則 本條例ハ昭和四年十二月六日ヨリ之ヲ施行ス</p> <p>(又) 興業資金貸付條例 (十二月五日臨時民會議決)</p> <p>第一條 天津居留民團ハ居留邦人ニシテ左ノ條件ヲ具備スル者ニ限リ興業資金貸付委員會ノ決議ヲ經テ興業資金ノ貸付ヲ爲ス 一、支那ニ於ケル勤勞及排日貨運動ニ因リ直接若ハ間接ノ損害ヲ蒙リタルモノニシテ引續キ居住ノ意思確實ナルコト 二、興業資金借入申込ノ時ヨリ起リ二箇年間繼續シテ天津居留民團課金ノ負擔義務ヲ有シ且之ヲ完納シタルコト 三、前號ニ掲グル者ノ外課金、使用料、手数料、衛生費等天津居留民團ニ對スル納付金ヲ完納シタルコト</p> <p>第二條 興業資金ノ貸付ハ天津通用ノ銀元ヲ以テス</p> <p>第三條 天津居留民團ハ興業資金ノ内銀六萬弗ヲ限度トシ天津商工業金融組合ニ加入スル者ニ</p>	<p>對シ其ノ出資金トシテ貸付ヲ爲スコトヲ得</p> <p>第四條 興業資金ノ貸付金額ハ第一條及第三條ニ依ル貸付金額ヲ合算シ一人ニ付信用貸ニ在リテハ銀二千弗以內擔保貸ニ在リテハ銀四千弗以內トス 多數居留民ノ利益ニ影響シ緊急已ムヲ得サル場合ニ於テハ前項ノ制限ニ拘ラス特別貸付ヲ爲スコトヲ得 前項ノ特別貸付ハ興業資金貸付委員會全部ノ承認ヲ要スル外在天津帝國領事官ノ認可ヲ受クヘシ</p> <p>第五條 擔保物ハ不動産、商品及有價證券ニ限ル 擔保貸付金額ハ擔保物査定價格ノ半ヲ超過スルコトヲ得ス但シ帝國國債ノ査定價格ハ時價ノ八割以內トス 擔保物ノ査定價格ハ興業資金貸付委員會ニ於テ之ヲ定ム</p> <p>第六條 興業資金ノ信用貸付ヲ受ケムトスル者ハ二人以上ノ連帶保證人、擔保貸付ヲ受ケムトスル者ハ一人以上ノ連帶保證人ヲ附シ興業資金借受申込書其ノ他必要ナル書類ヲ天津居留民團金融部ニ提出シ其ノ額出ヲ爲スヘシ</p> <p>第七條 興業資金ノ貸付期間ハ五箇年以內、其ノ利率ハ年一割二分トシ貸付ノ翌月ヨリ月賦ヲ以テ元金ヲ辨濟セシム</p> <p>第八條 興業資金貸付委員會ハ借受申込者ノ資産、信用、營業狀態、動亂及排日貨運動ニ因ル損害ノ多寡、借受金ノ用途、資金需要ノ緩急程度、天津ニ於ケル營業本據ノ有無、擔保物ノ適否及價值並連帶保證人ノ資産及信用ヲ調査シタル上貸付ノ可否、順位、金額</p>
--	---

(32)

(31)

<p>第九條 興業資金ノ貸付ノ決定ヲ受ケタル者ハ資金借受證書其ノ他必要ナル書類ヲ天津居留民團金融部ニ提出スヘシ</p> <p>第十條 興業資金貸付委員會必要ナリト認ムルトキハ借受人ノ資産及營業狀態並貸付金使用ノ實況ヲ調査スルコトヲ得 本委員會ハ借受人ヲシテ前項ニ掲グル事項ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトヲ得 借受人カ月賦金ノ支拂ヲ怠リタルトキハ連帶保證人ヲシテ即時月賦貸付元金ノ償還ヲ爲サシム</p> <p>第十一條 天津居留民團ハ左ニ掲グル場合ニ於テ催告ヲ用キシテ資金貸付契約ノ解除ヲ爲シ借受人及連帶保證人ニ對シ貸付金全額ノ支拂ヲ求ムルコトヲ得</p> <p>第十二條 一、借受人ノ條件ニ違反シタルトキ 二、借受人ノ資産減少シ支拂ノ見込不確實ナルトキ 三、借受人死亡シタルトキ 四、借受人天津ニ居住セサルニ至リタルトキ</p> <p>第十三條 天津居留民團ハ連帶保證人ニ付前條第二號乃至第四號ノ事由ヲ生シタルトキハ借受人ニ對シ連帶保證人ノ變更ヲ求ムルコトヲ得 本條例ニ關スル細則ハ興業資金貸付委員會之ヲ定ム</p> <p>第十四條 前項ノ細則ハ在天津帝國領事官ノ認可ヲ受クヘシ</p>	<p>第九條 期間其ノ他必要ナル事項ヲ決定ス</p> <p>興業資金ノ貸付ノ決定ヲ受ケタル者ハ資金借受證書其ノ他必要ナル書類ヲ天津居留民團金融部ニ提出スヘシ</p> <p>第十條 興業資金貸付委員會必要ナリト認ムルトキハ借受人ノ資産及營業狀態並貸付金使用ノ實況ヲ調査スルコトヲ得 本委員會ハ借受人ヲシテ前項ニ掲グル事項ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトヲ得 借受人カ月賦金ノ支拂ヲ怠リタルトキハ連帶保證人ヲシテ即時月賦貸付元金ノ償還ヲ爲サシム</p> <p>第十一條 天津居留民團ハ左ニ掲グル場合ニ於テ催告ヲ用キシテ資金貸付契約ノ解除ヲ爲シ借受人及連帶保證人ニ對シ貸付金全額ノ支拂ヲ求ムルコトヲ得</p> <p>第十二條 一、借受人ノ條件ニ違反シタルトキ 二、借受人ノ資産減少シ支拂ノ見込不確實ナルトキ 三、借受人死亡シタルトキ 四、借受人天津ニ居住セサルニ至リタルトキ</p> <p>第十三條 天津居留民團ハ連帶保證人ニ付前條第二號乃至第四號ノ事由ヲ生シタルトキハ借受人ニ對シ連帶保證人ノ變更ヲ求ムルコトヲ得 本條例ニ關スル細則ハ興業資金貸付委員會之ヲ定ム</p> <p>第十四條 前項ノ細則ハ在天津帝國領事官ノ認可ヲ受クヘシ</p>
--	---

附 則

本條例ハ昭和四年十二月六日ヨリ施行ス

(凡) 興業資金貸付細則 (十二月十九日公告)

- 第一條 興業資金ヲ借受ケムトスル者ハ規定ノ興業資金借受申込書ニ資産及経歴明細書ヲ添付シ申込ヲ爲スヘシ前項ノ附屬書類ニ付キ必要ト認ムルトキハ連帯保證人ノ分ヲモ提出セシム
- 第二條 興業資金貸付條例第九條ニ規定ノ資金借受證書ハ公正證書ニ依ル公正證書作成ニ要スル費用ハ借受人ノ負擔トス
- 第三條 不動産ヲ擔保トスル場合ニ於テハ第一、擔保タルコトヲ原則トス
- 第四條 不動産擔保貸付ニ在リテハ調査上必要ト認ムルトキハ左記ノ書類ヲ提出セシム
  - 一、土地、建物ノ平面圖及其ノ位置圖
  - 二、土地、建物ノ賃貸借契約書寫
  - 三、登記簿本
  - 四、火災保險證書
  - 五、其ノ他必要ト認ムル書類
- 第五條 不動産擔保貸付契約ノ場合ニ於テハ借用證書ト共ニ左記書類ヲ提出セシム
  - 一、借受人並連帯保證人ノ印鑑證明書
  - 二、登記簿本

(34)

(33)

- 三、差入證書
  - 四、土地、建物讓渡契約書
  - 五、火災保險證書(民間ニ保險會轉付承認済ノモノ)
  - 六、其ノ他必要ト認ムル書類
- 第六條 商品ヲ擔保トスル場合ニ於テハ天津居留民團ノ承認スル倉庫業者ノ保管スルモノニ限ル
- 第七條 前項商品ノ種類ハ別ニ之ヲ定ム
- 第八條 商品擔保貸付契約ノ場合ニ於テハ借用證書ト共ニ左記書類ヲ提出セシム
  - 一、差入證書
  - 二、借受人並連帯保證人ノ印鑑證明書
  - 三、倉庫證券
  - 四、火災保險證書(民間ニ保險會轉付承認済ノモノ)
  - 五、其ノ他必要ト認ムル書類
- 第九條 擔保物件ノ鑑定料其ノ他擔保設定ニ關スル費用ヲ要シタルトキハ借受人ヨリ之ヲ徴收ス

(36)

(35)

- 第十條 擔保商品ノ倉庫料、出入庫費其ノ他ノ附隨費用ハ借受人ノ負擔トス
  - 第十一條 擔保物件ノ滅失毀損又ハ其ノ價格減少セリト認ムルトキハ遲滞ナク代擔保又ハ増擔保ヲ提供セシム
  - 第十二條 借受人ヨリ擔保物件一部解除ノ請求アリタル場合ニ於テハ其ノ辨濟額ニ相當スル部分ノ解除ヲ承認スルコトアルヘシ
  - 第十三條 法人ニ在リテハ左記書類ヲ提出セシム
    - 一、商業登記簿本
    - 二、株主名簿
    - 三、定款
    - 四、借受ニ關スル總會又ハ重役會ノ決議錄
    - 五、其ノ他必要ト認ムル書類
  - 第十四條 月賦償還期日ハ毎月契約當日ノ前日トス但シ前日休日ニ當ルトキハ其ノ前日トス又二月ニ於テ前日ニ當ル日ナキトキハ末日トス
  - 第十五條 借受人ニ於テ前條規定ノ期日ニ至リ辨濟ヲ意リタルトキハ直チニ連帯保證人ニ對シ之ヲ請求スヘシ
  - 第十六條 借受人並連帯保證人ニ於テ尙拂込ヲ爲ササルトキハ擔保物件處分若クハ強制執行ノ手續ヲ爲スヘシ
  - 第十七條 辨濟遲延ノ場合ハ銀百弗ニ付日歩銀五仙ノ割合ヲ以テ遲延利息ヲ支拂ハシム
- 本細則ハ昭和四年十二月十九日ヨリ之ヲ施行ス
- (六) 天津居留民團金融部規程 (十二月四日行政委員會決議)
- 第一條 本民團ハ興業資金ノ運用ニ關スル事務ヲ取扱フ爲メ金融部ヲ置ク
  - 第二條 金融部ハ興業資金貸付條例ニ依リ興業資金貸付委員會ノ審査決定ニ基キ事務ヲ處理スヘシ
  - 第三條 金融部ニ左ノ吏員及職員備人ヲ置ク
    - 一、主任 一人
    - 二、書記 若干人
    - 三、職員備人 若干人
  - 第四條 主任ノ任免ハ在天津帝國領事官ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス
- 本規程ハ昭和四年十二月六日ヨリ之ヲ施行ス



(41)

大澤火之助	全	全
勝田重直	全	全
金井潤三	全	全
田村俊次	全	全
上野壽	全	全
白井忠三	全	全
田村俊次	全	全
石川通	全	全
勝田重直	全	全
川島範夏	全	全
田中鑄太郎	全	全
眞藤栗生	全	全
佐藤清吉	全	全
砂田實	全	全
山上逸	全	全
藤平正男	全	全
小林陽之助	全	全
松尾豊實	全	全
山田榮治	全	全

昭和四年十二月九日より  
昭和四年十二月十三日より

(42)

(ハ) 興業資金貸付委員

委員長 砂田實  
香川正一  
赤山今朝治  
清水幸三郎  
副委員長 牧尚一  
小林陽之助  
平井久一

(以上行政委員会推薦領事官の認可を経たるもの)

七、臨時民會

本年三月三十一日午後四時公會堂に於て第二十三次居留民會臨時會を開會選舉を行ふ

一、豫備行政委員選舉  
本年十月十五日午後七時公會堂に於て第二十四次居留民會臨時會開會左の議案を附議決定す

第一、第一生命保險相互會社より團債起債の件  
第二、實業復興資金團債貸付方法に關する件

(43)

第三、電氣供給規程中改正の件  
第四、天津製氷冷蔵株式會社株式所有に關する建議案 (撤回)  
會計檢査委員一名補選選舉  
本年十一月十二日午後七時公會堂に於て第二十五次居留民會臨時會開會左の議案を可決す

第一、天津製氷冷蔵株式會社株式應募の件  
第二、昭和四年度居留民團歳入出追加豫算案  
本年十二月五日午後四時公會堂に於て第二十六次居留民會臨時會開會左の議案を附議決定す

第一、實業復興資金特別會計條例案  
第二、興業資金貸付委員會條例案  
第三、興業資金貸付條例案  
第四、昭和四年年度特別會計實業復興資金豫算案  
第五、特別會計埠頭築造費不足額ヲ一般會計ヨリ支出ノ件  
第六、昭和四年度居留民團歳入出追加豫算案  
行政委員及豫備行政委員選舉  
會計檢査委員選舉

八、民國二十年誌編纂事務經過ノ件  
民國二十年誌編纂事務ハ昭和二年五月ヨリ小倉章安氏囑託シテ之ニ當リ爾後逐日進捗ヲ見タルモ三年十二月同氏都合ニヨリ辭任ノタメ一時停頓セシガ四年五月ヨリ河島村田兩氏團書記之ヲ引承ケシテ同年ヲ了レリ

(44)

九、天津日本人商業會議所へ臨時經費補助の件  
昨年五月濟南事變以來當地方に於ける時局不安定の結果、當地商業會議所は種々の臨時突發的事務擴張し諸調査費、通信、印刷費、臨時増員の人員費等豫算外の經費を要し、會員中より寄附金を募集したるも右經費に充當するに足らざる爲め、一月十五日民國に對し銀參千弗の補助金支出方請願あり、行政委員會は事情已むを得ざるものと認め、總領事の認可を得て右補助金を支出したり

一〇、第三回北支那日本人小學校長會議開催の件  
大正十五年以來毎年開催のこととなりたる北支那日本人小學校長會議は、時局の爲め昨年は開會に至らざりしが本年は當居留民團主催者となり、五月北支那各地日本人小學校及管理者に對し參加方勸誘承諾を得ると共に、岡本總領事を経て外務文部兩大臣宛宛補給金下附方請願したる處、七月外務大臣より認可あり、會議開催費金二千三百二十圓下附せられたるに付、各地小學校宛通知狀を發し八月十六日より三日間當民國會議室に於て開催したり、本會議に對する本省諮問事項、外務省指示事項、參加校長及會議日程方程の如し

第三回北支日本小學校長會議ニ對スル本省諮問事項  
一、昭和二年第二回北支日本小學校長會議ノ協議事項並申合事項ニツキ其後ノ實施狀況如何

(45)

(46)

- 二、在支邦人初等教育上最困難ナル諸點及之レカ救済方法如何
- 三、在支邦人兒童ハ内地兒童ニ比シ一般ニ自助的精神乏シキ様ナルカ之ニ對シ健全ナル國民精神ノ涵養ト併セ實國體ノ氣風作興ニ關シ從來實施シ來レル方法如何
- 四、各領事館管下ヲ通シテ小學校教員ノ監督轉任ヲ認ムルトセハ之レカ最モ簡單ニシテ時宜ヲ得タル方法如何
- 五、在支小學校教員ノ修養殊ニ常識圖養ニ關シ最モ適切妥當ナル方案竝ニ各學校ニ於ケル實施狀況如何
- 六、第二回會議協議事項一〇北支日本教育會ノ活動狀況如何

第三回北支小學校長會議ニ際シ外務省指示事項

- 一、在外兒童教育ニ當リテハ内地ニ比シ物質上不便不備多カルヘキモ右ハ諸般ノ關係上一朝一夕ニ改善シ得サル事情モアルニ付當事者ハ周圍ノ事情ニ應ジ機宜ノ措置ニ依リ其ノ足ラサル所ヲ補ハレ度
- 二、本邦内外事情ノ推移ニ注意シ之ニ應ジテ教材ヲ適當ニ撰擇シ我カ國民教育ノ根本方針ニ背馳セサル様配意スルヲ要ス
- 三、平生ノ訓育ニ當リテハ身心未熟ノ兒童ヲシテ不知不識ノ間ニ所謂殖民地氣分ニ浸潤シ又ハ在留國民ニ對スル輕侮心乃至敵愾心ヲ印象セシムルカ如キ弊ニ陥ラサル様一段ノ考慮ヲ要ス
- 四、關係各學校ハ廣汎ナル地域ニ散在セル爲メ相互ノ連絡ハ最モ困難トスルトコロナルモ不案適當ナル連絡方法ヲ講シ本會議ノ成果達成ニ意ヲ用フルヲ要ス

- 五、教員ノ補充任用ニ際シテハ先任者等ノ知己又ハ縁故等ノミニ依リ輕々シク之ヲ爲ストキハ自然出身地方又ハ學校ニ依ル黨閥ノ弊風ヲ醸成シ部下教職員統率上明白カラサル結果ヲ來ス各異レル地方出身ノ父兄兒童ヲ網羅セル海外小學校トシテハ特ニ慎重考慮ヲ要ス
- 六、教員任命辭職報告ノ際本人ヨリ提出ノ履歷書ニハ領事館發令事項ヲ必ス記入スルコト

參加校長氏名

北京日本小學校長	廣田治明
濟南日本尋常高等小學校長	高橋元
瀋陽日本尋常高等小學校長	石橋元
博山日本尋常高等小學校長	岩永二
張店日本尋常高等小學校長	森安宮
坊子日本尋常高等小學校長	江開義
滄口日本尋常高等小學校長	阿南實
四方日本尋常高等小學校長	高田久直
青島第一日本尋常高等小學校長	宇野裕四郎
青島第二日本尋常高等小學校長	宗像壽太郎
龍口日本小學校長	山本大三郎
天津日本尋常高等小學校長	星野四郎

(47)

(48)

會議日程

- 第一日(八月十六日)
  - 午前九時開會
  - 上野行政委員長
  - 岡本總領事
  - 宗像青島第二小學校長
- 二、開會ノ辭
- 三、訓示
- 四、換
- 一、議長推薦
  - 上野行政委員長ノ指名ニヨリ滿場贊成ナク星野天津小學校長ヲ議長ニ推ス
- 二、諮問事項ニツキ質疑應答
- 三、諮問事項研究 委員附託
- 四、各校提出問題ノ審議
  - 午後六時散會
- 第二日
  - 午後八時開會
  - 一、各校提出問題ノ審議
  - 二、委員會
  - 三、見學
    - 外國博物館外國運動俱樂部見學

講演

- 一、天津貿易ニ就テ 小林陽之助
- 二、支那學生 藤江眞文
- 第三日
  - 一、會議
    - 1、諮問事項答申案ノ決定
    - 2、研究協議事項ノ決定
    - 3、話合事項ノ取纏
  - 二、閉會式
    - 1、閉會ノ辭 上野行政委員長
    - 2、訓辭 岡本總領事
    - 3、挨拶 廣田北京小學校長
  - 三、換
  - 四、記念撮影

一、民團對張文祁土地訴訟事件完結の件

大正十年三月の民團決議に從ヒ民團が交換整理したる土地中、所謂民團管理地に關シ民團が支那人所有者王陳、王玉崑より正當に讓受けたる土地即ち租界舊地圖第四號地に對シ、大正十四年五月二十五日支那人張文祁より當天津總領事館に提起せる土地所有權確認並引渡請求訴訟事件は、一審に於て石川壽藏十民團訴訟代理人として之に當り、大正十五年九月一日勝訴となりたるが、原告は全





(53)

行政委員長補田商業會議所會頭連名ヲ以テ更ニ何分ノ通知スル迄開催延期ノ都合ニナリタル趣前  
 信發送先ニ夫レ夫レ通達シタリ

猶ホ吉田及小林兩委員方上海ニ赴ク途中、並ニ小林委員方上海ヨリノ歸途、前後二回青島ニ立寄リ  
 テ同地民團及商工會議所ノ幹部ニ打合セラシメ、本件聯合會ニ賛成シ參加スル事並ニ開會地ヲ場合  
 ニ依リテハ青島ニナス事ニ付キ良好ナル諒解ヲ得タリ、又小林委員方上海ヨリノ歸途、濟南ニ立寄  
 リ同地ノ民團及實業協會ノ幹部ニ打合セラシメタル處、兩者トモ熱心ニ聯合會開催方ヲ賛成シタリ  
 小林委員ハ七月廿三日歸津、翌廿四日ノ行政委員會席上ニ於テ前記ノ如キ各地ノ狀況ヲ報告シタリ  
 吉田委員ハ七月十九日上海ヲ出發シテ日本ニ赴キ大阪及東京ニ於テ、大阪商工會議所、日華實業協  
 會、外務省等ニ本件ニ付キ懇談シタル處皆趣旨ニ於テ大賛成ニテ、大阪商工會議所、神戸商工會議  
 所、東京商工會議所及日本商工會議所ハハレモ聯合會開催ノ曉ニハ代表委員ヲ參加セシムル事ヲ決  
 議シタル事判明シタリ、吉田委員ハ六月廿七日歸津、七月二日開催ノ行政委員會席上ニ於テ右ノ趣  
 報告ニ及ビタリ

一三、花旗銀行團債更新契約締結の件

花旗銀行團債銀七十二萬弗償還期の延長並に年賦償還に關する更新契約書案は夙に銀行團借主より  
 送附し來りたるも、外務省の認可意外に手間取り、十月漸く追加條項の挿入(第六項)を條件と  
 して認可あり、十月三十一日正式に契約調印を了へたり、更新契約書左の如し

(54)

契 約 書

本契約ハ一九二九年十月三十一日北支那天津日本租界局(及其遺法ノ繼承者或讓受人ヲ茲ニ以下  
 「租界局」ト稱ス)ヲ甲トシ花旗銀行天津支店ヲ通シテ參加スル花旗銀行(其ノ遺法ノ繼承者及讓受  
 人ヲ含ミ以下「銀行」ト稱ス)ヲ乙トシテ締結ス

一九二五年十一月三日ニ於テ租界局ハ花旗銀行ヨリ借入レタル借款支那通用銀七拾貳萬弗ヲ擔保ス  
 ル爲メニ銀行トノ間ニ抵當權設定契約ヲ締結シタリ、然ル處租界局ハ該借款ノ支拂延期ヲ銀行ニ要  
 求シ銀行ハ該延期ヲ左記條件ニヨリ承諾シタリ

而シテ租界局ハ該借款ニ對シ本契約書ニ添付セル總領事ノ證明書ニ表ハレタル如ク日本政府並ニ在  
 天津帝國總領事ノ承認ヲ受ケタリ

即チ當事者間ニ締結セラレタル條項左ノ如シ

年 度	未拂借款額	分替支拂額	年四期ニ分テ 支拂フヘキ利息	計
一九三〇年三月末日	七二〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	五七,六〇〇	一〇七,六〇〇
一九三一年三月	六七〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	五三,六〇〇	一〇三,六〇〇
一九三二年三月	六二〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	四九,六〇〇	九九,六〇〇
一九三三年三月	五七〇,〇〇〇	二二〇,〇〇〇	四九,六〇〇	二六五,六〇〇

(55)

一九三四年三月、三五〇,〇〇〇、二二〇,〇〇〇、二二八,〇〇〇、二二八,〇〇〇  
 一九三五年三月、一五〇,〇〇〇、一五〇,〇〇〇、一一〇,〇〇〇、一六二,〇〇〇  
 計 七二〇,〇〇〇、二四六,四〇〇、九六六,四〇〇

第二項 本借款額ノ一部ニテモ未拂ニテアル間ハ其ノ未拂額ニ對シ租界局ハ原契約ニテ定メラ  
 レタル通り年八歩ノ利息ヲ四期ニ分テ支拂フモノトス  
 若シ前項ノ分替支拂期ニ於テ支拂ヲ怠リタルキハ未拂總額全部ニ付即時支拂ヲ爲ス  
 (キモノトス)

第三項 日本政府カ本借款繼續期間中日本租界ヲ支那當局ニ返還スルヲ決シタルトキハ其時ニ  
 於ケル未拂總額ノ全部ヲ前記租界引渡シ決定期日三十日前ニ支拂フモノトス、其ノ時  
 若シ其支拂期日後十日間内ニ利息費用全部ト共ニ殘額全部ノ支拂ヲ怠リタルトキハ抵  
 當ニ入レタル財産ノ所有權ニ從ヒテ銀行ニ引渡サレ且銀行ハ爾後發電所及碼頭  
 ノ收入ヲ徵收受領スル權利ヲ得而シテ若シ銀行カ發電所ノ所有且運轉スルコトヲ必  
 要ト認メ、又碼頭收入ノ徵收人ヲ任命スルコトヲ必要ト認メ且發電所及碼頭收入ノ支  
 拂ヲ強制シ徵收スルニ當ツテ租界局ノ諸權ヲ行使スル必要アリト認メタルトキハ元  
 契約中不履行ノ場合ニ與ヘラレタルト同様ノ權利ヲ行使シ得ルモノトス

第四項 本借款ノ延長ニ際シ租界局ハ銀行ニ對シ一九二九年四月三十日以前ニ七千二百弗ヲ手  
 數料トシテ支拂フモノトス

第五項 本契約書ノ作製費用、手數料及附屬的ノ諸費用並登記及交渉ノ費用ハ租界局ニテ支拂  
 フモノトス

(56)

第六項 租界局ハ左記條件ノ下ニ契約期限前ト雖モ何時ニテモ該借款ノ全額又ハ其一部ヲ返還  
 スル自由ヲ有ス

A、租界局ハ三ヶ月前ニ其旨銀行ニ豫告スルコト  
 B、返還金額ニ對シ返還當日迄ノ利息ヲ支拂フコト  
 C、以上ノ外返還金額ノ百分之一ニ相當スル謝禮金ヲ銀行ニ贈呈スルコト

第七項 本契約書ニ規定サレタル部分ハ一九二五年十一月三日抵當權設定契約書ノ條項ヲ適用  
 スルモノトス

以上ノ契約條項ヲ確證セントシテ當事者双方ハ各公式ノ印鑑ヲ用ヒ前記年月日ニ於テ正當ニ調印セラ  
 ル

天津居留民團行政委員長 上 野 壽  
 花旗銀行天津支店長 W. J. S

一四、山口街陸軍倉庫並開口宿舍移轉に關する交渉完結の件

日本租界埠頭築造の爲め、道路並に陸上設備用として山口街陸軍倉庫並に開口宿舍移轉に關する陸  
 軍側との交渉は、已に大正十五年以來の懸案にして、陸軍省との間に種々移轉條件に付交渉の曲折  
 を重ね、昭和三年三月九日陸軍側の希望を考慮したる民間の最後案に對し、漸く今年八月七日陸軍  
 側の承認を得、先方より契約書案提出の運びに至りたり、然る處一方該陸軍倉庫所在地たる山口街  
 四番地は、元來外務省の所管地にして民間は夙に該土地の無償讓與方を外務省に請願し、數次交渉

を重ねたる結果、本年十一月二十八日、該山口街四番地中道路用地たる二六八坪八二六の無償譲與並に同地殘八〇五坪七六三を國有財産法に據りて民團所有土地福島街四十四番地中一、〇〇七坪二〇四と交換許可あり、次て全月二十七日土地交換調書を作成せり

茲に於て民團は前記陸軍用地山口街四番地、全十三番地、開口七番地の經營使用權を得、之等各地上に在る陸軍倉庫宿舎其他の建物移轉の諒解成りたるを以て、其交換條件として民團所有地たる桃山街十一番地六〇〇坪(倉庫敷地)明石街三十番地六六坪三七(將校宿舎敷地)及福島街四十四番地中一〇〇坪七六三(陸軍敷地)計七六七坪〇五一を陸軍側に無償貸付し、日之等移轉に要する費用並に前記交換許可を得たる外務省所管土地内に判任官宿舎建設費として銀五萬弗を陸軍側に提供することとなり、愈々本年十二月十日駐屯軍植田司令官及田村行政委員長との間に左の如き契約を締結し、茲に永年の懸案を解決するを得たり。

契 約 書

支那駐屯軍司令官植田謙吉(以下甲ト稱ス)ハ天津居留民團(以下乙ト稱ス)ノ出願ニ依リ日本帝國ノ軍事占領ニ係ル支那天津租界山口街及開口ノ所在土地建物及附屬工物ヲ乙ノ施設ニ係ル埠頭及其ノ附帶用途ノ爲メ經營セシムルニ付乙ト左ノ條項ヲ契約ス

第一條 山口街及開口所在軍事占領土地ハ依然甲ニ於テ軍事占領ヲ繼續シ乙ハ天津居留民團埠頭及其ノ附帶用途ノ爲メ之レヲ經營スルモノトス

前項ノ乙ノ經營ニ就テハ乙ハ豫メ甲ノ承認ヲ受クルモノトス

第二條 乙ハ陸軍ニ於テ必要アルトキハ何時ニテモ無償ニテ前條乙ノ經營ニ係ル埠頭倉庫等ヲ

陸軍ノ使用ニ供スルモノトス

平時陸軍ノ使用ニ充ツヘキ埠頭倉庫ハ前條承認ノ際之レヲ指示ス

第三條 第一條ニ依リ甲ハ乙ノ爲山口街及開口所在ノ土地建物及附屬工物ノ實際的使用ヲ停止セラル、ニ對シテ乙ハ甲ニ對シ、左ノ諸設備ヲ爲スモノトス

第一 乙ハ乙ノ所有ニ係ル土地七六七坪〇五一(別紙圖面ノ通り)ヲ陸軍ノ必要トスル期間無償ニテ陸軍ノ使用ニ供スルモノトス

第二 乙ハ山口街軍事占領地上ニ在ル陸軍所有ニ係ル建物三三三坪五合及附屬工物一切ヲ乙ノ費用ヲ以テ本條第一號ニ依リ乙ノ供出セル土地上(天津日本租界桃街一二號地内)倉庫衛兵所便所及附屬工物トシテ建物一八四坪四合及其ノ附屬工物一切ヲ又全上乙ノ供出セル土地上ニ將校宿舎(天津日本租界明石街三〇號地)三十五坪判任官舎(天津日本租界福島街四十四號地内)六四坪及其ノ附屬工物一切ヲ移築スルモノトス

第三 乙ハ乙ノ費用ヲ以テ宿舎二〇八坪及附屬工物一切ヲ本條第一號ニ依リ外務省所管土地上(天津日本租界福島街四十四號地内)ニ建設シ陸軍ノ必要トスル期間無償ニテ陸軍ノ使用ニ供スルモノトス

第四 本條各號ニ附帶シ乙ハ乙ノ費用ヲ以テ福島街陸軍基地ノ設備ヲ本條第一號ニ依リ乙ノ供出セル土地及外務省所管土地上ニ移轉スルモノトス

乙ハ前條各號ノ設備ヲ爲スタメ其ノ設計及工事實施ヲ甲ニ依リスルモノトス

前項設備ニ要スル經費ノ概算ハ大洋銀五萬元(内譯第三號調書ノ通り)トシ甲ハ該金額ヲ標準トシ工事ヲ實施シ其代金ハ甲ニ於テ豫メ乙ヨリ所望額ヲ受領シ置キ之レカ支

拂業務ヲ一切甲ニ於テ行フモノトス

右契約ヲ遵守スル証トシテ本書試通ヲ作製シ記名捺印ノ上各當道ヲ領置ス

昭和四年十二月十日

支那駐屯軍司令官 植田 謙吉  
天津居留民團行政委員長 田 村 俊次

一五、天津製氷冷蔵株式會社株式應募の件

第二十五次臨時民團の決議に基き民團は十一月十五日天津製氷冷蔵株式會社に對し、天津居留民團法律上代理人行政委員長名義にて壹千八百株、上野壽名義壹百株、田中錫太郎名義壹百株計貳千株を申込み、十一月二十二日認領金支拂、十二月十三日全額拂込を完了せり、十二月行政委員改選の結果個人名義持株を大澤大之助名義壹百株、石川通名義五十株、松本文三郎名義五十株に變更す

一六、民會議員移動並現在員

本年中民會議員の移動左の如し

西村 博	死 去
土岐 正直	辭 任
大崎 犬生	全 全
筒井 精逸	全 全
中村 鐵一	補 闕 上 任

現在民會議員左の如し

田村 俊次	田中 錫太郎	藤田 壽郎	松田 開一
野崎 誠近	藤平 正男	利根川 久	石川 今朝治
長瀬 安平	山上 逸	郡 茂行	岡本 久雄





(69)

項目	昭和四年三月卒業生上級學校入學生數		山陽專攻科		福岡百道女專		女子職業專		福岡女子職業專		計
	入學人員	入學校名	入學人員	入學校名	入學人員	入學校名	入學人員	入學校名	入學人員	入學校名	
第一學年	37	東京女子大學	1	山陽專攻科	1	福岡百道女專	1	女子職業專	1	福岡女子職業專	5
第二學年	33										
第三學年	18										
第四學年	4										
計	82										5

(70)

項目	昭和四年 自四月至七月 生徒出席狀況		齒	齶	氣管支加答兒	肺光呼吸延長	扁桃腺肥大	其他
	在籍數	入學退學						
第一學年	34	35	19	16	15	16	4	2
第二學年	37	35	16	15	16	16	4	2
第三學年	32	31	15	14	15	16	4	2
第四學年	18	17	14	13	14	15	4	2
計	102	102	72	72	72	72	16	8

(71)

項目	昭和四年 自一月至三月 生徒出席狀況 (三年度)		總缺數	出席率	缺席率	遲到	引缺
	在籍數	入學退學					
第一學年	37	37	3	99.19%	0.81%	6	46
第二學年	33	33	3	99.09%	0.91%	6	46
第三學年	18	18	3	99.83%	0.17%	6	46
第四學年	4	4	0	100%	0%	0	0
計	92	92	9	99.22%	0.78%	18	92

(72)

一、租界ノ狀況ハ各家庭何レモ一名乃至數名ノ支那人ボーイヲ使用シ居ルヲ以テ家庭ノ用務ハ皆夫々ボーイノ手ニ依ツテ支辨セラレ子女ハ殆ンド家庭生活ニ於ケル勤勞ノ方面ヲ缺如セシムルアリ之レ實ニ子女教育上ノ一大缺陷ヲザラザラ得ズ故ニ家庭ニ於ケル酒掃其他幼少ナル弟妹ノ世話ニ至ルマテ努メテ之レヲ行ハシメ食物調理ノ如キモノナルベク自ラ手ガケテ家庭ノ團樂ニ貢獻セシメント欲セリ之ガ爲ニハ學校ニ於ケル掃除等ハ教室廊下ハ勿論便所ニ至ルマデモ酒掃拂拭ニ從事セシムル事トセリ

一、學校生活ニ於テ特ニ生徒ノ健康ニ注意セシメ之ガ指導ニ十分努力ヲ拂ハザルベカラズ依テ室内及室外ノ運動遊戯ニ一層ノ注意ヲ拂ヘリ而シテ健康ナル身体ヲ以テ其課業ノ上ニ健全ナル精神ヲ働カシメントセリ

一、自治ハ學校生活ニ於ケル教育上ノ大切ナル問題ナリ個人ハ固ヨリ學級モ之ニ依ツテ進展シ家庭モ之ニ依ツテ和樂向上シ租界モ亦之ニ依ツテ進歩發展ス自治ハ實ニ自己完成ニ大切ナルト共ニ共存共榮ノ上ノ協調ニ取リテモ大切ナルトナラ以テ之ガ教育ニハ深甚ノ注意ヲ拂ヘリ

一、實實剛健ハ日本婦人トシテノ立場ヨリ大切ナル徳ナルト共ニ母トシテ日本國民ヲ養成スルノ資質トシテ亦大切ナル美德ナラザルベカラズ特ニ租界ノ國際教育ニ關スル上ヨリ見テモ此徳ノ養成ノ必要ヲ認ムルヲ以テ之ガ指導ニ對シテモ亦注意ヲ要スルモノトセリ

一、備付圖書教具數 冊、點數 價 格 三六一、九二

一、備付圖書教具數 冊、點數 價 格 九七



(77)

昭和三年度卒業式舉行田代總領事代理田村行政委員長其他臨席アリ  
 生徒職員ニ對シ民團技師種痘施行  
 第三學年以下修業式  
 四月六日 昭和四年度入學式舉行上野行政委員長總領事代理佐々木書記生臨席  
 四月六日 糸賀學校長新任式舉行  
 十五日 河野教諭着任新任式ヲ行フ  
 廿三日 松本民團理事參觀アリ  
 廿九日 紫竹林官邸ニテ御眞影拜賀歸校後天長節舉式  
 五月九日 福岡縣八女女教諭來校參觀  
 六月十日 外務省若水事務官來校視察  
 六月十日 文部省派遣ノ支那滿鮮視察團來校參觀  
 十三日 御下賜眞影ノ奉迎並ニ奉迎式ヲ行フ  
 十八日 歸還軍隊ヲ見送  
 六月廿六日 第一學期終業式舉行  
 九月十三日 陪審團參觀ノ爲生徒引率  
 十月一日 修學旅行ノ爲補習科並ニ第四學年生出發  
 九月九日 全上歸校  
 十四日 坪上對支文化事業部長來校參觀  
 廿四日 驅逐艦觀遊ノ爲出迎

(78)

全上驅逐艦見學  
 十一月三日 明治節舉式  
 十一月十三日 外務省亞細亞局第二課長來校視察  
 十二月廿日 南海大學生教授引率ノ下ニ參觀  
 十二月廿五日 國語研究教授ヲ行フ松本理事參觀  
 廿七日 學校長學術講話ヲ行フ  
 廿四日 第二學期終業式舉行

二、天津尋常高等小學校

入學者數	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	合計
退學者數	三	二	三	一	〇	五	一	一	二	二	八	九	二二
卒業及修業生調(昭和四年三月二十五日)	三	八	四	二	一	九	一	二	二	一	七	九	四一

修業生數	尋一	尋二	尋三	尋四	尋五	尋六	高一	高二	合計
卒業生	一一九	一一七	九八	六七	八四	六四	六	一一	五一〇

(79)

原級留置	四
精勤者	一一
勤怠狀況調(昭和四年一月ヨリ十二月迄)	一七
出席百分率	九六・一九
欠席百分率	三・八一
遅刻總數	一、〇九二
早引總數	一四〇

出席歩合は之を昭和三年に比すれば、一、四の増加にして、本年に入り精勤賞を廢したるも、其の影響と認めざるのみならず、一段の好成绩を得たり

(三) 卒業生の中等學校入學者調

卒業人員	中學入學者	女學校入學者	商業校入學者	高等科	師範入學	工業校入學
高等科男	二二	一	一	一	一	一
高等科女	二七	一	一	一	一	一
合計	四九	二	二	二	二	二

(80)

在學年數	一年間	二年間	三年間	四年間	五年間	六年間	七年間	八年間	合計
高等科	二八	一〇	三	〇	〇	一	三	三	六一
尋常科	二二	一	三	〇	〇	一	一	一	三三
合計	五〇	一一	六	〇	〇	二	四	四	九四

(一) 修學旅行

期間	四月至四月	四月至七月	七月至八月
學年	尋常科	高等科	高等科
方面	山海關秦皇島	北京、八達嶺	安東、奉天、撫順、大連
引率教員	木谷訓導、中野訓導、官崎訓導	山城訓導、學校長	山城訓導、山口訓導、佐藤訓導

(二) 職員留學及研究旅行

期間	自昭和三年三月	自昭和四年三月	自昭和五年三月
目的地	東京府立豊島師範專攻科	廣島高等師範學校教育科	滿洲朝鮮內地等
目的	學業補修	學業補修	視察及講習
氏名	窪田	稲川	星野
實名	田多	川四	野四郎











<p>5、制度ノ不備ナルコト</p> <p>一、救濟法</p> <p>今各項ニ五リテ其ノ救濟法ノ大要ヲ記サン</p> <p>一、勸諭ニ頼レル、コトニ對シ</p> <p>1、思想上ノ動搖ヲ防グコト</p> <p>勸諭ノ起因、經過等ニ關シ、正確ナル理解ヲナサシメ、殊ニ我が國ノ之ニ對スル態度ニツイテハ、政府ノ聲明ニ準據シテ適當ナル説明ヲ加ヘ、我が國方侵略的軍國主義ニアラスシテ終始正義人道ニ基ツケル平和愛好ノ方針ナルコトヲ知ラシムルヲ要ス</p> <p>新聞雜誌等ニ現ハレタル論說批評ニ對シテハ公正ナル批判ヲナシ、國家遂行ノ妨ヲナサル様細心ノ注意ヲナスベシ、殊ニ愛國心ヲ傷クルガ如キコトナキ様慎重ニ指導スルヲ要ス</p> <p>2、情慮ノ安定ヲ計ルコト</p> <p>勸諭ノ爲、居住ニ危險ヲ感ズルガ如キ際ニハ成ルベク全兒童ヲ他ノ安全ナル地ニ避難セシメ、其ノ地ノ學校ニ依託スルカ、或ハ適當ナル方法ヲ以テ教育繼續スベシ、萬一避難シ難キ場合ニハ官憲、社會、家庭トヨリ協力シテ不安ヲ感ゼシムルガ如キ流言蜚語ハ兒童ノ耳ニ入レザル様ニシテ又慮ニ敏懐心ヲ激發セシメザル様十分ニ注意スベシ</p> <p>3、就學ノ安定ヲ計ルコト</p> <p>派遣サレタル軍隊ニ對シ十分便宜ヲ計ルコトハ勿論ナレドモ教育上ニ大ナル支障ヲ來スガ如キハ考フベキコトナリ</p> <p>又通學途上ニ於ケル不良支那人ノ思慮ナキ侮辱妨害等ニ對シテハ一面官憲ノ取締ニ俟ツト</p>	<p>共ニ一面適當ナル方法例ヘバ團體的通過ヲナサシムルガ如キ方法ヲ取リテ輕率紛争ヲ來スガ如キコトナキ様細心ノ注意ヲ要ス</p> <p>元來日支人ノ感情平日融和スルニ於テハ時局ノ際ト雖モ甚シキ支障ヲ生ズルコトナカルベケレバ教育上當ニ兩國國民ノ平和ナル接觸ニ力ムベク家庭ヲシテ善ク此ノ意ヲ理解セシメンコトヲ要ス</p> <p>二、酷暑、嚴寒ノ期間長キコトニ對シ</p> <p>1、校舍校地ノ設備ヲ整善シ對シ適當ノ調節ヲナシ得ル様ニスベシ</p> <p>2、教材ノ配當ト季節トノ關係ヲ慎重ニ考慮スベシ</p> <p>3、訓練上體育上ノ施設ハ季節ニ順應セザルベカラズ</p> <p>三、中途ノ入學退學共ニ頻繁ナルコトニ對シ</p> <p>1、一學級ノ人員ヲ成ルベク少クシ、個人指導ニ便ニスベシ</p> <p>2、教育ノ地方化ハ今日盛ニ唱道セラレドモ、頻繁ナル入學退學者ノ爲ニハ出來ル丈一般化セザルベカラザル苦境ニ在リ</p> <p>四、内地ノ環境トノ差異甚シキコトニ對シ</p> <p>1、國定教科書ヲ使用スル關係上日本内地ノ事情ヲ知悉セシムル必要アリ、左ノ方法ニヨリテ其ノ理解ヲ助ケルヲ要ス</p> <p>イ、内地修學旅行</p> <p>ロ、活動寫眞、ラヂオノ利用</p> <p>ハ、内地畫ノ特設</p>
---	---

<p>2、居留民ノ生活狀態ハ一般ニ華美ニシテ輕佻浮薄ノ氣風アリ、力メテ其ノ弊風ヲ矯正スルノ用意ヲ要ス</p> <p>イ、服裝學用品ヲ質素ナラシムルコト</p> <p>ロ、作業競技等、意志ヲ強固ニシ行動ヲ落實ナラシムル仕事ヲ課スルコト</p> <p>ハ、敬虔心ノ培養ニ力ムルコト</p> <p>3、純良ナル家庭ハ子女教育ノ本源ナレバ出來ル丈機會ヲ作りテ家庭ト學校トノ連絡ヲ取り、家庭ノ改善ヲ計ルコトハ、内地ニ比シテ一層緊要ナリトス</p> <p>五、制度ノ不備ナルコトニ對シテ</p> <p>指導監督ノ機關ヲ設ケ、督勵勸獎ノ實績ヲ學クルヲ要ス</p> <p>右 答 申 ス</p> <p>詰問事項 第三</p> <p>在支邦人兒童ハ内地兒童ニ比シ一般ニ自助的精神乏シキ模樣ナルモ之ニ對シ健全ナル國民精神ノ涵養ト併テ實質剛健ノ氣風作興ニ關シ從來實施シ來レル方法如何</p> <p>在支邦人ノ家庭現狀ハ一般ニ放逸驕奢ニシテ内地兒童ニ比シ自助的精神乏シキ傾向アリ、之ニ對シ小學校兒童ニ健全ナル國民精神ノ涵養ト併テ實質剛健ノ氣風作興ハ誠ニ大切ナルコトナリ、之ニ對シ從來實施シ來レル方法ハ</p> <p>1、父兄會、學藝會、其ノ他家庭訪問等ノ際父兄ニ對シ右ニ關シテ深甚ニ自覺セシムル様努ム</p> <p>2、強固ナル意志ヲ養成ニ努力ス</p> <p>3、作業ヲ獎勵シ衛生上支障ナキ限リ掃除草取花園ノ手入等ヲナサンム</p>	<p>4、兒童ノ服裝學用品ハ華美ヲ避ケ質素ヲ旨トス</p> <p>5、運動競技登山遠足ヲ獎勵ス</p> <p>6、自學自習ヲ獎勵シ凡テ計劃的ニ自助的ニ行ハシム</p> <p>右 答 申 ス</p> <p>詰問事項 第四</p> <p>各領事館管下ヲ通シテ小學校教員ノ詰替轉任ヲ認ムルトセバ之レガ最も簡單ニシテ時宜ヲ得タル方法如何</p> <p>在外各指定小學校所在地ノ狀況ハ内地一府縣内各地ノ狀況ト略相等シキニ比シ諸種ノ事情相異ナル處アリ、例ヘバ北支小學校十三校所在ノ狀況ニ見ルモ交通上ノ不便アリ、氣候風土ノ良否アリ、從ツテ生活上ノ難易一様ナラス、加フルニ治安問題ノ關係等モアリテ其ノ事情決シテ單一ナルモノニアラズ、而シテ一方各地國民會ノ經濟狀態亦各異ナリ、職員ノ待遇ハ必ズシモ生活ノ難易、危險ノ有無ニ比例スルコト能ハズ、從ツテ詰替轉任ヲ行フトセバ第一ニ職員ノ待遇ヲ統制スルノ必要アルベシ、例ヘバ本俸ヲ均一ニシ加俸ニ於テ恰モ滿鐵沿線ノ如ク、土地ノ事情ニ照シテ差等ヲ設ケルカ如キ方法ヲ取ルコト、之レ此カ問題解決ノ先決問題ナルベシ</p> <p>而シテ詰替轉任ヲ實施スルニ際シテハ教育行政上ノ公平ヲ期スル爲更ニ全般ニ五九監督機關ヲカルベカラズ、建議案第四項ハ詰替轉任ノ方途ヲ講セラル、爲ニ最モ緊要ナリトス、要スルニ小學校教員ノ詰替轉任ノ必要ハ之ヲ認ムレトモ之ヲ實施スルニ當リテハ先ツ前掲ノ二問題ヲ解決シタル上ナラザルベカラズ</p> <p>右 答 申 ス</p>
---	---

(102)

(101)

諸問事項第五

在支小學校教員ノ修養ニ關シ最モ適切妥當ナル方案並ニ各學校ニ於ケル實施狀況如何

- 一、修養ハ其ノ方面多岐ニシテ其ノ志ス所ニヨツテ各異ナルナリ例ヘバ左表ノ如シ



二、常識修養ニ關シ最モ適切妥當ナリト認ムルモノ左ノ如シ

- 一、讀書
- 二、旅行
- 三、意見ノ交換
- 四、識見アル先覺ノ指導

三、現在實施セル狀況左ノ如シ

- 一、各人各自ニ讀書ヲナスハ勿論職員相集リテ讀書會ヲ催シ或ハ輪讀ヲナシ、或ハ各自ノ讀書セル概ヲ語り合ヒ等ナス

二、旅行モ亦各人各自之ヲ行フ以外、民團又ハ民會ヨリ視察旅行セシムル向モアリ、サレド經費ヲ要スルコト比較的多キ故ニ何レノ校モ未ダ十分ナリトイフヲ得ズ

三、職員相集リ、或ハ先覺者ヲマジヘテ座談會ヲ催シ、時事問題時代思潮等ニツイテ互ニ語合フ

四、識見アル先覺者ノ講演ヲ聽イテ常識修養ノ一助トス

右答申ス

諸問事項第六

第二回會議協議事項一〇北支日本教育會ノ活動狀況如何

北支日本教育會ハ昭和二年八月設立會長坂西利八郎氏副會長ニ北京小學校校長廣田治明氏就任シタリ其ノ後北支動亂ノタメ各學校共ニ教育上大ナル影響ヲ來シ此方回復ニ忙殺サレタルヲ以テ何等實施事項ナシ

右答申ス

建議事項第一

在外指定小學校教育費中人件費ハ其ノ全部ヲ國庫ヨリ支出シ指定補助トセラレタシ

我々國小學校教育ハ今更言フ迄モナク國民誰モガ必ズ通過スベキ課程ニシテ換言スレバ國家要堂ノ必然的作業ナリ、サレバ其ノ他ノ教育トハ根本的ニ其ノ意義ヲ異ニスルモノトイハザルベカラズ從ツテ其ノ經營ニ至リテハ當然國家自ラ之ヲナスヲ以テ原則トスベシ現在我々國小學校教育ハ地方自治體ニ屬スルニ至リテハ當然國家自ラ之ヲナスヲ以テ原則トスベシ現在我々國小學校教育ハ地方自治體ニ屬スルニ至リテハ當然國家經營ノ本

(104)

(103)

建議事項第二

在外指定小學校教員ニシテ多年勤務シテ功勞顯著ナル者ニ對シテハ特種ノ特典ヲ與フルノ道ヲ開カレタシ

明治四十四年十一月文部省訓令號外(改正大正六年第九號)勅令第二七三號ヲ以テ小學校長及教員ノ名稱待遇ニ關スル規定中内地市町村立小學校教員ニシテ二十年以上勤続シ功勞顯著ナル者ニハ委任官同ノ待遇ヲ與ヘラルコトナレリ、更ニ昨年ヨリハ之ヲ擴充シテ台灣及朝鮮地方ニ及ボシ而シテ地方ハ勤続年限十五年以上ヲ以テセラルコトナリタリ、是レ實ニ教員待遇ノ趣旨ニ外ナラザルモノニシテ教育尊重ノ措置ト思惟セラル

然ルニ獨リ在外指定小學校ニアリテ未ダ此ノ道ノ開カレザルハ甚ダ遺憾ナリトス、是本建議案ヲ提出シタル所以ナリ

建議事項第三

國定教科書改訂ニ際シテハヨリ以上支那ニ關スル教材ヲ加ヘラレタシ

支那ハ政治上ニモ經濟上ニモ將又文化上ニモ我々帝國ト重大ナル關係ヲ有スル事今更言フ俟タザル所ナリ

然ルニ支那ニ關スル教材ハ現行國語讀本ニ於テ六課尋常小學校讀本ニ於テ五課尋常小學校地理書ニ於テ二百六十二頁中十二頁ヲ取入レラレアル實狀ニアリ

吾人ハ在支邦人兒童ノ教育ニ從事シテ支那ニ關スル材料ノ僅少ナルヲ思ヒ常ニ其ノ補充ニ腐心セル所ナリ、而シテ現在及ビ將來ニ於ケル日支ノ關係ノ重大ニ鑑ミルトキハヨリ以上支那ヲ知ラシムルノ必要ナルコトハ獨リ在支邦人教育上ノ問題トミニ止マラズ實ニ我々國民教育全般ノ問題トイハザルベカラズ

惟フ我々國ハ國民學ツテ今一層深ク支那ヲ理解スルノ必要ヲ認ムルモノナリ、時恰モ國定教科書改訂セラルル機ニ遭遇セル今日本議案ヲ提出シタル所以ナリ

建議事項 第四  
在外教育指導監督機關設置セラレタシ

凡テノ大東亞ハ其ノ各部ノ施設ヲ完備スルコトニ依テ其ノ効果ヲ收メ得ラルモノナリ、即チ組織ノ効力ハ能率ヲ高ムル所以ナルコト今更言フ俟タザル所ナリ  
内地ニ於テ各府縣ニ視學官ノ制度アリテ更ニ其ノ上ニ教育部長ヲ存置セラレル所以亦實ニ此ノ義ニ外ナラザルベシ

抑モ内地ニ於ケルコレ等諸機關ノ職責タルヤ固ヨリ官制ノ示ス所、要スルニ其ノ根本要義ハ所官ノ教育ヲシテ國家要望ノ道ニ順應セシムルニアリテ教職員ヲ職權監督シ其ノ發利タル意氣ヲ喚起セシムルモノニシテソノ組織ノ有意義ナルコト内地教育ノ實際ニ徴シテモ明ナル所ナリ海外教育ニ於テモ此ノ種ノ機關ノ設置ヲ懸望シテ止マザルモノモ茲ニ年アリ不幸ニシテ未ダ實現ノ喜ビヲ見ルニ至ラズ、海外教育振興ノ爲メ甚ダ遺憾ナリトス、加フルニ貴省ニ於テモ近時教職員請替任ノ必要ヲ認メラルモノノ如シ、之レガ解決ノ前提トシテ本機關ノ切要ナルハ今固ヨリ御請問ニ答申シタル所、速ニ適當ノ機關ヲ設置セラレタク本建議案ヲ提出シタル所以ナリ

建議事項 第五

次回ノ北支小學校長會議ハ東京ニ之ヲ招集セラレ他ノ在支小學校長ヲモ之ニ加ヘラレタシ  
北支日本小學校長會議ハ同ヲ重ヌルコト既ニ三回ニ及ビ在支邦人初等教育ノ根本問題ニツキ種々協議ヲ遂テ連絡統一上ノ問題ニツキテハ一定ノ協定ヲ見クルモ其ノ實行ニツキテハ前途幾多ノ難關アリ

(106)

(107)

ルコトヲ豫想セラレ、而モ萬難ヲ排シテ實行ニ着手シ得ル日一日モ早カラントテ希フテ止マズ、コレ本會議ヲ東京ニ開催セラレシコトヲ建議スル所以ニシテ左記ハ其ノ理由ノ重要ナルモノナリ

イ、東京ニ開催セラレルトセバ直接外務省ノ指導監督ヲ受ケ且ツ兩省要路ノ臨席モ仰キ得ラルベク在支教員精神作興上蓋シ難ナルモノナラン

ロ、在支小學校將來ノ施設計畫ニシテ内地ノ教育施設等ヲ參考ニシテ或ハ語多ノ教育機關ノ援助ヲ待チテ達成セラレベキモノ多キヲ以テ其ノ施設ヲ參觀シ其ノ機關ト提携シテ實行ニ遺憾ナカラシメントス

廣大ナル支那ノ土地ニアリテハ其ノ位置ニヨリ事情ヲ異ニシ教育ノ方法モ自ラ異ナル點アルベキモ國民教育ノ根本精神ヨリ共通ナル問題ニ對シテハ協力以テコレガ解決ニ當ルノ要アルヲ認ム、コレ特ニ北支ニ限ラズ全支小學校長ヲ召集セラレタキ所以ナリ

一、時局ニ關スルモノ

1、近時頻りに起ル支那ノ動亂ニ對スル我國ノ態度ニ關シ教育上取扱フベキ範圍如何

2、時局ニ對シニ思想指導ニ努ムベキ必要ナキカ若シアリトセバ之ガ適當ナル方案如何

3、現在ノ北支支那ノ時局ニ鑑ミ在支邦人子弟教育上特ニ注意ヲ要スル點如何

4、支那動亂ノ爲ニ被ル教育上ノ障害ヲ成ルベク抑カラシムルメニハ學校當局者トシテ如何ナル方法如何ナル用意ヲナスベキカ

5、學校往復ノ途中邦人兒童ガ無智ナル支那人共、他學生兒童ヨリ妨害ヲ受クルコトハ殆ト常

二、學校衛生ニ關スルモノ

1、學校衛生上校醫ノ服務狀況ニ省ミ改善ヲ期スル適當ナル方案如何  
2、衛生室ノ設備如何ニスベキカ、學校看護婦如何ニ利用ニスベキカ  
イ、北支小學校十三校中邦人醫師ヲ得難ク學校醫ヲ置カザル學校ハ、坊子、張店、龍口、三校ニシテ其ノ他ニ於テモ殆ト春季ノ定期身體檢查ヲ行フニ過ギザル學校多クシテ學校醫トシテ學校衛生上ニツキ遺憾ナキ活動ヲナセルモノナシト言フ、狀態ニアリ故ニ少クトモ毎月二回以上學校ヲ視察シテ兒童ノ健康、校舍ノ清潔、急救處置ノ設備等ニツキ適當ノ處置ヲ施スラ要ス

ロ、學校看護婦ヲ設ケタル學校ハ青島第一小學校ノミナリ而シテ同校及内地各地ノ學校ヲ調査セルトコロニヨレバ、其ノ成績極メテ良好ニシテ兒童疾病ヲ早期ニ發見シ其ノ處置ノ後レザリシ事實サハ少カラズ其ノ他校醫ノ指揮ニヨリ眼疾ノ洗滌急救ノ手當衛生上ノ施設等學校看護婦ノ勤務極メテ多ク成ルベク各校ニ學校看護婦ヲ置ク必要アリ

ハ、衛生室ニハ少クトモ急救用具洗滌設備等ニ要スル器具ヲ備フルコト  
ニ、現今兒童ノ疾病中最多キハ細菌ナリ全兒童ノ九十五%以上ハ該患者ナル狀況ニシテ兒童ノ保健身體ノ發育上ニ及ボス影響ハ恐ルベキモノアルヲ認ム、故ニ成ル可ク齒科治療ノ簡單ナル設備ヲナシ専門醫ヲ聘シテ拔齒及簡單ナル治療ヲ無料ニテ施スハ國民

體育上許要ナルコトナリ

三、公民教育ニ關スルモノ

1、在學小學校ニ於テ課スル公民教育ノ程度及方法如何  
イ、公民教育ハ公民タル智識ノミニアラズ我立憲國民ノ一員トシテ共同團體生活ヲ全クスル人格ノ陶冶ニアルヲ以テ修身科ハ勿論全教科ニ涉リテ公民教材ヲ選擇シ之ヲ各學年ニ配當シ系統アル公民の教授ヲナスラ要ス然レドモ之ガ爲公民科ナル特別教科ヲ設ケルニ非ズシテ他教科ノ教授ノ間ニ隨時之ヲ施サントスルニアリ、コノ配當案ハ本會期中ニ作製スルコト却ツテ杜撰ニシテ適切ナルモノヲ得ル能ハザルガ故ニ公民訓練ト共ニ各學校ニ於テ今後研究作製スルコトトス

四、雜

1、内地室ハ如何ニ設備ニスベキカ  
内地ノ事情ニ通ゼザルモノニ對シテ得ラ易カラシムル方法ノ一トシテ校内ノ一室ヲ充テ之ガ設備ヲナス

イ、日本内地ニ關スル歴史の資料ノ蒐集  
ロ、地理、理科ニ於テ内地ニ關スル資料ノ蒐集  
ハ、國語科ニ於テ庶物の資料ノ蒐集

右ハ繪畫寫眞、模型、實物標本等ニヨリ平面的ニモ立体的ニモアラユル材料ヲ陳列シ兒童ヲシテ内地ノ事情ヲ了解セシムルコトニ努ム例ハ巴御歴代軸物、全日本都市村落日本家庭重要産業風俗等ノ寫眞模型等ノ整頓陳列

2、北支那教育會ノ事業ヲ一層具体化シ之ヲ有効ナラシムル方案如何

(119)

イ、北支教育會雜誌發行  
 會員ノ研究發表、各學校ノ通信連絡ノ機關トシテ左ノ方法ニヨリテ北支教育會雜誌ヲ發行ス  
 A、材料ハ教育ニ關スル研究調査物各學校ノ狀況會員ノ異動通信等  
 B、發行期日ハ四月、七月、十月、十二月、二月、ノ各十五日トシ原稿ノ切ハ發行月ノ前月末トス  
 C、原稿ハ各學校ニ於テ謄寫刷ニ附シ二十部ヲ作製シ編輯學校ニ送附スルコト用紙ハ半紙版紙ヲ用ヒ字休ハ明瞭ニ認ムルコト  
 D、編輯學校ニ於テハ目次ヲ作製シ表紙ヲ綴リテ各學校ニ配送スルコト  
 E、編輯學校ハ北京、天津、濟南、青島第一、全郡二、四方、滄口ノ順ニ七校ニ於テ交互ニ當ルコト  
 F、第一號ハ昭和四年十月發行トシ北京小學校宛ニ九月末日迄ニ原稿ヲ送附スルコト  
 ロ、巡回講習會開催ノ件  
 内地ヨリ適當ノ講師ヲ聘シ左記ニヨリ實際教授ノ指導講習會ヲ開クコト  
 A、本年度内ニ一回各學校ヲ巡回シテ實地教授ノ指導ヲナシ講習會ヲ開クコト  
 B、開催ノ時期、講師、學料並ニ巡回順序等ハ天津小學校長ニ於テ講師ト協議ノ上決定スルコト  
 C、本講習會開催ニ要スル經費ハ各學校ニ於テ本年度外務省教育補助費ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ提出スルコトニ盡力スルコト

(110)

離出ノ方法ハ各學校ニ於テ適宜ノ方法ニヨルコト  
 D、昭和五年度以降毎年一回開催シ經費ハ前記各校提出金ニヨリ不足ノ分ハ外務省ニ補助ヲ請願スルコト  
 協議 問題  
 一、代用、囑託教員ノ發令ニ關スル件  
 發令ニ關シテハ各地多少差異アリ今後ハ代用教員ハ領事館、囑託教員ハ民團ヨリ發令サル、方好都合ナル故右ニ關シ其ノ筋ニ申出ヅルコト  
 二、北支校長會開催地ノ實際的教育施設狀況ヲ觀察研究スルト共ニ研究發表會開催ノ件  
 將來北支校長會開催ノ場合ハ實際的教育施設狀況ヲ觀察研究スルト共ニ研究發表會ヲ開催スルヲ可ト認ムルモ開催ノ時期多クハ夏休中ニ屬シ其ノ實行困難ナルヲ以テ保留トス  
 三、教授細目編纂上左記事項協調ノ件  
 1、教授ノ進度並ニ完結ノ時期  
 2、教授細目編纂上ノ形式  
 3、改訂教科書ノ研究調査  
 右ハ各學校ニ於テ實施又ハ研究セシモノヲ今回發行ニ決シテ北支教育會誌ニ發表スルコト  
 四、教育映畫ヲ各校巡回的ニ觀覽セシムル方法ナキカ  
 將來教育會ノ事業トシテ巡回映畫ヲナス、但シ經費共ノ他フィルム購入及各地ヘノ廻送料、關稅等ニ對シ今回ノ主催地天津校ニ十分ノ調査ヲナスコト  
 尙映畫機ハ各校ニテ成ルベク購入設備スベキモ經費ノ關上最寄リノ小學校共同ニテ購入スル

(111)

コトアルベシ  
 五、教科主任會開催ノ件  
 將來必要ナルコトナリ、故ニ校長會ト交互ニ開催スル様、其ノ時期及旅費等ノコトニツキ各校ニテ研究スルコト  
 意見 交換 事項  
 一、國定理科教材ノ得難きものにつき其ノ代用品並ニ取扱方につき承りたりし  
 偶々内地へ歸還する人に依頼して取寄す  
 同種目他ノ教材を以て代用す  
 他ノ教材ノ代用では入學試験に不都合を感ずることなき様に注意すること  
 二、郷土誌ノ實際案につき承りたりし  
 多くは五年の地理教授ノ始めに課し、或校は四年より始むるもあり、猶卒業前二三時間郷土地理を課する所もあり  
 三、支那製若しくは支那に産する材料にして學用品又は教授材料として使用せらるゝものならば承りたりし  
 手工材料として粘土、高粱、麻袋を、用具として支那小刀、支那筆(上等のものなら保存法に注意すれば可)等を使用し得べし  
 四、尋常小學校に隨意科目として英語又は支那語を課しつゝある學校ノ實際狀況承りたりし  
 英語は各學年共隨意に志望せしめ、兒童保護會より外人を聘し一週三十分づゝ二回學習せしむる所あり、又五六年に於テ擔任訓練教授する所もあり、支那語は高等科に一週二時間又は三

(112)

時間隨意科として課する所あり、尋常科には課する所なし  
 五、昨年度後文部大臣に下し賜へる教育振興に關する御沙汰ノ趣意を廣く一般に徹せしめるにつき如何なる方法を講ぜられしや  
 一、其ノ日を教育デーとして簡單なる奉讀式を行ふ所あり  
 一、父兄會に於て其ノ趣旨を話す所あり  
 一、平素額として校長室に掲げ置く所あり  
 六、講堂及屋内休操場ノ設備につき御意見承りたりし  
 講堂ノ横に廣きは不便多し  
 講堂ノ奉揚所ノ兩側に二小室を造りおく時は便利なることあり  
 講堂ノ後方を高くするは考へ物なり、椅子ノ高低を以て加減する方可ならん  
 休操場ハ板敷の方可なり、バネを附すれば更なる可ならん(戸山學校ノ例により)  
 七、理化器械ノ如き教授用具ノ修繕を如何にせらるゝや承りたりし  
 大連ノ島津出張所と連絡をとれば可なり  
 時間切迫の爲十分意見を盡すこと能はず、尙詳細なる意見は今後北支教育會雜誌に發表するか、若くは私信にて通知し合ふことを約せり  
 四、天津 幼稚園  
 (イ) 昭和四年一月 幼稚園職員出欠調  
 至全 十二月









(126)		(125)	
項目	一月	二月	三月
新加新聞	1	1	1
購入寄贈	4	6	4
減退新聞	1	1	1
購入寄贈	4	5	2
月別	5	4	3
別	1	1	1
備考	三月以降増減ナシ		

即年内新加新聞五種寄贈ニヨリ購入ヲ廢シタルモノニ種差引三種ノ増加ニシテ何レモ寄贈トス

一、京城日報 每號 京城發行所  
 一、信濃毎日新聞 全 長野全發行所  
 一、華文大公報 全 天津中島克巳氏  
 一、全天津日々新聞 全 天津發行所  
 一、福岡日々新聞 全 福岡全發行所

以上五種ニシテ此外一定セサル寄贈ハ省略ス

ハ、新聞備附一覽

紙名五十音順○印ハ購入他ハ寄贈

秋田魁新聞  
 伊勢新聞  
 小樽新聞  
 大阪毎日新聞  
 京城日報  
 神戸又新日報  
 山東新聞  
 信濃毎日新聞  
 華文順天時報  
 上毛新聞  
 華文大公報  
 華南新聞  
 華文天津日々新聞  
 ○天津經濟新聞  
 德島毎日新聞  
 名古屋新聞  
 日本勞農新聞  
 函館新聞

いばらき  
 華文益世報  
 大阪朝日新聞  
 大分新聞  
 京都日出新聞  
 上海日日新聞  
 上海支那新聞  
 上海毎日新聞  
 大連新聞  
 中外商業新報  
 天津日日報  
 富山日日報  
 名古屋毎日新聞  
 名古屋新聞  
 英文ノ、チャイナ、スター  
 福岡日々新聞

(128)		(127)	
項目	一月	二月	三月
新加雜誌	1	1	1
購入寄贈	1	1	1
減退雜誌	1	1	1
購入寄贈	1	1	1
月別	1	1	1
別	1	1	1
備考	三月以降増減ナシ		

即年内新加雜誌十九種計現在備附七十二種内寄贈五十四種ナリ

一、雜誌寄贈者(新加誌一覽)  
 誌名五十音順○却ハ購入他ハ寄贈

一、國、教  
 一、國際法外交雜誌

全東京發行所

釜山日報  
 ○英文ベキン、テンシン、タイムス  
 奉天新聞  
 北越新聞  
 滿洲新聞  
 やまと新聞  
 山梨日々新聞  
 萬朝報

福島新聞  
 北新新聞  
 報知新聞  
 北陸タイムス  
 滿洲新聞  
 山形新聞  
 横濱貿易新聞





(138)

(137)

部門	月別												新加前年部門計	
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
支那漢文	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
支那一般	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
辭書	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
洋書	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
法律	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
政治	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
經濟	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
社會	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
教育	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
宗教	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
哲學	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
醫學	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
工程	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
歷史	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
地誌	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
產業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
文學	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
美術	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
叢書	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
兒童	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

註：前年比増加率僅々四百九十冊ニ過キザルモ第一支那研究圖書、第二一般的研究圖書、第三比較的高價ナル圖書、第四代

誌ノ願洋書一百餘冊ニテ最下位ニアリ以テ讀書傾向ヲ窺ハク而シテ前年ニ比シ第一位ニ於テ一千三百冊第二位ニ於テ五百冊第三位ニ於テ六百冊第四位ノ圖書類(前年第三位)モ猶前年ヨリ四百餘冊ヲ増加トナリ殊ニ兒童圖書ハ著シキ進出ニテ此少年時代ヨリ圖書館利用ノ端緒ヲ得タルハ讀書ノ普及並ニ本館將來ノ爲衷心欣幸トスルコトナリ

ハ、新加圖書及總藏書部門別統計

(140)

(139)

項目	金額	單位
1、寄附金		
イ、一般寄附金	2,473.5	圓
前年繰越金	7.3	圓
本年受入金	1,544.2	圓
本年支出金	93.6	圓
差引現存	3,127.4	圓
ロ、小幡記念文庫寄附金	73.2	圓
前年繰越金	5.8	圓
本年受入金	73.7	圓
本年支出金	1.0	圓
差引現存	127.7	圓
2、保證金		
前年繰越金	1,600.0	圓
本年受入金	5.0	圓
本年支出金	5.0	圓
差引現存	1,590.0	圓

註：保證金利息ハ民國會計雜收入ニ計上ス  
尙本館會計報告ハ一月ヨリ十二月マテノ年計ニシテ年度計算ニアラサルコトヲ附記ス

### 第三、調査部

#### 一、一般戸口調査

前年来北支那政局漸次安定シ民國人ノ居ヲ他ニ移スモノ或ハ不況ノ爲メ閉店スルモノヲ生シ前年未ヨリ人口二、一九〇人ヲ減シテ二九、二五七人トナレリ、邦人ニ在リテハ住宅地ノ新築家屋ハ外國租界ヨリ居ヲ移スモノ等アリテ人口二八五人ヲ増加シテ五、四九六人トナリ本年末租界内人口總數ハ約三萬五千人トナレリ (詳細戸口調査ノ各表参照)

#### 二、課金調査委員會

昭和三年十二月十九日依囑シタル課金調査委員左ノ如シ

富成 一二	長谷川 義三郎	小倉 知正	川島 範夏
金山 喜八郎	永安 平吉	田中 鑄太郎	小谷 萬治郎
野崎 誠近	鍛冶 靜一郎	松田 開一	郡 茂行
赤山 今朝治	佐々木 敏九	清水 幸三郎	

昭和四年一月二十九日富成一二氏辭任ニツキ同月三十日平井久一氏ニ依囑ス  
昭和四年四月田中鑄太郎氏ハ行政委員ニ當選シ一名缺員ノマ、十二月ニ至ル











(158)

町名	坪数	官有地	课税地	不课税地	寄附未済道路	宅地合計
曙盤	1,995.7	1,124.37	26,994.4	3,575.5	2,564.0	4,995.7
常盤	1,202.9	2,609.4	3,699.7	3,375.3	6,000.5	3,699.7
榮園	4,269.9	4,349.6	2,107.8	6,794.4	2,367.8	4,269.9
小花松	984.4	7,389.9	3,399.3	2,567.7	4,533.4	984.4
美蓉	1,846.4	1,846.4	2,599.9	4,186.4	8,186.4	1,846.4
春日	1,846.4	3,999.3	6,333.4	3,533.7	3,333.4	1,846.4
吉野	5,555.5	9,111.1	2,222.2	3,333.3	3,333.3	5,555.5
明石	8,888.8	1,111.1	2,222.2	3,333.3	3,333.3	8,888.8
須磨	1,111.1	2,222.2	3,333.3	4,444.4	5,555.5	1,111.1
淡路	2,222.2	3,333.3	4,444.4	5,555.5	6,666.6	2,222.2
三島	3,333.3	4,444.4	5,555.5	6,666.6	7,777.7	3,333.3
興津	4,444.4	5,555.5	6,666.6	7,777.7	8,888.8	4,444.4

(157)

町名	坪数	官有地	课税地	不课税地	寄附未済道路	宅地合計
秋山	311	11	21	8	31	311
蓬萊	38	1	1	1	27	38
松島	65	1	1	1	62	65
浪速	9	1	1	1	6	9
宮島	13	1	1	1	10	13
吾妻	3	1	1	1	1	3
伏見	6	1	1	1	3	6
福立	133	1	1	1	130	133
橋立	6	1	1	1	4	6
計	680	24	48	26	228	680

(160)

町名	坪数	官有地	课税地	不课税地	寄附未済道路	宅地合計
曙盤	1,995.7	1,124.37	26,994.4	3,575.5	2,564.0	4,995.7
常盤	1,202.9	2,609.4	3,699.7	3,375.3	6,000.5	3,699.7
榮園	4,269.9	4,349.6	2,107.8	6,794.4	2,367.8	4,269.9
小花松	984.4	7,389.9	3,399.3	2,567.7	4,533.4	984.4
美蓉	1,846.4	1,846.4	2,599.9	4,186.4	8,186.4	1,846.4
春日	1,846.4	3,999.3	6,333.4	3,533.7	3,333.3	1,846.4
吉野	5,555.5	9,111.1	2,222.2	3,333.3	3,333.3	5,555.5
明石	8,888.8	1,111.1	2,222.2	3,333.3	3,333.3	8,888.8
須磨	1,111.1	2,222.2	3,333.3	4,444.4	5,555.5	1,111.1
淡路	2,222.2	3,333.3	4,444.4	5,555.5	6,666.6	2,222.2
三島	3,333.3	4,444.4	5,555.5	6,666.6	7,777.7	3,333.3
興津	4,444.4	5,555.5	6,666.6	7,777.7	8,888.8	4,444.4

(159)

町名	坪数	官有地	课税地	不课税地	寄附未済道路	宅地合計
住吉	956.3	11	21	8	31	956.3
秋山	14,877.7	11	21	8	31	14,877.7
蓬萊	2,497.7	11	21	8	31	2,497.7
松島	3,533.3	11	21	8	31	3,533.3
浪速	7,777.7	11	21	8	31	7,777.7
宮島	12,345.6	11	21	8	31	12,345.6
吾妻	4,567.8	11	21	8	31	4,567.8
伏見	8,901.2	11	21	8	31	8,901.2
福立	13,456.7	11	21	8	31	13,456.7
橋立	6,789.0	11	21	8	31	6,789.0
計	73,456.7	24	48	26	228	73,456.7



(166)

而シテ日、支、外人別負擔額左ノ如シ		計	
日本	銀貳萬四千七百貳拾四弗八拾九仙也	四	一八
支那人	銀七萬七千貳百貳拾八弗九仙也	六	一九
外國人	銀貳百六拾五弗八拾六仙也	一	〇
計	銀拾萬貳千貳百拾八弗九拾四仙也	一一	三〇

(165)

而シテ日、支、外人別負擔額左ノ如シ		計	
日本	銀壹萬參千參百六拾壹弗四拾八仙也	七	六三
支那人	銀貳萬壹千壹百五拾參弗八拾壹仙也	一五	一六八
外國人	銀五百八拾六弗參拾九仙也	一	一五
計	銀參萬五千壹百〇壹弗六拾八仙也	二二	一七三

(168)

而シテ日、支、外人別負擔額左ノ如シ		計	
日本	銀八千六百貳拾參弗九拾八仙也	二	二
支那人	銀七百貳拾壹弗四拾仙也	一	〇
外國人	銀九千參百四拾五弗參拾八仙也	四	二
計		七	四

(167)

而シテ日、支、外人別負擔額左ノ如シ		計	
日本	銀貳萬四千七百貳拾四弗八拾九仙也	四	一八
支那人	銀七萬七千貳百貳拾八弗九仙也	六	一九
外國人	銀貳百六拾五弗八拾六仙也	一	〇
計	銀拾萬貳千貳百拾八弗九拾四仙也	一一	三〇



(174)		(173)	
<p>一、銀拾五弗也 一、銀五五拾六仙也 計銀貳拾五拾六仙也 差引銀四百六拾六弗五拾參仙也</p> <p>ハ、女學校寄附金</p> <p>一、金壹百拾參圓拾四錢也 一、金參拾圓也 一、金壹圓四拾六錢也 計金壹百四拾四圓六拾錢也 (支出ナシ)</p> <p>ニ、女學校寄附金</p> <p>一、銀壹百貳拾四弗九拾七仙也 一、銀壹百貳拾弗也 一、銀四弗貳拾八仙也 計銀貳百四拾九弗貳拾五仙也</p> <p>一、銀拾八弗也 計銀拾八弗也</p>		<p>六、各種寄附金</p> <p>イ、小學校寄附金</p> <p>一、金壹千〇五拾圓六拾參錢也 一、金五拾圓也 一、金拾六圓七拾八錢也 計金壹千壹百七拾七圓四拾壹錢也</p> <p>支 出</p> <p>一、金貳百七拾七圓貳拾七錢也 計金貳百七拾七圓貳拾七錢也 差引金八百四拾圓四拾四錢也</p> <p>ロ、小學校寄附金</p> <p>一、銀貳百七拾六弗參拾四仙也 一、銀貳百弗也 一、銀拾七拾五仙也 計銀四百八拾七弗〇九仙也</p>	
<p>(金勘定)</p> <p>現 在 高</p> <p>前 年 末 現 在 高</p> <p>新 井 龜 太 郎 氏 寄 附 利 子 受 入</p> <p>現 在 高</p> <p>前 年 末 現 在 高</p> <p>女 學 校 卒 業 生 一 同 外 二 名 寄 附 利 子 受 入</p> <p>現 在 高</p> <p>ピ ン ボ ン 台 新 設</p>		<p>(金勘定)</p> <p>現 在 高</p> <p>前 年 末 現 在 高</p> <p>新 井 龜 太 郎 氏 寄 附 利 子 受 入</p> <p>現 在 高</p> <p>前 年 末 現 在 高</p> <p>齋 藤 恭 一 氏 外 四 名 寄 附 利 子 受 入</p> <p>現 在 高</p> <p>書 籍 購 入 代</p>	

(176)		(175)	
<p>計金壹百參拾貳圓九拾參錢也 (支出ナシ)</p> <p>チ、幼稚園寄附金</p> <p>一、金七拾壹圓四拾七錢也 一、金貳拾圓也 一、金六拾八錢也 計金九拾貳圓拾五錢也 (支出ナシ)</p> <p>リ、幼稚園寄附金</p> <p>一、銀參百八拾參弗八拾壹仙也 一、銀壹百參拾弗也 一、銀拾貳弗〇五仙也 計銀五百貳拾五弗八拾六仙也</p> <p>支 出</p> <p>一、銀拾九弗七拾仙也 一、銀貳百四拾七弗參拾壹仙也 一、銀六拾九弗〇壹仙也 計銀參百參拾六弗〇貳仙也</p> <p>差引銀壹百八拾九弗八拾四仙也</p>		<p>差引銀貳百參拾壹弗貳拾五仙也</p> <p>ホ、圖書館寄附金</p> <p>一、金貳百四拾七圓參拾五錢也 一、金七拾參錢也 計金貳百四拾八圓〇八錢也</p> <p>支 出</p> <p>一、金壹百五拾四圓四拾貳錢也 計金壹百五拾四圓四拾貳錢也 差引金九拾參圓六拾六錢也</p> <p>ヘ、圖書館寄附金</p> <p>一、銀參拾壹弗拾仙也 一、銀八拾六仙也 計銀參拾壹弗九拾六仙也 (支出ナシ)</p> <p>ト、消防被服寄附金</p> <p>一、金壹百參拾壹圓六拾八錢也 一、金壹圓貳拾五錢也</p>	
<p>(金勘定)</p> <p>現 在 高</p> <p>前 年 末 現 在 高</p> <p>新 井 龜 太 郎 氏 寄 附 利 子 受 入</p> <p>現 在 高</p> <p>前 年 末 現 在 高</p> <p>河 原 常 七 氏 外 二 名 寄 附 利 子 受 入</p> <p>現 在 高</p> <p>コ ン ビ ネ ー シ ョ ン 控 登 及 樂 隊 用 具 購 入 代 替 登 外 一 點 關 稅 諸 掛</p>		<p>(金勘定)</p> <p>現 在 高</p> <p>前 年 末 現 在 高</p> <p>利 子 受 入</p> <p>現 在 高</p> <p>前 年 末 現 在 高</p> <p>利 子 受 入</p> <p>現 在 高</p> <p>書 籍 購 入 代</p>	



(178)		(177)	
<p>一、金五圓〇壹錢也 計金五圓〇壹錢也 (支出ナシ) カ、プール寄附金 入</p> <p>一、金拾六圓四拾壹錢也 計金拾六圓四拾壹錢也 (支出ナシ) ヨ、プール寄附金 入</p> <p>一、銀四弗五拾參仙也 計銀四弗五拾參仙也 (支出ナシ) タ、公園寄附金 入</p> <p>一、銀壹百參拾七弗參拾七仙也 一、銀貳弗八拾四仙也 計銀壹百四拾弗拾壹仙也 支</p>	<p>一、金五圓〇壹錢也 計金五圓〇壹錢也 (支出ナシ) カ、プール寄附金 入</p> <p>一、金拾六圓四拾壹錢也 計金拾六圓四拾壹錢也 (支出ナシ) ヨ、プール寄附金 入</p> <p>一、銀四弗五拾參仙也 計銀四弗五拾參仙也 (支出ナシ) タ、公園寄附金 入</p> <p>一、銀壹百參拾七弗參拾七仙也 一、銀貳弗八拾四仙也 計銀壹百四拾弗拾壹仙也 支</p>	<p>一、金五圓〇壹錢也 計金五圓〇壹錢也 (支出ナシ) カ、プール寄附金 入</p> <p>一、金拾六圓四拾壹錢也 計金拾六圓四拾壹錢也 (支出ナシ) ヨ、プール寄附金 入</p> <p>一、銀四弗五拾參仙也 計銀四弗五拾參仙也 (支出ナシ) タ、公園寄附金 入</p> <p>一、銀壹百參拾七弗參拾七仙也 一、銀貳弗八拾四仙也 計銀壹百四拾弗拾壹仙也 支</p>	<p>一、金五圓〇壹錢也 計金五圓〇壹錢也 (支出ナシ) カ、プール寄附金 入</p> <p>一、金拾六圓四拾壹錢也 計金拾六圓四拾壹錢也 (支出ナシ) ヨ、プール寄附金 入</p> <p>一、銀四弗五拾參仙也 計銀四弗五拾參仙也 (支出ナシ) タ、公園寄附金 入</p> <p>一、銀壹百參拾七弗參拾七仙也 一、銀貳弗八拾四仙也 計銀壹百四拾弗拾壹仙也 支</p>

(180)		(179)	
<p>一、銀壹百〇貳弗九拾九仙也 收 入</p> <p>一、銀壹千參百八拾九弗六拾壹仙也 一、銀貳百〇九拾九仙也 一、銀四拾壹弗九拾七仙也 計銀壹千六百參拾壹弗五拾八仙也 (支出ナシ) ラ、埠頭築造費寄附金 收 入</p>	<p>一、銀壹百〇貳弗九拾九仙也 收 入</p> <p>一、銀壹千參百八拾九弗六拾壹仙也 一、銀貳百〇九拾九仙也 一、銀四拾壹弗九拾七仙也 計銀壹千六百參拾壹弗五拾八仙也 (支出ナシ) ラ、埠頭築造費寄附金 收 入</p>	<p>一、銀壹百〇貳弗九拾九仙也 收 入</p> <p>一、銀壹千參百八拾九弗六拾壹仙也 一、銀貳百〇九拾九仙也 一、銀四拾壹弗九拾七仙也 計銀壹千六百參拾壹弗五拾八仙也 (支出ナシ) ラ、埠頭築造費寄附金 收 入</p>	<p>一、銀壹百〇貳弗九拾九仙也 收 入</p> <p>一、銀壹千參百八拾九弗六拾壹仙也 一、銀貳百〇九拾九仙也 一、銀四拾壹弗九拾七仙也 計銀壹千六百參拾壹弗五拾八仙也 (支出ナシ) ラ、埠頭築造費寄附金 收 入</p>





(190)		(189)	
第四款 土木費	二四,五〇〇	二二,七六九	一,〇〇〇
一、俸給及手当	三,〇〇〇	三,〇〇〇	
二、宿舍料	三,九〇〇	三,九〇〇	
三、備人給	四,〇〇〇	三,九〇〇	
四、消耗品費	四,〇〇〇	三,九〇〇	
五、器具費	一,〇〇〇	一,〇〇〇	
六、修道費	五,〇〇〇	五,〇〇〇	
七、下水暗渠維持費	二,〇〇〇	二,〇〇〇	
八、ウエリス運河組合費負擔額	六,〇〇〇	六,〇〇〇	
九、柳筒所費	二,四〇〇	二,四〇〇	
〇、街燈費	三,〇〇〇	三,〇〇〇	
一、修樹費	九,〇〇〇	九,〇〇〇	
二、修繕費	一,〇〇〇	一,〇〇〇	
三、雜費	二,〇〇〇	二,〇〇〇	
第五款 水道費	六,〇〇〇	六,〇〇〇	
一、俸給及手当	三,〇〇〇	三,〇〇〇	
二、備人給	三,〇〇〇	三,〇〇〇	
三、修繕費	二,〇〇〇	二,〇〇〇	
四、器具費	八,〇〇〇	八,〇〇〇	
五、水代	六,〇〇〇	六,〇〇〇	
六、修理品購入費	二,〇〇〇	二,〇〇〇	
七、被服費	二,〇〇〇	二,〇〇〇	
八、消耗品費	一,〇〇〇	一,〇〇〇	
九、宿直料	七,〇〇〇	七,〇〇〇	
〇、雜費	六,〇〇〇	六,〇〇〇	
第六款 小學校費	六,七〇〇	六,七〇〇	
一、俸給	一,八〇〇	一,八〇〇	
二、修繕費	一,七〇〇	一,七〇〇	
三、修繕費	一,七〇〇	一,七〇〇	
四、圖書費	一,〇〇〇	一,〇〇〇	

(192)		(191)	
五、教具費	一,七〇〇	一,九〇〇	二〇〇
六、校具費	二,八〇〇	二,六〇〇	二〇〇
七、消耗品費	五,〇〇〇	四,九〇〇	一〇〇
八、旅費	五,〇〇〇	四,九〇〇	一〇〇
九、保費	一〇〇〇	一〇〇〇	
〇、通信費	八〇〇	八〇〇	
一、新聞雜誌費	一〇〇〇	一〇〇〇	
二、新開雜誌費	一〇〇〇	一〇〇〇	
三、學園費	一〇〇〇	一〇〇〇	
四、研究會費	一〇〇〇	一〇〇〇	
五、宿舍料	五,〇〇〇	五,〇〇〇	
六、宿直料	四,〇〇〇	四,〇〇〇	
七、雜費	一,〇〇〇	一,〇〇〇	
第八款 高等女學校費	二,〇〇〇	二,〇〇〇	
一、俸給	一,〇〇〇	一,〇〇〇	
二、修繕費	一,〇〇〇	一,〇〇〇	
三、雜費	一,〇〇〇	一,〇〇〇	
第九款 衛生費	八,〇〇〇	八,〇〇〇	
一、俸給及手当	八,〇〇〇	八,〇〇〇	
二、宿舍料	二,〇〇〇	二,〇〇〇	
三、校具及教具費	四,〇〇〇	四,〇〇〇	
四、圖書費	四,〇〇〇	四,〇〇〇	
五、消耗品費	七,〇〇〇	七,〇〇〇	
六、旅費	七,〇〇〇	七,〇〇〇	
七、雜費	三,〇〇〇	三,〇〇〇	
八、幼稚園費	五,〇〇〇	五,〇〇〇	
一、俸給及手当	三,〇〇〇	三,〇〇〇	
二、宿舍料	一,〇〇〇	一,〇〇〇	
三、備品費	一,〇〇〇	一,〇〇〇	
四、消耗品費	一,〇〇〇	一,〇〇〇	
五、修繕費	一,〇〇〇	一,〇〇〇	
六、雜費	一,〇〇〇	一,〇〇〇	
第九款 衛生費	八,〇〇〇	八,〇〇〇	



		(197)	(198)
五、雜費	課金徵收費	3,400.00	1,510.00
	特別課金徵收	3,400.00	3,400.00
	手数料	3,400.00	3,400.00
第七款 諸稅及負擔	諸稅	3,400.00	2,964.00
	地租	3,400.00	2,964.00
第八款 義勇隊費	義勇隊費	2,250.00	1,646.00
	訓練費	1,000.00	1,000.00
	消耗品費	1,250.00	646.00
第九款 雜支	接待費	3,700.00	3,292.00
	雜支	3,700.00	3,292.00
	人力車、大車、自轉車、代辦費	3,700.00	1,422.00
第十款 兒童、衛生展覽會費	兒童、衛生展覽會費	1,000.00	1,326.00
第十一款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第十二款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第十三款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第十四款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第十五款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第十六款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第十七款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第十八款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第十九款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第二十款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第二十一款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第二十二款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第二十三款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第二十四款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第二十五款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第二十六款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第二十七款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第二十八款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第二十九款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第三十款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第三十一款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第三十二款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第三十三款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第三十四款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第三十五款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第三十六款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第三十七款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第三十八款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第三十九款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第四十款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第四十一款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第四十二款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第四十三款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第四十四款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第四十五款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第四十六款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第四十七款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第四十八款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第四十九款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第五十款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第五十一款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第五十二款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第五十三款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第五十四款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第五十五款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第五十六款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第五十七款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第五十八款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第五十九款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第六十款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第六十一款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第六十二款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第六十三款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第六十四款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第六十五款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第六十六款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第六十七款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第六十八款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第六十九款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第七十款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第七十一款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第七十二款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第七十三款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第七十四款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第七十五款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第七十六款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第七十七款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第七十八款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第七十九款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第八十款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第八十一款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第八十二款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第八十三款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第八十四款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第八十五款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第八十六款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第八十七款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第八十八款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第八十九款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第九十款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第九十一款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第九十二款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第九十三款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第九十四款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第九十五款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第九十六款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第九十七款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第九十八款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第九十九款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00
第一百款 豫算額	豫算額	59,236.00	56,486.00

		(199)	(200)
第三款 教育費	一、營繕費	2,250.00	2,250.00
	二、衛生費	1,700.00	1,700.00
	三、給料及手當	1,800.00	1,800.00
	四、消耗品費	1,800.00	1,800.00
	五、器具費	1,800.00	1,800.00
	六、試驗用器具	1,800.00	1,800.00
	七、營繕費	1,800.00	1,800.00
	八、患者費	1,800.00	1,800.00
	九、豫防費	1,800.00	1,800.00
	十、雜費	1,800.00	1,800.00
	十一、保費	1,800.00	1,800.00
	十二、補償費	1,800.00	1,800.00
	十三、公費	1,800.00	1,800.00
	十四、國費	1,800.00	1,800.00
	十五、費	1,800.00	1,800.00
	十六、費	1,800.00	1,800.00
	十七、費	1,800.00	1,800.00
	十八、費	1,800.00	1,800.00
	十九、費	1,800.00	1,800.00
	二十、費	1,800.00	1,800.00
	二十一、費	1,800.00	1,800.00
	二十二、費	1,800.00	1,800.00
	二十三、費	1,800.00	1,800.00
	二十四、費	1,800.00	1,800.00
	二十五、費	1,800.00	1,800.00
	二十六、費	1,800.00	1,800.00
	二十七、費	1,800.00	1,800.00
	二十八、費	1,800.00	1,800.00
	二十九、費	1,800.00	1,800.00
	三十、費	1,800.00	1,800.00
	三十一、費	1,800.00	1,800.00
	三十二、費	1,800.00	1,800.00
	三十三、費	1,800.00	1,800.00
	三十四、費	1,800.00	1,800.00
	三十五、費	1,800.00	1,800.00
	三十六、費	1,800.00	1,800.00
	三十七、費	1,800.00	1,800.00
	三十八、費	1,800.00	1,800.00
	三十九、費	1,800.00	1,800.00
	四十、費	1,800.00	1,800.00
	四十一、費	1,800.00	1,800.00
	四十二、費	1,800.00	1,800.00
	四十三、費	1,800.00	1,800.00
	四十四、費	1,800.00	1,800.00
	四十五、費	1,800.00	1,800.00
	四十六、費	1,800.00	1,800.00
	四十七、費	1,800.00	1,800.00
	四十八、費	1,800.00	1,800.00
	四十九、費	1,800.00	1,800.00
	五十、費	1,800.00	1,800.00
	五十一、費	1,800.00	1,800.00
	五十二、費	1,800.00	1,800.00
	五十三、費	1,800.00	1,800.00
	五十四、費	1,800.00	1,800.00
	五十五、費	1,800.00	1,800.00
	五十六、費	1,800.00	1,800.00
	五十七、費	1,800.00	1,800.00
	五十八、費	1,800.00	1,800.00
	五十九、費	1,800.00	1,800.00
	六十、費	1,800.00	1,800.00
	六十一、費	1,800.00	1,800.00
	六十二、費	1,800.00	1,800.00
	六十三、費	1,800.00	1,800.00
	六十四、費	1,800.00	1,800.00
	六十五、費	1,800.00	1,800.00
	六十六、費	1,800.00	1,800.00
	六十七、費	1,800.00	1,800.00
	六十八、費	1,800.00	1,800.00
	六十九、費	1,800.00	1,800.00
	七十、費	1,800.00	1,800.00
	七十一、費	1,800.00	1,800.00
	七十二、費	1,800.00	1,800.00
	七十三、費	1,800.00	1,800.00
	七十四、費	1,800.00	1,800.00
	七十五、費	1,800.00	1,800.00
	七十六、費	1,800.00	1,800.00
	七十七、費	1,800.00	1,800.00
	七十八、費	1,800.00	1,800.00
	七十九、費	1,800.00	1,800.00
	八十、費	1,800.00	1,800.00
	八十一、費	1,800.00	1,800.00
	八十二、費	1,800.00	1,800.00
	八十三、費	1,800.00	1,800.00
	八十四、費	1,800.00	1,800.00
	八十五、費	1,800.00	1,800.00
	八十六、費	1,800.00	1,800.00
	八十七、費	1,800.00	1,800.00
	八十八、費	1,800.00	1,800.00
	八十九、費	1,800.00	1,800.00
	九十、費	1,800.00	1,800.00
	九十一、費	1,800.00	1,800.00
	九十二、費	1,800.00	1,800.00
	九十三、費	1,800.00	1,800.00
	九十四、費	1,800.00	1,800.00
	九十五、費	1,800.00	1,800.00
	九十六、費	1,800.00	1,800.00
	九十七、費	1,800.00	1,800.00
	九十八、費	1,800.00	1,800.00
	九十九、費	1,800.00	1,800.00
	一百、費	1,800.00	1,800.00



		(206)	(215)		
科	目	總算額	決算額	比	減
第一款	土木建築費	五,三〇〇,〇〇〇	五,三〇〇,〇〇〇		
一、	冷卻水取入設備費	九,四〇〇,〇〇〇	九,三〇〇,〇〇〇		
二、	汽機給水設備費	四,〇〇〇,〇〇〇	三,九〇〇,〇〇〇		
三、	發電所建設費	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇		
四、	煙道及煙突設備費	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇		
五、	貯炭場及貯炭設備費	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇		
六、	修理工場設備費	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇		
第二款	發電設備費	六,〇〇〇,〇〇〇	六,〇〇〇,〇〇〇		
一、	汽機購入費	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇		
二、	汽機類購入費	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇		
三、	鐵杭及電線	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇		
四、	雜費	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇		
五、	撥付工事費	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇		
第三款	總經費	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇		

歲	出	部	備
一、	運轉費	三六,〇〇〇,〇〇〇	石炭ノ需要多カリシ結果
二、	修繕費	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一、二、三四 修繕少カリシ結果
第五款	國債償還費	一〇,〇〇〇,〇〇〇	四、〇〇〇,〇〇〇
一、	國債償還元金	一〇,〇〇〇,〇〇〇	
二、	全利息	三,〇〇〇,〇〇〇	四、〇〇〇,〇〇〇
第六款	電力費	三六,〇〇〇,〇〇〇	一、五、三三三 豫算額ヲ要セザリシ結果
一、	電力費	三六,〇〇〇,〇〇〇	
第七款	繰入金	三六,〇〇〇,〇〇〇	二、五、七〇〇 豫算額ヲ要セザリシ結果
一、	一般會計繰入金	三六,〇〇〇,〇〇〇	
第八款	豫備費	三六,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇
合計		三六,〇〇〇,〇〇〇	

		(207)	(208)		
科	目	本年度	前年度	比	備
第一款	居留民團課金	一,九一〇,〇〇〇	一,八〇〇,〇〇〇		
一、	土地課金	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇		
二、	家屋課金	一,〇〇〇,〇〇〇	九〇〇,〇〇〇		
三、	取得課金	八,一〇〇,〇〇〇	八,一〇〇,〇〇〇		
四、	營業課金	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇		
第二款	雜種課金	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇		
一、	日本國稅	二,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇		
二、	支那國稅	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇		

歲	入	部	備	
一、	設計監督費	五,〇〇〇,〇〇〇	二、四、六〇〇	豫算額ヲ要セザリシ結果
二、	雜費	五,〇〇〇,〇〇〇	一、九、六〇〇	機械選定依頼者ニ贈品代等
第四款	年賦金償還	三,〇〇〇,〇〇〇	九、〇〇〇,〇〇〇	二、三、三三三 豫算額ヲ要セザリシ結果
一、	年賦金償還	三,〇〇〇,〇〇〇		
二、	利息	一,〇〇〇,〇〇〇	六、六六六	
合計		一〇,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	

昭和四年度居留民團歲入出豫算表	備	考
日本國稅	二〇〇,〇〇〇	一等十五名(月五弗)二等二十名(月三弗)三等三十名(月一弗)
支那國稅	一,〇〇〇,〇〇〇	二等五百五十名(月三弗)三等二百名(月一弗五十仙)
土地課金	三,〇〇〇,〇〇〇	中國人 七、〇〇〇 弗
家屋課金	一,〇〇〇,〇〇〇	外國人 三、〇〇〇 弗
取得課金	八,一〇〇,〇〇〇	中國人 七、〇〇〇 弗
營業課金	一,〇〇〇,〇〇〇	外國人 三、〇〇〇 弗
雜種課金	三,〇〇〇,〇〇〇	中國人 二、〇〇〇 弗
日本國稅	二,〇〇〇,〇〇〇	中國人 二、〇〇〇 弗
支那國稅	一,〇〇〇,〇〇〇	中國人 一、〇〇〇 弗







(218)		(217)	
九、旅費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
八、消耗品費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
七、圖書費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
六、教具費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
五、校具費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
四、修繕費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
三、宿舍料	1,000.00	1,000.00	1,000.00
二、手當	1,000.00	1,000.00	1,000.00
一、俸給	1,000.00	1,000.00	1,000.00
第六款 女學校費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
三、消防消耗品費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
二、消防器具費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
二、巡捕被服費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
三、巡捕備品費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
四、巡捕消耗品費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
五、修繕費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
六、巡捕宿舍料	1,000.00	1,000.00	1,000.00
七、巡捕雜費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
八、消防員俸給手當	1,000.00	1,000.00	1,000.00
九、消防被服費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
〇、修繕費	1,000.00	1,000.00	1,000.00

(220)		(219)	
四、消耗品費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
三、備品費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
二、宿舍料	1,000.00	1,000.00	1,000.00
一、俸給手當	1,000.00	1,000.00	1,000.00
第八款 幼稚園費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
六、雜費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
五、宿舍料	1,000.00	1,000.00	1,000.00
四、研究會費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
三、學園費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
二、新聞雜誌	1,000.00	1,000.00	1,000.00
一、保險料	1,000.00	1,000.00	1,000.00
九、通信費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
八、旅費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
七、消耗品費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
六、校具費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
五、教育費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
四、圖書費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
三、修繕費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
二、手當	1,000.00	1,000.00	1,000.00
一、俸給	1,000.00	1,000.00	1,000.00
第七款 小學校費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
三、雜費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
二、當直料	1,000.00	1,000.00	1,000.00
一、學園費	1,000.00	1,000.00	1,000.00
〇、通信費	1,000.00	1,000.00	1,000.00

(221)

五、修繕費	100.00	100.00	便所、砂、天棚、窓掛、運動具修繕
六、雜費	100.00	100.00	保險、通信、菓子、雜誌、茶等
第九款 圖書館費	5,500.00	5,500.00	圖書、新聞雜誌
一、圖書費	2,000.00	2,000.00	書棚、ガ1下箱、宿舍用具
二、備品費	1,000.00	1,000.00	ガ1下製本費等
三、圖書整理費	1,000.00	1,000.00	文房具、帳簿、諸用紙等
四、消耗品費	1,000.00	1,000.00	圖書、什器
五、保險料	1,500.00	1,500.00	書記一名、雇員一名
六、俸給手當	2,400.00	2,400.00	書記一名
七、宿舍料	2,000.00	2,000.00	通宿費等
八、雜費	500.00	500.00	書記二名、技手一名、雇員五名、備人一名各一ヶ年分給料及年末慰勞金等
第十款 調査費	3,600.00	3,600.00	書記二名技手一名
一、俸給手當	2,200.00	2,200.00	
二、宿舍料	1,400.00	1,400.00	

(222)

三、備品費	100.00	100.00	戸棚、卓子椅子等
四、消耗品費	4,000.00	4,000.00	カー1下調査票、式紙、文房具等
五、雜費	2,500.00	2,500.00	瑠璃札、木札、車代等
第十款 土木費	24,400.00	24,400.00	技師一名、技手四名、書記一名、雇員六名、各修給一ヶ年分年末慰勞金、旅費
一、俸給手當	13,700.00	13,700.00	技師一名、技手三名
二、宿舍料	2,800.00	2,800.00	ロー1機關手七名、同火夫六名、工夫四名、御通手二名、職工一名、御通手丁四名、各給料手當等
三、備人給	5,200.00	5,200.00	事務用品、雜品
四、消耗品費	4,000.00	4,000.00	水運車、鋤、角鐵、籠爪、自轉車、測量具、書架、家具等
五、器具費	2,100.00	2,100.00	碎石、砂、コ1ルター、セマシト少道修繕人夫馬車職工用水石炭雜品
六、修道費	1,600.00	1,600.00	
七、ウエ1ス運河組合費負擔	6,000.00	6,000.00	月平均五〇弗

(223)

八、柳筒所費	3,500.00	3,500.00	電力、保險修繕、電燈、消耗品等
九、修繕費	1,200.00	1,200.00	植樹、樹架、肥料、人夫等
一〇、被服費	5,000.00	5,000.00	倉庫、柳筒所宿舍小修繕
二、被服費	7,000.00	7,000.00	工夫、職工夏冬服、邦人監督夏服、同帽、雨衣等
三、下水道修繕費	1,000.00	1,000.00	甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸、十一ヶ年電燈料及電球取替等
三、街燈費	1,000.00	1,000.00	雜品、保險等
四、雜費	2,000.00	2,000.00	
第十款 水道費	10,000.00	10,000.00	雇員三名給料年末慰勞金
一、給料手當	2,200.00	2,200.00	工夫五名、水夫四名、使丁一名給料年末慰勞金
二、備人給	2,500.00	2,500.00	配水管及止水栓漏水修繕材料
三、修繕費	4,000.00	4,000.00	自轉車一台小道具等
四、器具費	1,000.00	1,000.00	
五、水代	4,300.00	4,300.00	二億四千萬元見當

(224)

六、被服費	3,500.00	3,500.00	工夫夏冬服、點檢員夏冬服外等
七、消耗品費	3,000.00	3,000.00	石炭電燈料、ワ1ス用紙電池糸玉等
八、宿直料	500.00	500.00	
九、雜費	1,000.00	1,000.00	三百個代
第十款 給水工事費	18,600.00	18,600.00	鉛管、止水栓、白目鐵、ガソリン、ポンプ、ヘ1スト等
一、量水器	5,000.00	5,000.00	鉛管、延工事及切替料等
二、給水用品	11,100.00	11,100.00	量水器修繕
三、作業費	1,000.00	1,000.00	
四、雜費	1,500.00	1,500.00	
第十一款 公園費	10,300.00	10,300.00	雇員一名、囑託員一名、臨時雇員一名、給料手當等
一、給料手當	1,500.00	1,500.00	花匠二名、備人四名、監視一名、同臨時二名、人夫等
二、備人給	1,100.00	1,100.00	藤、草花、種子、菊花、台木等
三、植樹費	1,100.00	1,100.00	
四、器具費	6,600.00	6,600.00	水桶、鐵錐類、工具等







(237)

七、印刷費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	帳簿、傳票、告知書、領收證、日報等
八、保險料	1,000.00	1,000.00	1,000.00	發電所、宿舍等修繕
九、被服費	5,000.00	5,000.00	5,000.00	發電所、變電所倉庫、宿舍等(發電機機ヲ含マス)
二、雜費	5,000.00	5,000.00	5,000.00	電工一九名一名一八弗、職工二五名一〇弗(見留ヲ含マス)地代、馬車賃、負傷手當、通信、廣告料等
第二款 補修材料費	11,000.00	11,000.00	11,000.00	耐火煉瓦、鐵管鐵材類、パツキン、ペンキ、光明丹、砂布、バルブギヤ等
一、發電費	8,000.00	8,000.00	8,000.00	電線、テーパー端子類、變壓器油、變壓器テーパー類等
二、配電費	5,000.00	5,000.00	5,000.00	電線、變壓器テーパー類等
〇、電線路費	5,000.00	5,000.00	5,000.00	〇、煉瓦新築
〇、變電所費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	〇、石炭庫其他
〇、內線費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	〇、配電設備費
〇、發電費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	一、電線路增設費
二、石炭費	7,000.00	7,000.00	7,000.00	二、積算電力計

(238)

二、給水費	2,000.00	2,000.00	2,000.00	百二十三萬五卷
三、給油費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	タービン油、機油、グリス等
四、雜費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	古布、糸屑、雜品等
第四款 電力購入費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	發電機修繕ノ際佛電燈會社ヨリ購入電力料
一、電力費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
第五款 繰入金	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
一、一般會計繰入金	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
第六款 豫備費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
一、豫備費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
〇、増設費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
〇、電線路費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
〇、變電所費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
〇、配電設備費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
〇、發電所費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
〇、運轉費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	

(239)

科 目	本年額度	前年額度	比 較	備 考
第一款 土木建築費	7,000.00	7,000.00	0.00	支那職工宿舍一棟四戸分事務所修繕ニ付新築
一、宿舍新築	7,000.00	7,000.00	0.00	換氣不充分ニ付取設
二、事務所新築	6,000.00	6,000.00	0.00	
三、發電所換氣裝置	3,000.00	3,000.00	0.00	
〇、變電所新築	1,000.00	1,000.00	0.00	
〇、煉瓦新築	1,000.00	1,000.00	0.00	
〇、石炭庫其他	1,000.00	1,000.00	0.00	
〇、配電設備費	1,000.00	1,000.00	0.00	
一、電線路增設費	1,000.00	1,000.00	0.00	ケイブル、トラフ埋鋼線、腕金、端子電線、其他雜品代
二、積算電力計	7,000.00	7,000.00	0.00	五〇〇個購入一五弗宛

(240)

第三款 年賦償還金	110,000.00	110,000.00	0.00	
一、年賦償還元金	27,000.00	27,000.00	0.00	
二、全 利 子	83,000.00	83,000.00	0.00	
第四款 電熱獎勵費	1,000.00	1,000.00	0.00	
一、電熱獎勵金	1,000.00	1,000.00	0.00	
〇、變電所設備費	1,000.00	1,000.00	0.00	
〇、電線路費	1,000.00	1,000.00	0.00	
〇、變電所費	1,000.00	1,000.00	0.00	
合 計	120,000.00	120,000.00	0.00	

一一、昭和四年度居留民團歲入出追加豫算書

一 銀四萬弗也

計銀四萬弗也

臨時部



(242)		(241)	
<p>昭和三十四年度居留民團歳入出追加豫算表</p> <p>第一科 前年度繰越金 一、繰越金 第六款 特別會計 資金繰入金 一、實業繰入金 計</p>		<p>昭和三十四年度居留民團歳入出追加豫算表</p> <p>第一科 前年度繰越金 一、繰越金 計</p>	
豫算年度	臨時部	豫算年度	臨時部
要	要	要	要

(244)		(243)	
<p>(一) 工事施行</p> <p>イ、築街歩道舗装工事 請負額 銀參千貳百也 入札ノ方法 指名競争入札 請負人 大野治太郎 工事契約期限 四月二十日着手六月八日竣工 工事ノ概要 在來ノ歩道面ヲ平均四寸深ニ鑿取リ厚五寸ノ石灰煉瓦層混凝土打チ勾配六十分ノ一ニセメントタイラヲ以テ舗装ス此ノ施工面積五百七坪一合延長六百四十五間 附帯追加工事 既設乙型雨水枳六十ヶ所ハ流入口閉塞シ且ツ鐵蓋盜難ニ罹ル虞アルヲ以テ前記工事ト同時ニ雨水枳ヲ改造シ甲型雨水枳ヲ取付ケケリ 竣工検査 五月二十日契約締結期限ヨリ十九日前ニ規定ノ検査ヲ了ス 本工事總經費 銀五千九百貳拾八參拾壹仙</p> <p>内訳 セメントタイラ二萬四千百拾枚 銀一千八百八拾五仙 甲型雨水枍六十個 銀四百八拾 追加工事費 銀五百拾貳六仙 請負附託金 銀參千貳百也 請負額 銀貳千七百四拾也</p>		<p>第五、工務部</p> <p>一、處理事項 一、私設水道敷設關ニ關スル件 一、道路使用關ニ關スル件</p> <p>第六款 團債 第八項 第十團債 第七三三〇〇 第七三三〇〇 第一相互生命保險會社借入團債金三十萬圓ニ對スル三分五厘 商月分利子爲替相場金百圓ニ付銀百三十萬圓ノ割年利七 第五款 家屋修費 第一項 家屋修費 計 七三三〇〇 山口衛隊軍倉庫及開口陸軍宿舎修費</p>	
豫算年度	臨時部	豫算年度	臨時部
要	要	要	要

(245)

入札ノ方法 指名競争入札  
請負人 星野順次郎

工事請負期限 四月二十二日着手六月二十日竣工

工事ノ概要 本工事ハ芙蓉街橋脚間三十四間春日明石街間百十八間五分ノ區間ハアングル混凝土ヲ以テ歩道及側溝ヲ築造シ芙蓉街石街間車道ヲマカダム式ニ築造スルモノニシテ芙蓉街日街間六十八間七分在來路面ハ深サ平均四寸ヲ鑿取リ春日明石街間六十二間ハ深サ平均二尺一寸掘取リ灰土一尺厚施工シ煉瓦小端二段敷通シテ碎石六寸敷込四寸仕上ヲナスモノトス

竣工検査 五月二十三日工事契約期限ヨリ約一ヶ月前規定ノ検査ヲ了ス

本工事區間ハ右完了後コルターヲ撤布ス

工事費總額 銀六千參百貳拾六拾貳仙也

請負 附 託 譯

甲型雨水吸込込柵十九個 銀貳千七百四拾弗  
乙型雨水吸込込柵十個 銀壹百貳拾九弗貳拾仙  
基礎用赤煉瓦十萬一千五百個 銀五百貳拾八弗拾仙  
碎石八十七方二五 銀貳千四百四拾參弗  
砂 五方 銀九十五弗  
コルター二十四樽 銀參百六弗貳拾四仙  
直營作業人夫 銀參拾壹弗八仙

(246)

ハ、宮島街歩道鋪裝工事

請負額 銀參千七百弗也

入札ノ方法 指名競争入札

請負人 萱崎 豊

工事契約期限 四月二十二日着手五月三十一日竣工

工事ノ概要 在來歩道面ヲ平均深四寸鑿取リ厚五寸ノ石灰煉瓦屑混凝土ヲ打テ勾配六十分ノ一ニセメントノイルヲ鋪裝スルモノトス此ノ施工面積五百八十四坪九合延長五百二十三間八分淺路街取合三十二坪三合ヲ含ム

附帶追加工事既設乙型雨水柵十四ヶ所ハ構造不完全ナルト榮街ニ於ケルト同様ナル理由ヲ以テ改造ス

尙本工事ニ伴ヒ宮島街吉野街須磨街交叉點ノカーブアングルノ改造ヲ行フ

竣工検査 五月三十一日

本工事費總計 銀六千壹百五拾仙也

請負 附 託 譯

セメントノイル貳萬八千九百枚 銀貳千壹百六拾七弗五拾仙  
甲型雨水柵十四個 銀九拾五弗貳拾仙  
追加工事費 銀壹百參拾七弗八拾仙  
請負 附 託 銀參千七百弗

ニ、花園街歩道鋪裝工事

(247)

工事實行經費 銀四千七拾七弗六拾五仙也

工事別 半 直 營

工事期限 五月二十三日着手六月十五日竣工

工事ノ概要 本工事ハ民間ノ都合ニヨリ土工作業ト左官作業トニ區分シ夫々設計書ニヨリ見積書ヲ生シ前者即チ掘方六十六方六四間掘方四六ニ面坪八石灰煉瓦屑混凝土八十三方三ノ作業ハ銀壹千參百九拾四弗ヲ以テ張盛築ニ後者ノイル張(セメントノイル及セメントハ局給)ハ銀五百拾八弗ヲ以テ水盛工廠ニ請負ハンメタリ其ノ施工方法ハ榮街ニ準ス此ノ施工延長六百三十六間三分

竣工検査 六月十五日完了

本工事經費

請負 附 託 譯

小野田セメント 一三〇袋 銀參百九拾壹弗  
セメントノイル二、四五〇枚 銀壹千六百八拾參弗七拾五仙  
純直營作業 銀九拾九弗拾仙  
土工請負附託 銀壹千參百九拾四弗  
左官請負附託 銀五百拾八弗  
合 計 銀四千七拾七弗六拾五仙

ホ、花園街補修工事

宮島街橋脚間百二十四間ハ大正十五年當地内争ノ爲交通杜絶シ材料購入困難ノ砌リ砕石ヲ以テ假修繕ヲナシ置キタル爲毎年冬季ニ於テ路面氷結龜裂破損ヲ生スル爲本年度經常部土木費ヲ以テ大修繕ヲ行フ

工事ノ概要 既設路面平均一尺鑿取リ赤基礎煉瓦小端一段碎石厚六寸持込ローラー輾壓コルター鋪裝任上ケトス

所要工費 銀參千貳百拾八弗九拾八仙也

請負 附 託 譯

土工人夫延七八人五分 銀貳百八拾九弗八拾九仙  
馬車延二〇台五分 銀貳百四拾壹弗  
碎石七九方 銀貳千貳百參拾參弗  
コルター一八樽 銀貳百四拾弗參拾九仙  
赤煉瓦二六、七五〇個 銀百參拾九弗拾仙  
北戴河砂四方五 銀七拾五弗六拾仙

ハ、秋山街道路改修工事

請負額 銀貳千六百五拾弗

入札ノ方法 指名競争入札

請負人 杉 本 留 吉

工事契約期限 四月十七日着手五月二十一日竣工

工事ノ概要 混凝土側石ニヨリ歩道ヲ新設シ雨水柵三十二箇所ヲ新設シ之カ連絡ハ内經六吋藥掛土管ヲ以テス此ノ延長三百拾間歩道新設延長貳百九拾四間貳分

(248)

工事實行經費 銀四千七拾七弗六拾五仙也

工事別 半 直 營

工事期限 五月二十三日着手六月十五日竣工

工事ノ概要 本工事ハ民間ノ都合ニヨリ土工作業ト左官作業トニ區分シ夫々設計書ニヨリ見積書ヲ生シ前者即チ掘方六十六方六四間掘方四六ニ面坪八石灰煉瓦屑混凝土八十三方三ノ作業ハ銀壹千參百九拾四弗ヲ以テ張盛築ニ後者ノイル張(セメントノイル及セメントハ局給)ハ銀五百拾八弗ヲ以テ水盛工廠ニ請負ハンメタリ其ノ施工方法ハ榮街ニ準ス此ノ施工延長六百三十六間三分

竣工検査 六月十五日完了

本工事經費

請負 附 託 譯

小野田セメント 一三〇袋 銀參百九拾壹弗  
セメントノイル二、四五〇枚 銀壹千六百八拾參弗七拾五仙  
純直營作業 銀九拾九弗拾仙  
土工請負附託 銀壹千參百九拾四弗  
左官請負附託 銀五百拾八弗  
合 計 銀四千七拾七弗六拾五仙

ホ、花園街補修工事

宮島街橋脚間百二十四間ハ大正十五年當地内争ノ爲交通杜絶シ材料購入困難ノ砌リ砕石ヲ以テ假修繕ヲナシ置キタル爲毎年冬季ニ於テ路面氷結龜裂破損ヲ生スル爲本年度經常部土木費ヲ以テ大修繕ヲ行フ

工事ノ概要 既設路面平均一尺鑿取リ赤基礎煉瓦小端一段碎石厚六寸持込ローラー輾壓コルター鋪裝任上ケトス

所要工費 銀參千貳百拾八弗九拾八仙也

請負 附 託 譯

土工人夫延七八人五分 銀貳百八拾九弗八拾九仙  
馬車延二〇台五分 銀貳百四拾壹弗  
碎石七九方 銀貳千貳百參拾參弗  
コルター一八樽 銀貳百四拾弗參拾九仙  
赤煉瓦二六、七五〇個 銀百參拾九弗拾仙  
北戴河砂四方五 銀七拾五弗六拾仙

ハ、秋山街道路改修工事

請負額 銀貳千六百五拾弗

入札ノ方法 指名競争入札

請負人 杉 本 留 吉

工事契約期限 四月十七日着手五月二十一日竣工

工事ノ概要 混凝土側石ニヨリ歩道ヲ新設シ雨水柵三十二箇所ヲ新設シ之カ連絡ハ内經六吋藥掛土管ヲ以テス此ノ延長三百拾間歩道新設延長貳百九拾四間貳分

二、秋山街芙蓉住吉間道路修築工事  
竣工検査 五月七日契約期限より二週間前ニ検査ヲ了ス  
請負額 銀六千四百弗

入札ノ方法 指名競争入札  
工事請負人 松本留吉

工事契約期限 四月二十八日着手六月廿六日竣工  
工事ノ概要 本工事ハ芙蓉住吉間兩個ニアングル混泥土ヲ以テ歩道ヲ築造シ雨水枳六十七ヶ所ヲ新設此ノ部分ニ於テハ三分一ノ勾配ヲ以テ内經六吋藥掛土管ヲ連絡シ下水入孔ニ接続ス  
工事延長 六百三十三間七分

車道中芙蓉明石間延長百九拾四間三分ハ深サ平均五寸埋鑿シ碎石ノ層分ヲナシ土砂平均七寸通盛土シ全線ニ亘リ厚四寸通碎石ヲ敷込ミローラー輾壓仕上ヲ行フ本工事ニ伴ヒ春日街及明石街ノ取合ヲ圓滑ナラシムル爲メ左ノ附帯工事ヲ行フ

春日街延長秋山街ヨリ百三十三尺中二十尺此ノ坪數七十五坪六合  
秋山街歩道新設ニ伴ヒ佛界側トノ取合ヲ圓滑ナラシムル爲メ秋山街ニ於テ一尺ノ高上ケヲナシ百三十三尺ニ至リテ取付タルモノニシテ平均厚三寸長サ八十四尺ハ煉瓦層ヲ敷キ全線ニ亘リ碎石六寸厚敷均シ四寸仕上ヲナシ之レト共ニ線石モ路面ニ做ヒ据替ヲナスモノトス  
明石街延長秋山街ヨリ百三十三尺中二十尺此ノ坪數百坪  
秋山街歩道新設ニ伴ヒ佛界側トノ取合ヲ圓滑ナラシムル爲メ秋山街ニ於テ五寸高上ケヲナシ百三十三尺ニ至リテ取付タルモノトス在來道路打廻シノ上厚平均三寸五分ノ碎石ヲ持チ込ミ二寸五分ニ

(249)

(250)

輾壓シ線石モ之ニ做ヒ据替仕上ヲ行フモノトス  
竣工検査 六月二十四日

本工事完了直後行政委員會ノ希望ニヨリ秋山街全線ノコイルター鋪裝ヲ行フ  
第一第二項ニ要シタル工費 銀壹萬六千七百七拾壹圓九拾九仙也

甲型雨水吸込枳九十九個 銀六百七拾參圓貳拾仙  
路面鐵蓋 五個 銀八拾九圓

北葎河砂 三十方 銀五百七拾圓

碎石 百六十方 銀四千四百八拾圓

直營作業人夫 銀百三十三圓拾五仙

コイルター 九十二樽 銀一千七百七拾六圓六拾四仙

請負附托合計 銀九千五百拾圓

ト、松島街歩道鋪裝工事  
請負額 銀壹千參百八拾圓  
入札ノ方法 指名競争入札  
請負人 金野千太郎  
工事契約期限 六月三日着手七月二日竣工  
工事ノ概要 本工事ハ山口壽街間片側壽街間兩側此ノ施工面坪數百拾五坪參合延長百八拾七間ヲ鋪裝スルモノニシテ雨水枳ノ改造及土工左官作業ハ榮街ニ準ス

竣工検査 六月二十六日  
本工事費總計銀貳千壹百九拾參圓九仙也

請負額 銀壹千參百八拾圓  
セメントノ九千五百五十枚 銀七百拾六圓貳拾五仙

甲型雨水吸込枳 十三個 銀八拾八圓拾仙也

直營歩道切取手間 銀八拾四圓四仙

チ、吉野街道路新築工事  
請負額 銀壹千九百圓

入札ノ方法 指名競争入札  
請負人 山越金太郎

工事契約期限 五月二十二日着手七月五日竣工  
工事ノ概要 在來建物ニ沿ヒ煉瓦層「セメント混泥土」ヲ以テコーピングヲ築造シ雨水吸込枳十八所ヲ新設シ伏見福島街間ノ在來雨水枳二十二ヶ所ノ内十一ヶ所ハ精替改造殘餘ハ上部ノミ改造ヲ行ヒ車道ハ深サ平均八寸鑄キ取リ煉瓦小端一段積ミノ上碎石六寸敷均シ四寸ニ輾壓コイルター鋪裝仕上ケトス此ノ延長百七拾七間六百九十九坪五合  
竣工検査 七月一日  
本道路工事費 總計銀七千貳百七拾參圓六拾仙也

(251)

(252)

請負附托 銀壹千九百圓  
基礎煉瓦十二萬六千三百個 銀六百五拾五圓貳拾仙

碎石百參拾八方 銀參千九百拾八圓

路面鐵蓋四個 銀七拾壹圓貳拾仙

乙型雨水吸込枳四十個 銀百貳拾圓

コイルター三拾樽 銀四百壹圓九拾仙

北葎河砂九方 銀壹百七拾壹圓

直營作業人夫 銀參拾六圓參拾仙

請負額 銀貳千八百七拾圓也

入札ノ方法 指名競争入札  
請負人 大野治太郎

工事契約期限 六月十二日着手七月二十六日竣工  
工事ノ概要 本工事ハ建物ニ沿ヒ煉瓦層セメント混泥土ヲ以テコーピングヲ築造シ乙型雨水枳ノ新設及改造ヲ行フ  
路面秋山宮島街間ハ所定ノ深サニ鑄取リ煉瓦小端一段碎石仕上四寸コイルター鋪裝仕上トス  
宮島伏見街間ハ令邊煉瓦ノ殘額ヲ以テ古碎石ヲ敷込ミ前同様ノ仕上ヲ行フ  
竣工検査 本工事ハ着手以來數次ノ降雨ニ遭遇シ休止ノ日多カリシモ請負人ハ勿論現場監督者ノ指導計畫宣敷ヲ得契約期限內ニ規定ノ検査ヲ完了スルヲ得タリ

(254)

(253)

<p>本工事總經費 銀壹萬七百五拾貳弗九仙也</p> <p>內 譯</p> <p>碎石二百四十五 銀五千七百六拾八弗七拾仙</p> <p>コイルター四十樫 銀五百參拾貳仙</p> <p>基礎用赤煉瓦十四萬六千七百九拾枚 銀七百六拾參弗參拾仙</p> <p>鐵蓋一式 銀二百四拾壹弗八拾仙</p> <p>北戴河砂十方 銀百九拾弗</p> <p>直營作業人夫 銀壹百五拾六弗參拾七仙</p> <p>請負附托及官島伏見間路面切取殘土運搬銀參千壹百壹拾九拾仙</p> <p>請負額 x、新壽街雨水柵改造工事 銀五百參拾貳弗九拾仙</p> <p>入札ノ方法 指名競争入札</p> <p>請負人 金野千太郎</p> <p>工事期限 七月二十四日着手八月九日竣工</p> <p>本工事ハ壽街ノ例ニ準シ福島大和街間ノ既設乙型雨水柵二十四ヶ所ヲ甲型ニ改造シ歩道煉瓦鋪裝ヲ行フ準備作業トス</p> <p>年度豫算ニ於テ本區間ハ煉瓦五鋪裝豫定ノ處壽街トノ關係ト豫算緊縮ノ爲該工事中止シ後年度ニ於テセメントタイルノ鋪裝ヲナスコト、セリ</p> <p>右準備作業ニ要セン總經費ハ雨水柵代ヲ含ミ銀六百八拾八弗貳拾仙トス</p>	<p>ル、秋山街歩道鋪裝及附帶工事</p> <p>一、本工事ハ交通頻繁ナル街路ナルト時恰モ雨期ニ入レルヲ以テ期限ヲ制定スルノ不利ナルヲ認メ直營ヲ以テ施工シタリ</p> <p>二、附帶工事タル雨水柵ノ改造及排水主管敷設替ハ指名競争入札ヲ以テ請負ニ附シ金野千太郎落札六月二十四日着手七月十七日竣工此ノ請負額銀六百八拾九弗</p> <p>工事ノ概要乙型雨水柵ヲ甲型ニ改造五十二ヶ所内經六吋藥掛土管六十六間ヲ新ニ敷設ス本工事申地下埋設ノ電氣ケーブル線ノ爲ニヶ所増設不能トナリ結局五十五ヶ所ニ變更シ銀六百七拾弗ヲ差引仕拂タリ</p> <p>三、雨水柵改造中秋山蓬萊閣側延長八拾四間ハ既設管ヲ其儘利用セントセシ處管内全ク泥土ヲ以テ閉塞シ通水不能ニ陥リ居リシ爲銀百五拾五弗四拾仙ヲ投シ之カ敷設替ヲ行フ</p> <p>前二項ノ附帶工事ノ進捗ニ伴ヒ歩道タイル張ハ七月十一日着手秋山街ヨリ順次施工ス</p> <p>四、秋山街山口壽間片側歩道鋪裝工事</p> <p>工事施工別 直 營</p> <p>施工面積 四拾六面坪三九</p> <p>工事期限 七月十一日着手七月十九日竣工</p> <p>施工方法 榮街鋪裝ニ準ス</p> <p>經費 銀四百拾五弗拾壹仙當リ八弗九拾五仙</p> <p>內 譯 材料</p> <p>石灰五千六百斤、煉瓦八方三五、小割手間、セメントタイル二千三百五拾枚、北戴河砂一方</p>
---	---

(256)

(255)

<p>西河砂四方五、小野田セメント、三五袋</p> <p>本工事ニ使用ノ煉瓦厨ハ埋置殘土ヨリ集積シタルモノヲ時價ニ見積計上ス</p> <p>五、壽街歩道鋪裝工事</p> <p>工事施工別 直 營</p> <p>施工面積 秋山福島街間三百八十一面坪六五</p> <p>工事期限 七月十三日着手八月十日竣工</p> <p>工事方法 榮街ニ準ス</p> <p>所要經費 銀參千五百貳拾貳弗七拾貳仙當リ銀九弗貳拾參仙</p> <p>內 譯 材料</p> <p>石灰 二四、四〇〇斤 煉瓦厨 六八方七</p> <p>北戴河砂 一四、四〇〇斤 西河砂 三三方六六六</p> <p>本工事ニ使用ノ煉瓦厨ハ殘土中ヨリ集積及壽街町内會ヨリ既設煉瓦厨ノ古品ヲ無償讓受ケタルモノヲ時價ニ見積計上ス</p> <p>本工事出來上リ總額銀四千六百七拾參弗貳拾貳仙也</p> <p>直營工費 銀參千五百貳拾貳弗七拾貳仙</p> <p>局給雨水柵五十個 銀參百貳拾五弗</p> <p>請負附托 銀八百貳拾五弗四拾仙</p> <p>請負額 銀壹千四百五拾貳仙</p>	<p>入札ノ方法 指名</p> <p>請負人 竹村由登</p> <p>工事契約期限 九月十五日着手十月十九日竣工</p> <p>工事ノ概要 桃山福島街間道路延長百三十五間九分側溝延長二百五十五間ノ區間ニ碎石混凝土ヲ以テ側溝ヲ築造シ歩道出來上リハ欄斷均配六十分ノ一車道ハ所定ノ深サニ鋤取り三十分ノ一ニ整形シ歩道道共石炭發平均一寸通敷均スモノトス</p> <p>竣工検査 十月十八日</p> <p>工費總計 銀壹千七百九拾七拾仙</p> <p>請負附托 銀壹千四百五拾貳仙</p> <p>甲型雨水柵 二九 路面鐵蓋 四 銀貳百五拾九弗七拾仙</p> <p>ワ、福島街歩道鋪裝工事</p> <p>本工事ハ施工區間内商社出入口多ク且ツ交通頻繁ナル場所ナルヲ以テ純直營ヲ以テ施工スルニ決シ八月二十一日山口街ヨリ着手シ最初ノ計畫ハ明石街迄ノ間八百八十二坪五合一勺ヲ鋪裝スル豫定ナリシ所作業中福島街五番地ノ貸下問題起リ家屋建築ノ爲一旦鋪裝セシ歩道ヲ破損セラル、ノ慮レテ此ノ區間三十六坪八合三勺ノ施工ヲ中止シ豫算範圍内ヲ以テ更ニ明石街ヨリ本願寺入口迄延長此ノ面積百四十坪ヲ追加鋪裝シ十月二十二日ヲ以テ豫定工事中止シ了ス</p> <p>芙蓉春日街間共立醫院新築箇所及清水洋行貸家新築箇所ハ工事未了ノ爲年内ノ鋪裝ヲ中止シ昭和五年六月末日迄ニハ鋪裝スル目的ヲ以テ材料ヲ貯蓄ヘ之カ手間代トシテ銀壹百五拾弗ヲ保留シ置ケリ依テ昭和四年末日迄ニ施工ノ面積ハ九百三十九坪六合八勺ナリ</p>
--	---

(257)

本工事舗装方法ハ榮街ニ準ス  
本工事總經費銀八千四百四拾九拾六仙也其當八弗參拾七仙

内 譯

舗装人夫賃 銀一千四百四拾九拾九仙  
雜費 銀六拾九拾五仙  
石灰五萬斤 銀貳百六拾九  
煉瓦層百六十六方一五 銀六百拾五五五拾壹仙  
セメントタイル四萬七千七百六十枚 銀參千五百八拾貳仙  
北葺河砂三十一方 銀五百貳拾九拾五仙  
西河砂六十九方三 銀八百六拾九拾五仙  
小野田セメント五百三十八袋 銀八百六拾九拾五仙  
附帶工事雨水吸込機取替及歩道縁石取替及材料手間一式銀五百七拾九拾四拾六仙  
本舗装工事ニ必要ノ煉瓦層ハ無償受入品ヲ時價ニ換算計上ス  
カ、香取街及松島街道路修築工事  
請負額 銀貳千六百九拾九仙也  
入札ノ方法 一般公入札  
請負人 大野 治 太郎  
工事契約期限 九月九日着手十月二十九日竣工  
工事ノ概要

(258)

香取街宮島邊築街間道路延長百六十二間平均三間一分此ノ面積五百二坪ニ合本工事ハ在來建物ニ沿ヒ八寸ノ「コーピング」ヲ築造シシ型雨水吸込機ヲ設置路面ハ煉瓦小端一段或ハ碎石六十敷込  
イライ観壓コイルター舗装仕上トス  
松島街淡路住吉街間歩道新設延長百九十間歩道ハアングル型側溝ヲ以テ築造シ甲型雨水吸込機二十ニケ所新設ノ上車道ハ平均約五寸ノ盛土ヲナシ石炭灰一寸通撒布スルモノトス尙明石淡路間延長百五十二間七百七間坪ハ煉瓦層ノ個所迄掘起シ碎石層分ノ上厚六寸ノ碎石ヲ四寸ニ観壓コイルター舗装仕上ヲ行フ竣工検査十月三十日  
香取街築造總經費銀五千貳拾九拾四仙

内 譯

請負 附托 銀壹千四百五拾九  
雨水樹増設及基礎軟弱ノ爲追加施工 銀參百七拾九拾參拾五仙  
コイルター十六枚 銀貳百拾參拾六拾八仙  
北葺河砂四方 銀七拾壹拾貳拾九  
路面鐵蓋三乙雨水樹三六 銀百四拾參拾六拾九仙  
赤煉瓦拾二萬四千六十個 銀五百貳拾九拾九拾九仙  
碎石百二十八方六〇六 銀貳千參百貳拾貳拾六拾六仙  
直營作業費 銀拾四拾參拾六拾六仙  
松島街銀五千參百二拾九拾五仙也  
請負 附托 銀壹千貳百四拾九

(259)

歩道築造ノ爲運動場排水設備追加工事銀貳拾五拾六拾五仙  
路面鐵蓋五甲型雨水樹二三 銀貳百參拾八拾五拾九仙  
碎石百五十五方一 銀三千五百拾一拾六拾九仙  
コイルター三十一枚 銀四百拾七拾四拾四仙  
北葺河砂八方五 銀百五十一拾參拾九仙  
直營作業費 銀七十七拾九拾六仙  
ヨ、關帝廟胡同下水噴渠築造工事  
請負額 銀壹千四百參拾九仙也  
入札ノ方法 一般公入札  
請負人 貞 森 利 一  
工事契約 期限七月六日着手八月九日竣工ノ事ニ契約締結セシ處工事間數回ノ降雨及其他ノ事由ニヨリ工事ヲ妨ケラレ止ムラ得ス八月二十九日迄無償工事ノ延期ヲ許可セシ處尙九月六日迄工事ヲ週延セシメタルニヨリ規則第十八條ニヨリ違約金ヲ徴收ス  
工事ノ概要 設計圖面ニ準據シ局給ノ二十時混泥土管ヲ延長九十七間四分貳厘埋設シ人孔及側溝雨水樹ヲ築造路面ハ打起シ施石篩分ケ整形ノ上敷均ス  
右工事ニ伴ヒ共用賣水場ノ改築ヲ附帶工事トシテ施工シテ竣工検査九月九日  
本工事費總計銀壹千九百八拾九拾九拾四仙

内 譯

二十時混泥土管一九〇本 銀四百參拾七仙

(260)

人孔縁石舊石材加工 銀貳拾參拾貳拾四仙  
基礎混泥土用煉瓦層二十八方四 銀九拾九拾四拾四仙

タ、旭街電車軌道舗装工事 銀九拾九拾四拾四仙

昨三年施工ノ電車軌道舗装ノ殘部五百三十間餘ハ四月九日宮島街ヨリ秋山街ニ向ツテ前年報告セシガ如キ工法ニヨリ電車會社ニ於テ施工當民間ハ該工事ノ進行ニ伴ヒ車道ノ改修路面切取り観壓コイルター舗装ヲ行ヒ第一段ハ七月九日完了第二段ハ八月十日ヨリ着手電車會社ノ工事ハ十一月十一日ヲ以テ完了道路工事ハ十一月三十日ヲ以テ完了ス本工事ニ要セシ工費及材料等左ノ如シ  
工事費銀參萬貳千四百六拾六拾五拾壹仙

内 基礎ニ要シタルモノ 銀壹萬五千六百五拾壹拾九拾四仙  
路面舗装ニ要シタルモノ 銀壹萬六千七百六拾四拾五拾七仙  
但シ基礎ハ總幅四、五メートル内三、三メートルヲ民間負擔トシ路面舗装ハ全部民間負擔トス

施工長 五百三十三間二分  
昨年施工シタル百六十五間ヲ合セ六百九十八間二分ニシテ尙來年度ニ於テ三十間五分施工ヲ必要トス  
レ、住吉街一部車道基礎築造工事  
請負額 銀壹千九百四拾九仙也  
入札ノ方法 指名競争入札  
請負人 渡邊 竹 治



(266)

(265)

<p>七、碎石補充補修工事 前述ノ花園街及天津神社前ノ補修工事以外ニ本年度施工區域左ノ如シ イ、芙蓉街福島日支境界間 碎石二万三千 ロ、福島街芙蓉石山街間 碎石二万五千 ハ、大和街全線 碎石二万五千 ニ、明石街伏見宮島街間 碎石二万 ホ、淡路街軍病院前 碎石二万 ヘ、橋立街全線 碎石二万四千 ト、宮島街芙蓉春日街間 碎石二万四千 チ、ソリデット道路舗装補修工事 ソリデット道路舗装八千六百五平方尺五八ニシテ所要材料ソリデットセメント二百七樽花崗石十六万八〇〇今之カ得別ヲ示セハ左ノ如シ 新壽街 一、五二八平方尺八九 福島街 一、八〇〇平方尺一八 山口街 九七八平方尺五九 秋山街 四六七平方尺六二 宮島街 一一二平方尺六 九、コルター舗装補修 既成コルター舗装道路ハ昭和三年度末ニ於テ費萬四千七百三十六坪四昭和四年年度築造ノモノ六千八百六十坪ニシテ新規築造後更ニ一回既成道路ニ對シテハ一回乃至二回ノコルター舗装ヲ行フ 使用コルター五百二十三樽ハ一般補修ニ百三十六樽半ハ新規築造ニ使用ス 使用砂百八十五方八十一切ハコルター道補修ニ使用ス 10、橋梁修繕工事 1、伏見橋延長八十五尺 高三尺五寸 2、松島橋延長八十八尺 高三尺五寸 既設煉瓦造他破損被敷ニヨリ木造ニ改修シ見エ掛リ錆色ペンキ二回塗上トス本工事ハ築造ニ施工セシ奥口米蔵ヨリ見積書ヲ徴シ銀參百九拾八弗ニテ施工十月二十五日着手十一月二十日竣工セリ 二、宮島街天津神社前車道改修工事 宮島街ハ正規ノ基礎工事ヲ施サズ車道ノ築造ヲナシアル爲メ冬季ニ於テ地下水滲シ解氷期ニ至リコルター舗装面ニ龜裂ヲ生シ人車ノ交通ニヨリテ路面破損セラルテ昭和三年度土木費ノ殘額ヲ以テ三月四日着手改修ヲ行フ此ノ區間幅二十尺延長九十九尺ノ間ニ灰土一尺五寸ヲ打ち煉瓦小端二段碎石敷込コルター舗装仕上トシ三月二十五日竣工ス 工事總經費 銀參百六拾參弗ニシテ其ノ内譯次ノ如シ 石灰九千斤 銀五拾五弗八拾仙 煉瓦 一一、二〇〇個 銀百拾壹弗 人夫馬車賃 銀百四拾貳弗四拾五仙 コルター及砂 銀五拾參弗七拾五仙 碎石ハ掘鑿セシモノヲ使用セシ爲計七セス</p>	<p>七、碎石補充補修工事 前述ノ花園街及天津神社前ノ補修工事以外ニ本年度施工區域左ノ如シ イ、芙蓉街福島日支境界間 碎石二万三千 ロ、福島街芙蓉石山街間 碎石二万五千 ハ、大和街全線 碎石二万五千 ニ、明石街伏見宮島街間 碎石二万 ホ、淡路街軍病院前 碎石二万 ヘ、橋立街全線 碎石二万四千 ト、宮島街芙蓉春日街間 碎石二万四千 チ、ソリデット道路舗装補修工事 ソリデット道路舗装八千六百五平方尺五八ニシテ所要材料ソリデットセメント二百七樽花崗石十六万八〇〇今之カ得別ヲ示セハ左ノ如シ 新壽街 一、五二八平方尺八九 福島街 一、八〇〇平方尺一八 山口街 九七八平方尺五九 秋山街 四六七平方尺六二 宮島街 一一二平方尺六 九、コルター舗装補修 既成コルター舗装道路ハ昭和三年度末ニ於テ費萬四千七百三十六坪四昭和四年年度築造ノモノ六千八百六十坪ニシテ新規築造後更ニ一回既成道路ニ對シテハ一回乃至二回ノコルター舗装ヲ行フ 使用コルター五百二十三樽ハ一般補修ニ百三十六樽半ハ新規築造ニ使用ス 使用砂百八十五方八十一切ハコルター道補修ニ使用ス 10、橋梁修繕工事 1、伏見橋延長八十五尺 高三尺五寸 2、松島橋延長八十八尺 高三尺五寸 既設煉瓦造他破損被敷ニヨリ木造ニ改修シ見エ掛リ錆色ペンキ二回塗上トス本工事ハ築造ニ施工セシ奥口米蔵ヨリ見積書ヲ徴シ銀參百九拾八弗ニテ施工十月二十五日着手十一月二十日竣工セリ 二、宮島街天津神社前車道改修工事 宮島街ハ正規ノ基礎工事ヲ施サズ車道ノ築造ヲナシアル爲メ冬季ニ於テ地下水滲シ解氷期ニ至リコルター舗装面ニ龜裂ヲ生シ人車ノ交通ニヨリテ路面破損セラルテ昭和三年度土木費ノ殘額ヲ以テ三月四日着手改修ヲ行フ此ノ區間幅二十尺延長九十九尺ノ間ニ灰土一尺五寸ヲ打ち煉瓦小端二段碎石敷込コルター舗装仕上トシ三月二十五日竣工ス 工事總經費 銀參百六拾參弗ニシテ其ノ内譯次ノ如シ 石灰九千斤 銀五拾五弗八拾仙 煉瓦 一一、二〇〇個 銀百拾壹弗 人夫馬車賃 銀百四拾貳弗四拾五仙 コルター及砂 銀五拾參弗七拾五仙 碎石ハ掘鑿セシモノヲ使用セシ爲計七セス</p>
---	---

(268)

(267)

<p>前記枯死樹ノ状況ヲ觀察スルニ概ネ兒童ノ齡ニ供セラレテ折リ又ハ小刀ヲ以テ樹皮ヲ剝キ自轉車等ヲ數次乘セ掛ケ遂ニ死ニ至ラシメタルモノ多ク將來此ノ方面ニ對シテ警戒ヲ行フ必要アリ尙本年度購入ノ樹木枯死數ニ對シテハ前納入者ニ補償スル様催告シ置ケリ 昭和四年末各街々樹數左ノ如シ</p> <table border="1"> <tr> <td>山口街</td><td>九一</td><td>旭街</td><td>二二四</td><td>榮街</td><td>一一二</td></tr> <tr> <td>花園街</td><td>一一一</td><td>春日街</td><td>五九</td><td>芙蓉街</td><td>一一八</td></tr> <tr> <td>明石街</td><td>八〇</td><td>須磨街</td><td>一一三</td><td>淡路街</td><td>一一一</td></tr> <tr> <td>秋山街</td><td>二三</td><td>松島街</td><td>一九〇</td><td>宮島街</td><td>二二五</td></tr> <tr> <td>伏見街</td><td>八三</td><td>桃山街</td><td>五一</td><td>福島街</td><td>二九三</td></tr> <tr> <td>橋立街</td><td>三三</td><td>合計</td><td>二千二十四本</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>備考 皮ヲ剝キタル爲枯レタルモノ 八本 風ノ爲吹折レタルモノ 四本 建築ノ爲枯死セシメタルモノ 三六本 苗圃樹ニ就テ ロ、苗圃樹ニ就テ 街樹ノ部ニ於テ述ヘタル如ク移植樹ノ缺乏ニ際シテ苗圃樹ヲ購入育成スルニ決シテ花アカシヤ一千本一平均銀拾六仙ニテ街樹同様ノ保証ヲ附シ玉芳花莊ヨリ購入療病院裏ニ移植セシ處枯レタルモノ一本モナク猛烈ナル勢ヲ以テ繁茂シツ、アリ本年末苗圃ノ状況左ノ如シ</p>	山口街	九一	旭街	二二四	榮街	一一二	花園街	一一一	春日街	五九	芙蓉街	一一八	明石街	八〇	須磨街	一一三	淡路街	一一一	秋山街	二三	松島街	一九〇	宮島街	二二五	伏見街	八三	桃山街	五一	福島街	二九三	橋立街	三三	合計	二千二十四本			<p>(三) 街樹</p> <p>租界各街路樹ハ年ト共ニ繁茂シ樹其ノ成果ヲ認メ得ルニ至リタルモ住民ノ樹木ニ對スル愛護心乏ク故意ニ枯死スルニ至ラシムルノ現狀ヲ認ムルハ誠ニ遺憾トスル所ナリ民國ハ毎年十二月ノ候ヨリ第一回ノ剪枝ヲ行ヒ更ニ七月ノ候ニ於テ第二回ノ剪定ヲナシ夏期ノ灌水冬季ノ土培ヒニ専心盡シ保育ニ努メツ、アリ本年新植樹ハ昨春苗圃ノ移動ニ伴ヒ樹木ノ缺乏ヲ來シタルヲ以テ新年度ニ於テ樹木注文ノ不利ナルハ言ヲ俟サル所ニテ一月中ニ目通四寸高サ六尺以上ノ植木九百本ヲ一ヶ月間ノ保証附ニテ購入スルニ決シ見積合セテ結果玉芳花莊ヨリ一本平均銀壹弗ニテ紅花樹四百五十二本花アカシヤ四百四十八本ノ購入ヲ約シ三月中旬ヨリ檢收須磨街外九街ニ新植シ尙榮街外三街ニ補植ス其ノ成績左ノ如シ</p> <table border="1"> <tr> <th>街名</th><th>紅花樹</th><th>花アカシヤ</th><th>死現存數</th><th>街名</th><th>紅花樹</th><th>花アカシヤ</th><th>死現存數</th></tr> <tr> <td>伏見街</td><td>六一</td><td>一〇六</td><td>一〇六</td><td>計</td><td>四五二</td><td>四四八</td><td>一八四</td></tr> <tr> <td>宮島街</td><td>二五</td><td>一〇六</td><td>一〇六</td><td>宮島</td><td>九六</td><td>七</td><td>七</td></tr> <tr> <td>松島街</td><td>二五</td><td>一〇六</td><td>一〇六</td><td>旭街</td><td>三三</td><td>一五</td><td>一五</td></tr> <tr> <td>明石街</td><td>四〇</td><td>二〇</td><td>二〇</td><td>榮街</td><td>三三</td><td>二六</td><td>二六</td></tr> <tr> <td>須磨街</td><td>一七一</td><td>一〇</td><td>一〇</td><td>淡路街</td><td>一一三</td><td>二〇</td><td>二〇</td></tr> <tr> <td>花園街</td><td>七七</td><td>二〇</td><td>二〇</td><td>芙蓉街</td><td>五七</td><td>三</td><td>三</td></tr> <tr> <td>秋山街</td><td>二五</td><td>二〇</td><td>二〇</td><td>桃山街</td><td>三三</td><td>二六</td><td>二六</td></tr> <tr> <td>伏見街</td><td>六二</td><td>一〇六</td><td>一〇六</td><td>福島街</td><td>九六</td><td>三</td><td>三</td></tr> <tr> <td>以上ハ玉芳花莊ヨリノ購入品ニシテ此ノ外民間苗圃ヨリ移植ノ大アカシヤ百六十八本アリ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	街名	紅花樹	花アカシヤ	死現存數	街名	紅花樹	花アカシヤ	死現存數	伏見街	六一	一〇六	一〇六	計	四五二	四四八	一八四	宮島街	二五	一〇六	一〇六	宮島	九六	七	七	松島街	二五	一〇六	一〇六	旭街	三三	一五	一五	明石街	四〇	二〇	二〇	榮街	三三	二六	二六	須磨街	一七一	一〇	一〇	淡路街	一一三	二〇	二〇	花園街	七七	二〇	二〇	芙蓉街	五七	三	三	秋山街	二五	二〇	二〇	桃山街	三三	二六	二六	伏見街	六二	一〇六	一〇六	福島街	九六	三	三	以上ハ玉芳花莊ヨリノ購入品ニシテ此ノ外民間苗圃ヨリ移植ノ大アカシヤ百六十八本アリ							
山口街	九一	旭街	二二四	榮街	一一二																																																																																																																
花園街	一一一	春日街	五九	芙蓉街	一一八																																																																																																																
明石街	八〇	須磨街	一一三	淡路街	一一一																																																																																																																
秋山街	二三	松島街	一九〇	宮島街	二二五																																																																																																																
伏見街	八三	桃山街	五一	福島街	二九三																																																																																																																
橋立街	三三	合計	二千二十四本																																																																																																																		
街名	紅花樹	花アカシヤ	死現存數	街名	紅花樹	花アカシヤ	死現存數																																																																																																														
伏見街	六一	一〇六	一〇六	計	四五二	四四八	一八四																																																																																																														
宮島街	二五	一〇六	一〇六	宮島	九六	七	七																																																																																																														
松島街	二五	一〇六	一〇六	旭街	三三	一五	一五																																																																																																														
明石街	四〇	二〇	二〇	榮街	三三	二六	二六																																																																																																														
須磨街	一七一	一〇	一〇	淡路街	一一三	二〇	二〇																																																																																																														
花園街	七七	二〇	二〇	芙蓉街	五七	三	三																																																																																																														
秋山街	二五	二〇	二〇	桃山街	三三	二六	二六																																																																																																														
伏見街	六二	一〇六	一〇六	福島街	九六	三	三																																																																																																														
以上ハ玉芳花莊ヨリノ購入品ニシテ此ノ外民間苗圃ヨリ移植ノ大アカシヤ百六十八本アリ																																																																																																																					





(273) 以テ入場入口ニ於テ恒例ニヨリ茶菓及入浴者心得書ノ分配ヲ受ケ場内ニテ松本理事及星野校長ヨリ保健ニ關スル注意及入浴者ノ嚴守スヘキ事項ヲ懇切ニ説キ午後二時五分非井水井兩氏ヨリ泳キニ就テノ型及方法ヲ詳細ニ説明アリテ後男女二組ニ區分シ先ツ三分間交代ニテ入泳セシム爾後毎日色トリドリノ水泳服ニ身ニ裝ヒシ兒童ハ喜々トシテ公園ノ一隅ニアル水ヲ友トシ學ヒテ餘暇是樂ク保健ニ努ム開場當日ノ入浴者二百七十八名本年ヨリノプール使用水ハ皆井水ヲ以テシ開場期間内ニ硫酸銅六磅ヲ投シテ消毒ヲ防ケリ七月一日夜半來ノ暴風雨ノ爲天棚及塙壁ノ一部破壊セシ爲直チニ改修(將來ヲ願ヒテ天棚用支柱ノ位置ヲ一部變更)ノ着手入浴者ノ爲支障ヲ生スル事ナク七月九日復舊作業ヲ完了ス本年開場延日數五十九日一日平均二百七十三名強ニシテ其ノ區分左ノ如シ小學兒童男七千三百五十五名女五千五百五十五名一般男子二千九百二十名軍人百二十名女學校生徒七百三十二名一般婦人二十名合計一萬六千三百三十九名飲料湯延二百三十三荷今之レヲ前年ニ比較セハ開場日數十二日入浴者延五千三百三十二名ヲ増セリ以上ノ成績ヲ譽ケ夏季ノ樂天地タル兒童遊泳場ハ八月二十五日ヲ以テ閉場セリ

(275) 三、外堤防ノ修繕ハ第一區一區ハ完全ニ終リ第三區ハ目下修理中デアリマスホ、白河上流例ヘハ楊村楊柳青子牙河上流等ハ各河務機關ト聯絡シ毎日水量ヲ報告シテ貰フテ豫防法ヲ講ジマス豫防法ヲ講ジマス水害地及堤防視察狀況第一回八月八日松本理事 田中行政委員 川端技師 前川技師 藤井部 部長 藤井部 部長 巡捕長一 內外兩堤防ノ實視第二回八月九日上野會長 松本理事 川端技師 前川技師 西河ト北運河トノ合流點ヲ經テ北運河視察以上視察ノ結果ハ行政委員會ニ報告併テ支那側ヘ希望事項ヲ通告ス第三回八月二十日田中行政委員 川端技師 前川技師 藤井部 部長 藤井部 部長 林田井上書記 西河(天津近)視察當日西河水面ハ紅橋附近ニ於テ岸下三尺堤防ヲ上流ニ行クニ從ヒ右岸ニ泥濘シ一面ノ水ナリ右岸堤防ハ下流ヨリモ稍高ク麻袋杭打等ニテ護岸補修ヲナシ居タリ第四回八月二十五日子牙河天津當城間ノ堤防視察

(274) 一、八月十六日附天津特別市長宛ノ照會要旨イ、御河右岸西頭灣子ヨリ内堤防接續點ニ至ル堤塘ハ昨年修理ヲ加ヘラレ候山ニ候得共同堤塘ハ天津市街及各租界保護上特ニ大切ナル場所ニ候間一層修繕ヲキテ期セラレ度シロ、内堤防御河右岸ヨリ監獄橋及西關門ヲ經テ外堤防接續點ニ至ル間ハ堤塘狹小ナル處及堤下ヲ横斷シテ設ケタル排水口等數ヶ所アリ之等ニ對シ十分ノ防備ヲ考慮セララシメテハ、内堤防中海光寺通船路及八里台道路交又點ハ外堤有事ノ際第一着ニ閉塞スヘキ箇所ナリ依テ豫メ閉塞用材料ヲ準備シ置カレ度シニ、外堤防ハ昨年修繕ト同時ニ全長ニ亘リテ修繕用土ヲ堤上ニ堆積シ置カレ大ニ感謝スル所ニ候カ此程來ノ降雨ニテ堤腹ニ凹所ヲ生シタル箇所モ可有之ニ付至急修繕ヲ加ヘラレントヲ希望スホ、當分ノ間時々白河其他諸河川増水地降雨狀況ノ報告ニ、右ニ對スル回答イ、御河西頭灣子カラ兆幸莊マデノ堤防ハ尙堅固ニシテ偶ニハ道路路ト共ニ壞レタ所カアリ既ニ堤ヲ設ケテ南運河第五段ト協力シテ修理ヲ致シマシタ西頭灣子ノ上下口及西大把河沿ハ比較的緊要デアツテ木柱ヲ建テ護岸ヲ致シマスロ、内堤防御河右岸監獄橋ハ堤身小ナルヲ以テ木柱ヲ建テ肉厚トシ此ノ長サ百八十餘尺ヲ排水口ハ三ヶ所ハ既ニ木柱ヲ用意シテ居リマスカラ危急ノ際ハ何時デモ閉テラレマスハ、海光寺道路及八里台道路交又點ハ已ニ土塊麻袋ヲ備ヘ且ツ通船路ヲ小サクシテ危急ノ時閉テ易イ様ニシテ居マス

(276) 田中行政委員 松本理事 川端技師 前川尾崎技師 林田井上書記 新坂署長 藤井部 部長 巡捕長一名 佐竹記 著 大島 謙次 藤井部 部長 藤井部 部長 西河右岸堤防ヲ楊柳青附近ニ至リ更ニ上流當城ニ至ル楊柳青當城間堤防凡ソ三十丁風波ノ爲洗掘セラレ應急修理中ナレ共完全トハ云ヒ難シ昨今二三寸減水ノ兆アルヲ以テ稍安心シ得レ共此ノ上降雨増水センカ本箇所ハ第一決潰スルナラント思考セラレ天津楊柳青間ハ堤防斷シテ堅固ナリ當城附近ニ於テハ對岸一帶海洋ノ如ク舟ノ往來繁シ第五回八月二十八日午後二時ヨリ防水相談會上野會長 勝田副會長 田中會計主任 松本理事 川端技師 井上書記 橋本軍參謀 新坂署長 福山警部 田代領事 牧 尙一氏 古田治四郎氏 上野會長松本理事ヨリ浸水ノ場合ニ關シ相談會開催ノ旨ヲ述ヘ川端技師ヨリ前三回ニ亘ル視察狀況報告ス尙一旦浸水シタル後ノ排水方法ハ大正六年ノ場合ト其趣キテ異ニスルヲ以テ浸水ハ總テ一旦地下ノ下水管ニ入ラシメ下水管ノ末端即住吉街下水溜ヨリウエズ運河ニ排出シ聯合租界ノ大柳筒ヲシテ白河ニ排出セシムルヲ可トス之カ爲ニハ現在ノ住吉街橋斷暗渠ヲ擴張シテ更ニ一ヶ所同様ノ暗渠ヲ築造シ且ツ松島街下水渠ヨリウエズ運河ニ直接排水口ヲ設ケルノ必要アル所ヲ述ヘタリ松本理事ヨリ防水委員會ヲ組織スヘキコトアルヘキヨリ各位ノ御盡力ヲ希望スル旨ヲ述ヘシ處橋本參謀ヨリ軍ハ委員ニ加ラス單ニ聯絡ヲ取り精々盡力スルコト、致度旨述ヘラレタリ

其他各位ノ意見交換アリテ午後四時半散會シテ本理事以下四名大紅橋ニ至リ水況ヲ觀察セリ

第六回市政府港務局トノ交渉八月三十日

議ニ照會セシ水防ノ件ニ關スル説明ヲ求メ向局長外二名ヨリ説明要旨

1、本年ノ洪水ハ大正十三年ノ水ニ比シ二尺五寸低シ然レ共上流ニ於テ黃河流域ニ屬スル水カ永定河又ハ子牙河ニ流入シ居ル形跡アリコレハ容易ナラサル處ナルヲ以テ省政府ニ對シ其調査ヲ依頼シツ、アリ

2、楊柳青附近ニ於テ子牙河其他ノ堤防ニ薄弱ナル箇所アリ大ニ憂慮ニ堪ヘサレ共河北省政府ハ修繕工費ヲ支出シ能ハサルヲ以テ謂モ益ナシ依テ吾人市政府當局ハ天津市ヲ圍繞スル堤塘ヲ完全ニシ以テ自衛ノ方法ヲ講セサルヘカラス之カ爲過日來六組ノ測量隊ヲ組織シ詳細ナル調査ヲ行ヒ著々其ノ修繕工費ニ努力シツ、アリ其ノ概況左ノ如シ

一、御河右岸金鋼橋ヨリ南大堤ニ至ル間ノ堤防ハ西頭灣子其他ニ於テ三箇所脆弱ノ所アリ本堤防ハ特ニ大切ナルモノナルヲ以テ十分ナル修補ヲ加フル必要ヲ認メ堤体ヲ堅固ニセンカ爲斷面ヲ計畫シ之カ實施ヲ圖ラントス

二、南大堤御河右岸ヨリ外堤ニ至ル間ハ已ニ堤体ノ修理ヲ了ヘ且ツ所々排水口ノ横斷セル箇所ハ夫々懸斷原ヲ準備シタリ

三、外堤防ハ昨年準備シタル修繕用土ヲ以テ堤防ノ欠所ヲ修理シ茲一兩日ニテ完了ノ筈ナリ

四、内堤防ハ小修繕已ニ終了海光寺通船路ハ五十餘尺ノ所中央十四尺ヲ殘シテ兩方ヲ埋立テ又八里台道モ道路巾丈ケヲ殘シ堤塘ヲ修繕シタリ

(278)

五、貨物支線ハ目下測量調査中ニシテ不日修繕ニ着手ノ豫定ナリ

以上ニヨリ天津市街及日佛英等ノ各租界ハ略完全ニ保護サル、モノト云フヘシ右修繕ニ要シタル工費一萬貳千弗ヲ支出セシム

第七回九月三日御河子牙河堤防視察

田中松尾行政委員 川端技師 前川尾崎技手 林田井上土屋書記

劉通譯 藤井部長 巡捕長一

當日ハ港務局ヨリ汽船ヲ提供シ吳レタルヲ以テ大紅橋上流ノ棧橋ヨリ乘船子牙河ヲ溯航獨流鎮ニ至ル八月二十五日視察ノ時ヨリ一尺五寸減水シテ共當城ヨリ上流獨流鎮迄ノ間ニ於テハ波浪ノ爲堤頭ヲ洗ハレ崩壞ノ儘ニナリ居ル箇所十數丁アリ目下減水ニ傾キツ、アルヲ以テ破堤ニハ至ラサルモ今後水深ヲ増シタル時ハ危險云々ハカリナシ子牙河ヨリ獨流鎮市街迄約十二三丁徒歩御河ハ獨流鎮市街ノ東邊ヲ流ル幅凡ソ十間黃氏(港務局秘書)ノ談ニヨレハ御河ハ馬廠ニ於テ減河ニ分水シアルヲ以テ現在水流減少シタリト此處ニ於テ約一尺五寸減少ノ跡ヲ見ル

午後一時半獨流鎮小舟ニテ御河ヲ下ル左岸ハ小堤ヲ有スル所アリ又皆無ノ所アリ右岸ハ堤防完全ナルモノト思料ス只富家院村落附近ニ於テ元崩壞シタルモノヲ修繕シタリト見ユル所アリ

午後六時楊柳青ニ着ス此處ニ於テ河幅凡ソ十五六間午後六時半人力車ニテ楊柳青ヲ出發左岸堤防ヲ通過雷家莊ニ至リ渡河右岸ニ至ル右岸ハ堤防兼道路ニシテ天福三間乃至柳柳堅固ナリ當日

ハ港務局長秘書黃滿如氏自ラ東道セラル

第八回九月九日午後二時ヨリ内堤防海光寺ヨリ御河左岸ヲ上流ニ至ル間視察

川端技師 前川尾崎技手 林田書記

(277)

イ、海光寺八里台道路交叉點ハ既ニ兩側ノ盛土ヲ了ス

ロ、通船路ハ杭打板橋ヲ施シ盛土施工中ニシテ中央約二間半ヲ殘ス

ハ、堤防ノ欠所及低所ハ修繕ヲ加ヘ排水渠ハ總テ土ヲ以テ埋メ通水遮斷シアリ

ニ、西小關道路ハ門扉ヲ閉鎖シ土囊ヲ以テ閉塞交通遮斷セリ

ホ、御河ニ出ツル所堤体狹小ノ箇所ハ堤腹ニ杭ヲ打チ土囊堆積シテ補強

以上ヲ以テ全視察ヲ終ル

民國更員ノ本夏防水ノ爲ニ開催セン打合せ要項(八月二十日)

甲 防水

一、防水委員會ノ組織

領事館及警察、民團及經驗者技師、駐屯軍、義勇隊

1、租界ノ防水法研究ト其ノ準備 (土木)

2、發電所ノ防水準備 (電氣)

3、其他研究準備事項 (庶務調査)

イ、避難者ノ收容所 (同上)

ロ、食糧品ノ貯藏 (同上)

ハ、薪炭油ノ貯藏 (同上)

ニ、上水道、給水 (水道係)

ホ、交通、舟渡 (工務)

ヘ、保淨作業 (保淨)

(280)

ト、衛生火葬場 (衛生)

乙 防水

一、排水委員會ノ組織 (土木)

1、排水法ノ研究ト其ノ作業 (土木)

2、救護係ノ組織(民團更員及義勇隊救護班)

二、諸配給係

3、給水係 (配船)

4、交通係 (衛生)

5、救護係

6、保淨係

二、水道

イ、浪速街水道鐵管敷設工事

本工事ハ春日明石間六十七間ノ個所ニ四吋鐵管ヲ新設シ既設配水管ニ接續スルモノニシテ直營ヲ以テ施工ス

實行經費銀六百貳拾六弗九拾八仙也

四吋鐵管 四十本 銀四百八拾五弗貳拾七仙

(279)

(282)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
月	月	月	月	月	月	月	月	月
二一四四、〇〇〇	二一八九、〇〇〇	二〇四八、〇〇〇	二〇二五、〇〇〇	一九三〇、〇〇〇	一六八三、〇〇〇	一七二九、〇〇〇	一五九九、〇〇〇	一五四〇、〇〇〇
千カロン								

3、防火栓新設 七個所 堤頭五ヶ所 桃山芙蓉街各一個所  
 4、防火栓改造 公園正門前一ヶ所  
 5、防火栓修理 五〇箇所（既設防火栓ニ若干ノ補修ヲ加ヘタリ）  
 6、給水配水管漏水修繕 三二七件  
 7、量水器検査 二八八件  
 8、量水器修繕 一七五件  
 9、量水器取替 五六件  
 十、昭和四年十二月末専用水道使用戸數一、五六六戸（官衙公署等ヲ含ム）  
 十一、上水使用量

(281)

四時九十度曲管 二本 銀拾四弗參拾六仙  
 糸鉛鉛塊油麻 銀八拾六弗拾貳仙  
 土工馬車賃 銀四拾壹弗拾參仙  
 右工事ハ九月三日着手同月十三日通水試験ノ上路面復舊後工ス  
 本年度施工セシ給水工事左ノ如シ  
 一、給水工事百二十三件

内 譯

1、新設工事八十六件 所要鉛管徑一時二、〇七五尺 徑六分二、二〇八尺 徑四分四七七尺 計延長 四千七百六十尺 鋼管徑二吋半七六七尺  
 2、既設管ヨリ分岐メートル増設工事十三件 所要鉛管徑六分一六四尺 徑四分一七尺 計延長 一八一尺  
 3、既設給水管腐蝕漏水ノ爲鉛管ニ取替タルモノ二十四件 所要鉛管徑一時七四六尺 徑六分九〇六尺 徑四分五六尺 計延長 一、七〇八尺  
 四、堤頭配水管及防火栓聯絡工事 六十六間六分  
 五、雜工 事 一八個所  
 六、制水弁新設 二七個所  
 七、制水弁修理 二七個所  
 右ニヨリ租界斷水ハ九區域ニ縮少スルヲ得タリ

(284)

附屬機械管購入ニ就テ  
 空氣壓搾機一、遊滑車一、モーター五十馬力一、ベルト一、空氣タンク一、エーヤーノヅツル、量水函一、サージタンク一、其他六吋以下鐵管一式  
 此ノ價額銀八千拾壹弗六拾參仙以上ハ見積合セノ結果アンダーソンメヤ一及大豐五金行ヨリ購入前肥屬品ノ据付費銀參百三十九弗九拾九仙  
 一、給水工事費銀壹百貳拾九弗四拾九仙  
 一、鑿井排水機及導水管敷設湧水ヲ一時電氣部冷却水溜池ニ導ク爲一部鐵管一部土管ヲ以テ延長百七拾尺ヲ敷設ス此ノ工費銀三百五拾八仙 竹村由登施工  
 一、鑿井仰筒所水槽支保工事費 銀五拾貳弗四拾仙 竹村由登施工  
 工事費總計銀萬四千貳百六拾參弗九拾六仙也

仰筒所建物 譯  
 鑿井 費 銀貳千弗 昨三年度報告ノ通  
 諸機械及据付費 銀貳萬參千四百參拾八弗九拾六仙  
 附帶工事費 銀八千參百四拾貳弗五拾參仙  
 銀四百八拾貳弗四拾七仙  
 一、挿入管ノ景況 總深度六百五拾二尺  
 露井徑十二吋 自然水位地表下三十尺  
 穿孔尺度百二十尺 揚水量一晝夜壹萬二千石  
 揚水管徑六吋四百十尺 送氣管徑一時三百二尺

(283)

十一月 一八九〇七〇〇〇  
 十二月 一八一七〇〇〇〇  
 計 二七二九〇〇〇〇  
 一、鑿井 事 二七五八六、〇〇〇

工事請負額金貳萬參千六百圓也  
 銀貳萬參千四百參拾八弗九拾六仙（換算支拂高）  
 入札ノ方法 命  
 工事請負人 プラオン鑿井水道株式會社  
 工事契約期限 昭和三年十月二十七日着手四年三月三十日竣工  
 本工事ハ將來民間カ水道民團直營ノ場合ヲ顧慮シ最新ノ技術ヲ有スル前記會社ト昭和三年九月十二日工事契約ヲ締結シタルモノニシテ會社ハ十月二十七日ヨリ鑿井機械ヲ搬入鑿井準備作業ニ從事シ十一月九日現場葛島街運動場西側地區ニ於テ神式ニヨリ起工式ヲ舉行爾來冬期ノ寒防設備ヲ完全ニシ作業ノ進捗ヲ計リ一月十日純掘リ方作業四十四日ニテ契約深度五百尺ニ達セシモ充分ナル湧水ヲ得ル見込ナカリシニヨリ會社代表高山大枝九氏ハ無償作業ヲ繼續二月十八日地下六百五十二尺ニ達ス此ノ間ニ於テ相當有望ナル地層ヲ得タルヲ以テ掘鑿ヲ中止セリ「此ノ前後掘鑿ニノミ從事セシ延日數七十日」自後揚水設備ヲ急キ三月十二日始メテ地下水ノ揚水ヲ見タリ此ノ時ノ揚水量日量八千二百九十石ニテ契約水量ニ達セシモ將來ノ水量ヲ顧慮シ地下三百七十二尺ノ地點ニ一段一尺宛三段即チ六尺ノ間鐵管ヲ切り開キ機械ノ運轉揚水ヲ繼續シ一方附帶工事ヲ進メ五月十八日全工事ノ竣工檢査ヲ終了ス此ノ時ノ水量壹萬壹千石ナリキ



(290)

(289)

<p>漆喰塗り仕上トシ階段木製一ヶ所取設ケ各出入口唐戸建込ト外部腰柱型並ニ欄等モルタル張仕上各窓網戸共二重トシ内外木部見エ掛リベキ塗仕上トス</p> <p>附帯工事トシテ給排水照明暖房設備ヲ併セテ施工</p> <p>本工事中外部化粧見出し並ニ煉瓦ヲ機軸ニ天井下地葺子張ヲ木摺下地呼出仕上ニ變更ノ結果銀壹百拾四兩六拾仙ヲ増額シ總工費銀六千六百九拾四兩六拾仙トス</p> <p>竣工検査八月二十八日規定ノ検査ヲ完了ス</p> <p>ニ、伏見御材置場築壘新設工事</p> <p>請負額 銀四百七拾五兩也</p> <p>入札ノ方法 指名競争入札</p> <p>請負人 挾間 掃部</p> <p>工事契約期限 九月十日着手九月二十五日竣工</p> <p>工事概要 折廻リ延長三十八間八分高六尺</p> <p>本工事ハ伏見御材置場工務課材料置場ノ三方ニ煉瓦摺ヲ設ケ出入口二ヶ所新設扉ヲ附シ煉瓦機軸並ニ柱形外側煉瓦壁頭部ハ上塗ヲ施シ兩面押目地ヲ施スモノトス</p> <p>本工事ニハ年度豫算ニ於テ上層ヲ設ケル豫定ノ處緊縮ノ爲本年度該工事を見合セル事ニ決ス</p> <p>竣工検査九月二十六日規定ノ検査ヲ完了ス</p> <p>ホ、日本俱樂部調理室物置及日本閣新築工事</p> <p>本建築ハ政武内才吉氏ノ記念トシテ金五千圓指定寄附アリタルニヨリ左ノ通り施行シタルモノトス</p> <p>請負額 銀七千六百四拾四兩也 建築ノ部</p>	<p>請負額 銀九百貳拾五兩九拾五仙 暖房ノ部</p> <p>請負額 銀四百四拾參兩九拾仙 電燈ノ部</p> <p>入札ノ方法 一般公開入札 暖房工事以下ハ特命</p> <p>請負人 五十嵐重吉</p> <p>工事契約期限 七月五日着手九月二十二日竣工 九月二十二日工事請負人ヨリ工事開始兩週案ニシテ材料持込等ニ支障ヲ生シ加フルニ現場員ノ病氣ノ院等ノ事故ヲ生シタル爲工事延期ノ出願ニヨリ十月三十一日迄無償延期許可</p> <p>工事ノ概要 延坪本館九十二坪一合一勾渡廊下九坪一合二勾建坪一階三十九坪二合三勾二階四十坪一合渡廊下其他三坪三合三階十二坪七合八勾廊下四坪一合六勾</p> <p>1、階下物置(預備室)十坪六六内部ハ何等設備ヲセズ壁及床モ共儘ニテ唯周圍ノ建具ノミ嵌メ込ミ置クモノトス</p> <p>2、料理室用物置 五坪〇五五床板張り天井及壁漆喰塗りトス</p> <p>3、支那料理室 九坪六合床板張り打壁ハ腰四尺通モルタル塗其他天井共漆喰塗りトシ窓ハ網戸付一部廻轉窓トシ流シ及調理台ヲ設置シキツチンストロブハ工費内ニ含マサルモ圖面ノ位置ニ据付タルモノトシ煙道ハ地下ニ設ケ外部ニ導ク設備トス</p> <p>4、日本料理室 七坪七二床其他構造前記同前料理昇降器ヲ設ク「カマド」ハ圖面ニ指示シアルモ豫算ニ含マズ 將來キツチンストロブヲ設置スルモノトシテノ計畫ナリ</p> <p>5、ボイラー室 三坪八六床板張り壁及天井共漆喰塗りトス</p> <p>6、廊下 二坪三三四床板張り其他漆喰塗りトス</p>
--	--

(292)

(291)

<p>17、暖房ハ日本閣ノミニ附ス</p> <p>附帯工事 給水、下水、工事一式</p> <p>一部設計變更ニヨリ増額銀壹百參兩拾壹仙ニテ</p> <p>現状ヲ具備スル迄ニ使用工費計 銀九千七百七拾六兩六仙トス</p> <p>竣工検査十一月一日民團主催ノ下ニ落成式ヲ舉行武藏館ト命名翌三日規定ノ検査ヲ完了ス</p> <p>本建築施工ニ依リ体育會技術部ノ建物ニ支障ヲ來シタルヲ以テ附帯工事トシテ右工事ニ加ヘ修築シタリ</p> <p>ニ、雜修 繕 工事</p> <p>本年度建築係ニ於テ施工セシ修繕工事ハ總數二五〇件ニシテ今一ヶ所ニ付銀百兩以上ノ工費ヲ要セシモノヲ舉クレハ左ノ如シ</p> <p>一、療病院消毒車庫機機替及表門修繕 銀參百九拾九兩</p> <p>一、療病院消毒室其他機機替 銀貳百六拾九兩九拾仙</p> <p>一、療病院圍牆修繕 銀四百參拾兩</p> <p>一、療病院圍牆修繕 銀百貳拾兩</p> <p>一、療病院圍牆修繕 銀六百拾九兩九拾仙</p> <p>一、療病院浴室其他修繕 銀百五拾四兩四拾仙</p> <p>一、事務所暖房ビツト其他修繕 銀貳百四拾四兩六拾仙</p> <p>一、事務所會議室修繕リノリニム敷手入 銀百參拾五兩六拾仙</p>	<p>7、渡廊下 一坪六六俱樂部トノ連絡上床先端ハ料理室俱樂部平均ニシテ腰羽目板張り内外部ハ漆喰塗りトス</p> <p>8、階上廊下及階段 〇坪六六 施工階下ニ同シ</p> <p>9、方欄 三坪八六米松四時巾襦ヲ以テ張り立テ敷台ヲ設ケ正面兩側ニ花台兼用ノ設備ヲナシ窓窓ヲ設ケ右窓ヨリ草花ノ見エル設備トシ室内腰六尺巾襦板機軸磨キモノニテ羽目張トシ要所ニ帽字掛ヲ附ス壁ハ松風トシ材料ハ當地ニテ集收サルモノヲ以テス窓ハ外部硝子内部ハ障子トシ夏期ニ於ケル網戸ハ別ニ製作シ置キ其ノ都度取替ヘ嵌メ込ム設備トス</p> <p>10、内廊下 四坪八三床板ハ前記同機機及天井ハ漆喰塗り前記同様トス</p> <p>11、配膳室 一坪窓ハ前記同様内部漆喰塗り配膳欄五段ニ設備シ料理昇降器ヲ附ス</p> <p>12、化粧室 一坪三壁及天井前記同様一隅ニ洗面器(陶器製)及鏡ヲ設ケ兼ハ普通品ヲ敷込ム</p> <p>13、便所 二坪床マルソイド張ノ上色タイル敷トシ大便二ヶ所小便二ヶ所手洗器一ヶ所ヲ取設ケ腰小便所ハ色タイル張トシ其他壁及天井共漆喰塗りトス</p> <p>14、番人室 三坪疊普通品敷込ミ九尺三尺ノ押入ヲ設ケ窓ハ二重壁ハ普通漆喰塗り天井ハ米松板天井トス</p> <p>15、座敷 二十二坪五疊上等品ヲ使用シ書院床違棚等ヲ含ミ間仕切ハ機ヲ以テシ上部ハ欄間嵌込ミ壁ハ小床ハ「金沙」床「クジャク」違棚「金沙」塗リトシ壁ハ「離宮ウグイス」色電燈ハ二燈シヤンデリヤ二燈ツ、中央ニ電扇ヲモ設備ス</p> <p>16、後廊下 五坪四四窓ハ壁ノ中ニ一部引込ミ障子及網戸共具有シ屋根裏ハ化粧トシ壁ハ漆喰塗り板ハ米松四時巾襦ノモノヲ使用</p>
---	---

(293)

一、理事宿舍修繕	銀七百四拾五弗參拾參仙(新宿舍)
二、土庫書記宿舍修繕	銀參百八拾五拾八仙(新宿舍)
三、火葬場修繕	銀百八拾五拾五拾仙
四、故葛西調導宿舍修繕	銀百四拾貳弗
五、小學校雨水溜槽其他修繕	銀百拾六弗四拾仙
六、小學校天棚架設	銀百拾六弗四拾五仙
七、宮本技手宿舍修繕	銀百四拾九弗六拾五仙
八、發電所ベンチレーター取付	銀四百九拾四弗八拾仙
九、發電所石炭置場修繕	百拾六弗
一〇、奧野技師宿舍修繕	銀貳百六拾六弗參拾五仙(新宿舍)
一一、發電所舊事務所新設	銀參百壹拾八仙
一二、發電所汽罐室新設	銀百五拾八弗貳拾壹仙
一三、水田書記宿舍修繕	銀參百八拾五拾八仙
一四、女學校長宿舍修繕	銀百貳拾七弗
一五、女學校新任教諭宿舍修繕	銀百七拾九弗貳拾仙
一六、保淨課汚物集捨所修繕	銀百六拾七弗
一七、保淨課事務室其他修繕	銀壹百九拾七弗貳拾拾仙
一八、保淨課物置新設工事	銀貳百貳拾弗
一九、俱樂部内部刷毛引	銀百五拾六弗

(294)

第六、電氣部

一、主要電氣工事

(一) 變電所増設工事  
 從來淡路街變電所及ヒ桃山街變電所ヨリ送電セル伏見工場地域方向並ニ軍廠ヘノ送電ノ爲メ伏見街保淨課角ニ伏見街變電所ヲ建設シ二五〇K.Wノ變壓器ヲ據付十月廿日ヨリ送電ヲ開始セリ  
 取付機具左ノ如シ

イ、變壓器	二五〇K.W	一	台
ロ、油入閉閉器(リレー付)		一	個
ハ、變流器		一	個
ニ、低壓サーキットブレーカー		一	個
ホ、全上變流器		二	個
ヘ、全上電流計		三	個
ト、街燈用電磁自動閉閉器		一	個
チ、全上用積算電力計		一	個

(二) 地下ケーブル線増設  
 イ、發電所ヨリ伏見街新設變電所ヲ經テ桃山街變電所ニ至ル間延長八八二米ヲ埋設ス  
 ロ、佛國電燈會社發電所ヨリノ専用高壓架空線柱ヲ撤去シ既設低壓配電柱ノ上部ニ添架シテ連絡ヲ

(295)

保タンメタリ從ツテ佛國電燈會社發電所トノ連絡地下ケーブル線ノ當發電所引込口改修ト共ニ位置變更セリ  
 ハ、發電所内配線高湿度箇所ヲ鐵管中ゴム線ヲ入レ使用シアリタル爲メ萬一ノ故障ヲ慮リ故障廢棄ノ「ケーブル」等ニ新品九〇尺ヲ修理ノ上埋設シテ切り替ヘタリ、延長二百尺  
 (三) 低壓並高壓架空線增加新設及撤去  
 イ、山口街通リ及ヒ「バンド」ニ至ル街燈線 B.S.N. 10 又ハ B.S.N. 12 ヲ延長セリ  
 延 長 一、六九九米  
 延 長 三、三九八米  
 ロ、住吉街汚水ポンプ所ヨリ住吉街正華洋行迄動力線 B.S. 000 ヲ延長セリ  
 延 長 三、五〇米  
 延 長 一、〇五〇米  
 ハ、從來貯炭場並ニ發電所内ヲ通シテ「ブラウン井戸」ニ送電セルモノヲ住吉街並ニ宮島街街路ニ既設ノ電柱上ニ添架セリ  
 延 長 二、〇〇米  
 延 長 六、〇〇米  
 ニ、宮島街角ヨリ興津洋行ニ至ル動力線ヲ B.S.N. 6 ニテ延長セリ  
 延 長 二、〇〇米  
 延 長 六、〇〇米  
 ホ、住吉街宮島街角ヨリ新設伏見街變電所ニ至ル既設電柱ニ高壓架空線ヲ添架新設ス  
 延 長 七、二八尺  
 延 長 二、一八四尺

(296)

二、發電所工事

(一) 佛國電燈會社高壓線五本撤去シ住吉街配電柱ニ添架セリ  
 ト、蓬萊街電柱一本撤去ス  
 チ、住吉街宮島街角電柱一本増設ス  
 リ、住吉街(陸軍兵營ニ至ル線)七本増設ス  
 ス、宮島街花園街角電柱一本撤去  
 ル、福島街天津日報前電柱一本増設ス  
 フ、山口街及「バンド」街燈木柱二十一本増ス  
 (四) 本年需用家へ新設セル引込簡所數 七百七拾五箇所

(一) 衛士連河冷却水取入口延長工事  
 昭和三年度ニ於テ發電所池水取入口工事ヲナセルモ尙不備ノ點アルヲ以テ本年夏期湯水時ヲ利用シテ約十間ノ延長工事ヲナセリ

(二) 汽 爐 改 造 工 事  
 石炭消費量軽減ノ爲メ三菱造船所技師出張ノ上改造ニ着手シ六月廿日先ツ第三號爐ノ改良終レルヲ以テ比較研究ノ爲メ六月廿九日先ツ舊應ノママナル第一號爐ノ能率試驗ヲ行ヒ六十三%ヲ次デ改良行ヒタル第三號爐ヲ七月九日試驗セシメ八十%ノ能率ヲ得タリ次デ第二號爐ヲ三菱ヨリ指定ノ通り

改良第一號罐ハ一部ノミ改良シ第一、第二、第三、ワ比較スルニ第一號罐ヲ可トスルヲ以テ改メテ第三號罐ノ改良ニ着手シ其ノ短ヲ拾テ長ヲ採テ第一ノ順序ヲ以テ改良工事ノ第一階梯ヲ終レリ

(三) 温水タンクノ變更  
昭和三年度ニ於テ地下温水タンクヲ廢止シ新ニ製造セルモノヲ再ビ地下温水タンクニ復歸セシメ床上ノ冷水ポンプヲ地下室ニ移轉シ各機械ヨリ流出セル温水並ニ廢氣ヲ地下室ニ集メ熱重ノ經濟ヲ計ルト同時ニ新築タンクヲ機械室屋上ニ移轉シ所内使用各冷却用ノ「タンク」トシテ使用スル事トセリ

(四) 強壓煽風器吸入口改造工事  
床下強壓煽風器ノ吸入口ト煙道ノ中間鐵板ノ部分トノ間ニ鐵線ヲ作り煙道ニ逃レ去ル熱ヲ以テ汽罐用空氣ヲ温メ之ヲ供給スル事トセリ

(五) 機械室床工事  
從來タービン運轉台ハ各別ニ分カレ兩側ニ橋板ヲ以テツナガレ居タルモ運轉上不便ナルヲ以テ橋板中間ヲ鐵板ニテ連結セリ

三、建物  
(一) 電工宿舍新築  
本年八月棟瓦建平屋一棟四戸 總坪數 二十一坪八合 建築費 銀壹千七百五拾五弗也  
(二) 事務所新築

本年九月舊事務所狹隘ヲ告グルヲ以テ宮島街通ニ面セル地域ニ隣棟瓦建事務所ヲ建築セリ、總坪數六十四坪 建築費 銀六千七百四拾四弗六拾仙也

(三) 伏見街變電所新築  
桃山街變電所ハ供給區域内ニ工場地帯ヲ包含シ益々負荷増大シ米レルニ製氷會社ノ設立ニヨリ動力供給上負荷ノ分割ヲヨギナクセシメラレ依テ住吉街伏見街角ニ伏見街變電所新設シ十月廿日ヨリ送電ヲ開始シ變電所ノ負荷ノ一部ヲ移動セシメタリ 建築費 銀八百八拾九弗也

四、自昭和三年十二月至四年十一月 發電力統計表

月別	一ヶ月間發電力K.W.H	各月中ノ最高電力K.W	石炭消費噸數	一、K.W.H當リ石炭消費ポンド	備考
昭和三年十二月	四〇七、八〇〇	一、三二〇	五三八、五噸	一、一九八	
全四年一月	三九四、九〇〇	一、三二五	三二二、五噸	三、二二三	
二月	三四三、八〇〇	一、四七〇	三二五、五噸	三、一四	
三月	三四二、四〇〇	一、二七〇	四七九、〇噸	三、〇二	

昭和三年十二月ヨリ昭和四年十一月迄ノ間ニ異動セル需要家數、燈數、電動機數、電動機馬力數左ノ如シ

合	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	計
需要家數	三、二〇〇	三、〇七〇	二、八九〇	三、〇四〇	三、一三〇	三、一七〇	三、一七〇	四、一六〇	三、一七〇
燈數	一、二七〇	一、三〇〇	一、二七〇	一、三〇〇	一、二八〇	一、三三〇	一、五〇〇	一、六〇〇	一、三三〇
電動機數	三、五五〇	二、九七〇	三、九八〇	一、九五〇	五、三二〇	五、五七〇	五、五七〇	六、一八〇	五、五七〇
電動機馬力數	四、九〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇
備考		五月廿八日佛發電所ヨリ電力購入一八七〇K.W.H	六月廿九日佛發電所ヨリ電力購入一〇〇〇K.W.H	七月十日佛發電所ヨリ電力購入三〇六〇K.W.H	八月廿九日佛發電所ヨリ電力購入一、七三九K.W.H				

五、需用者移動調

種類	戸數	燈數	電動機數	電動機馬力數
需要家新設	一、三三三	一、四七四	五	七八〇
同廢止	一、三〇五	一〇、四六〇	一七	二、三〇〇
差引	六八	四、二八八	一二	五五〇
前年度末現計	三、六〇五	七七、五六〇	七五	五三八、五
累計	三、六七三	八一、八四八	六三	五九三、五

第七、衛生部  
一、傳染病  
本年發生セル法定傳染病患者ノ總數ハ八八名ニシテ前年度ニ比スレハ三七名ノ減少ナリ  
最多疾病ハチフシアノ四〇名ニシテ腸チフスノ二〇名、パラチフスノ一四名等之ニ亞グ、昨年前半期間豫感ラ違クセル猩紅熱ハ本年僅ニ九名ニ過キス

(302)

昭和四年法定傳染病新患者轉歸及治療日數表

病名	患者數		治療日數		患者一人平均治療日數
	舊患	新患	轉歸	死亡	
コレラ疑似症	五	二	二	一	一四
赤痢	一	一	一	一	一四
腸チフス	一	一	一	一	一四
パラチフス	一	一	一	一	一四
假痘	一	一	一	一	一四
猩紅熱	一	一	一	一	一四
チフテリア	一	一	一	一	一四
流行性腦脊髄膜炎	一	一	一	一	一四
計	九	九	九	九	一四

備考 一、治療日數ハ初診當日ヨリ起算シ轉歸當日迄算出ス  
 二、後遺トハ未治ノ儘翌年度ニ繰越タル患者トス  
 三、本表中ニハ軍部ニ於ケル患者ヲ含マズ  
 傳染病患者ノ發生ヲ街區ニ別テ觀察スレハ左表ノ如ク福島街ノ一〇名ヲ首位トシ佛國租界居住者ノ八名共ノ次位ヲ占ム

(301)

昭和四年法定傳染病新患者發生月別表

病名及男女別	月別											
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
コレラ疑似症	七	四	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一
赤痢	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
腸チフス	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
パラチフス	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
假痘	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
猩紅熱	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
チフテリア	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
脊髄性腦膜炎	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	七	四	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一

備考 一、本表中ニハ軍部ニ於ケル患者ヲ掲上セズ  
 患者ノ治療成績ハ左表ノ如ク死亡ハ六名ニシテ總患者ノ六、八%ニ當リ一人ノ平均治療日數ハチフス疾患者最モ長シ

(304)

昭和四年法定傳染病發生街區別表

街區別	疑コレラ	赤痢	腸チフス	パラチフス	假痘	猩紅熱	チフテリア	流行性腦脊髄膜炎
伊太利租界	一	一	一	一	一	一	一	一
佛國租界	一	一	一	一	一	一	一	一
英國租界	一	一	一	一	一	一	一	一
蓬萊街	一	一	一	一	一	一	一	一
梅ノ小路	一	一	一	一	一	一	一	一
開口大	一	一	一	一	一	一	一	一
山口街	一	一	一	一	一	一	一	一
松島街	一	一	一	一	一	一	一	一
浪花街	一	一	一	一	一	一	一	一
三島街	一	一	一	一	一	一	一	一
淡島街	一	一	一	一	一	一	一	一
宮島街	一	一	一	一	一	一	一	一
春日街	一	一	一	一	一	一	一	一
伏見街	一	一	一	一	一	一	一	一
平義里	一	一	一	一	一	一	一	一
計	二	八	二	一	一	一	一	一

(303)

昭和四年法定傳染病發生街區別表

街區別	疑コレラ	赤痢	腸チフス	パラチフス	假痘	猩紅熱	チフテリア	流行性腦脊髄膜炎
福島街	一	一	一	一	一	一	一	一
芙蓉街	一	一	一	一	一	一	一	一
花園街	一	一	一	一	一	一	一	一
榮盤街	一	一	一	一	一	一	一	一
常盤街	一	一	一	一	一	一	一	一
旭妻街	一	一	一	一	一	一	一	一
香妻街	一	一	一	一	一	一	一	一
曙街	一	一	一	一	一	一	一	一
壽街	一	一	一	一	一	一	一	一
新壽街	一	一	一	一	一	一	一	一
橋立街	一	一	一	一	一	一	一	一
扶桑街	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一	〇	六	一	三	五	五	三





スルコト、シ豫メ其ノ日時場所ヲ新聞紙上ニ公告シ八月二十八日ヨリ開始九月十三日ニ至リ完了ス  
接種總延人員ハ四、一三五名ニシテ其ノ内譯ハ左表ノ如シ、接種後ノ反應ハ極メテ輕微ニシテ特記  
スヘキモノナシ

Table with columns for District (區), Division (分), and Gender (男/女). Rows include 第一回接種人員, 第二回接種人員, 接種總人員, 第一回接種ヲ受ケザリシモノノ人員, and 第二回接種ヲ受ケザリシモノノ人員. Total counts are provided at the bottom.

(310)

三、夏季衛生ニ關スル講話實施ノ件  
夏季ニ於ケル消化器急性傳染病ノ豫防方法ト衛生思想喚起ノ必要ヲ痛感シ領事館警察署ト協議ノ  
上六月三日主トシテ接客業者ヲ浪花館ニ招集シ衛生講話會ヲ開催福山警察署長代理、松本民團理事  
内藤警部補及近藤民團技師各一場ノ講演ヲナス、聽衆約百五十名ニシテ相當ノ効果ヲ收メタルモノ  
ト認ム

(311)

四、夏季衛生ニ關スル注意書並ニ捕蠅ポスター配布ノ件  
夏季衛生ニ關シ一般居留民ノ注意ヲ喚起スル爲「夏季ノ注意」ナル印刷物ヲ各戸(邦人)ニ配布シ  
發テ捕蠅ニ關スルポスター四百枚ヲ印刷シ租界内ニ於テ多數人ノ見易キ箇所ニ掲揚セシメタリ

五、蠅ノ驅除ニ就テ  
蠅力傳染病ノ媒介ヲナスハ既定ノ事實ニシテ之カ驅除ハ傳染病豫防上極メテ重要ナルモノナルカ故  
ニ領事館警察署ト連繫シ暑氣漸ナル六月二十日ヨリ九月十五日迄ニ至リ警察署員、衛生課員、巡捕  
及臨時雇備セル使丁ヲ以テ成ルニケ班ヲ編成租界内ヲ巡回シ蠅驅除ノ勵行ニ努メタリ巡回ハ一週日  
ニ租界ヲ一巡スル計畫ニテ該期間反覆施行主トシテ接客業者並ニ飲食店ノ販賣スル家屋ノ周圍、塵芥  
溜、流シ元、其ノ他不潔ナル場所ニ先ツ幼蟲驅除ヲ目的トスル藥物「ベルミン」ノ撒布ヲ行ヘリ其  
ノ戸數約五百戸トス、之ト同時ニ成蟲ニ對シテハ所有方法ヲ以テ捕蠅ヲ獎勵シ又防蠅施設ヲ完備ス  
ルコトヲ強要セリ

六、清涼飲料水其ノ他飲食品ノ検査  
本企畫ハ昨夏濟南事件ニ次テ當地ニモ動亂物發セントスルノ風雲急ナルニ及ヒ多數ノ皇軍來津シタ  
ル際保健衛生上必要ヲ生シタルヲ以テ特ニ實施シタル所ナリ此ノ經驗ニ鑑ミ本年モ亦前項除菌ノタ  
メ各戸ニ臨檢スルノ機會ヲ利用シ施行セリ然ルニ多數ノ不良品ヲ發見シ其ノ所見ハ昨夏ト概テ同様  
ナリ、不良品ノ檢出數ハ左ノ如ク其ノ殆ト全部カ支那製品ニシテ清涼飲料水ハサイダー、ラムネ、  
果實水等其ノ種類夥シク熟レモ製造濫雜ヲ極メ遊離酸或ハ沈澱物又ハ混濁ヲ生スビールモ同様ニ  
シテ支那製「五星ビール」「馬頭印ビール」ナリ

不良品發見數量表  
區分 第一回 第二回 第三回 第四回 第五回 計  
ビール 二六二 一〇六 七九 一四 二八 四八八  
サイダー 三七四 一四五 九四 四五 八七 七四五  
果實水 三〇四 五〇 一一 四 一一 三八一  
ラムネ 三八 一 一 一 一 四一  
支那酒 六 一 一 一 一 五  
外國酒 二 一 一 一 一 五  
計 一、〇〇〇 三二四 一九三 六三 二二八 一、七〇八

(312)

那料亭(飯店)ニ於テ冷蔵シ直チニ食客ニ供スルビール、サイダーニシテ往々極メテ不良ナルモノ  
ヲ發見スルコトナリ、品質ノ良否疑ハシキモノハ衛生試驗ヲ實施シタル其ノ成績左表ノ如シ

Table with columns for Item (品名), Inspection Type (検査シタル種類), and Quality (良/不良). Rows include ビール(支那製), サイダー, 葡萄酒, 葡萄酒, ウイスキー, コンヤク酒, シロツツ酒, and others.

七、巡捕ニ對シ「クレオソート丸」配給ノ件  
暑氣漸ナルニ至リ巡捕ノ胃腸性疾患ニ罹リ受診休養スル者多ク然モ漸次多發ノ兆アリタルヲ以テ七  
之ヲ要スルニ本企畫ハ蠅驅除ト共ニ此ノ種業者ニ大ナル利益ヲ與ヘ結果ニ徴シ租界衛生上貢獻シタ  
ルコト多大ナリト信ス



(318)

フス及急性胃腸疾患順次之ニ亞ク											
昭和四年死亡者病名別年齢別表											
病名	年	一才	一才	一才	一才	一才	一才	一才	一才	一才	一才
腸チフス	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢
腸チフス	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢	赤痢
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

(317)

本年邦人死亡者ハ男六二名、女四一名、計一〇九名ナリ之ヲ月別男女別ニ表示セハ左ノ如シ	
昭和四年死亡者月別男女別表	
死亡者ヲ病名別、年齢別ニ與テレバ左ノ如ク結核性疾患ハ其ノ首位ヲ占メ急性肺炎、腦溢血、腸チ	計
一月	計 一〇九
二月	計 一〇九
三月	計 一〇九
四月	計 一〇九
五月	計 一〇九
六月	計 一〇九
七月	計 一〇九
八月	計 一〇九
九月	計 一〇九
十月	計 一〇九
十一月	計 一〇九
十二月	計 一〇九
計	計 一〇九

四、死亡ニ關スル事項

(320)

呼吸器病											
昭和四年死亡者病名別年齢別表											
病名	年	一才	一才	一才	一才	一才	一才	一才	一才	一才	一才
氣管支炎	百日咳	急性肺炎	慢性肺炎	急性肺炎	慢性肺炎	急性肺炎	慢性肺炎	急性肺炎	慢性肺炎	急性肺炎	慢性肺炎
氣管支炎	百日咳	急性肺炎	慢性肺炎	急性肺炎	慢性肺炎	急性肺炎	慢性肺炎	急性肺炎	慢性肺炎	急性肺炎	慢性肺炎
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

(319)

全身病											
昭和四年死亡者病名別年齢別表											
病名	年	一才	一才	一才	一才	一才	一才	一才	一才	一才	一才
中ノ	モルヒネ	下痢	發育不全	榮養不良	胎盤早剥	胎盤早剥	胎盤早剥	胎盤早剥	胎盤早剥	胎盤早剥	胎盤早剥
中ノ	モルヒネ	下痢	發育不全	榮養不良	胎盤早剥	胎盤早剥	胎盤早剥	胎盤早剥	胎盤早剥	胎盤早剥	胎盤早剥
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

(322)

捕殺數	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
捕殺數	五九	五一	四六	二七	五二	二八	四八	八〇	五一	七七	五九	二九	六〇七

本年中之於ケル野犬捕殺數左ノ如シ

飼犬總數 三〇八頭  
豫防注射實施頭數 二六三頭  
飼犬總數ニ對スル百分比 八五・四%

(321)

合 計	男		女		傷病	其他	自 殺	不慮	頭 腦	器 官	運 動	病 器	尿 溺	急性腎臟炎	慢性腎臟炎	壞疽性安魏那
	男	女	男	女												
合 計	二二	一〇	一〇	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

本年六月及十月ノ二回飼犬ニ對シ狂犬病豫防注射ヲ實施ス其ノ頭數左ノ如シ

備考 本表中ニハ軍人ノ死亡ヲ含ム

五、狂犬病豫防ニ關スル事項

(324)

病 名	舊 患 者	新 患 者	計	治 癒 後 遺 棄 治 療 日 數
コレラ疑似症	一	二	三	一四
赤 痢	一	一	二	一〇
腸チフス	一	一	二	一五七
バラチフス	一	一	二	二八
假 痘	一	一	二	二二
猩 紅 熱	一	一	二	二二五
計	六	七	一三	四五六

昭和四年療病院入院患者治療成績表

院セシ日數 五二  
舊患者三名ヲ合スレハ本年收容患者八二〇名ニシテ猩紅熱一名死亡シタル外全部治癒セリ、治療成績左ノ如シ

既往六ヶ年ニ於ケル療病院收容患者、死亡及總治療日數ヲ左ニ掲グ

(323)

月 別	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十 一 月	十 二 月	計
猩紅熱	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
假 痘	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

各月ニ現在シタル患者數並其ノ治療日數左ノ如シ

昭和四年入院患者治療日數表

患者(新患) 計 一七  
患者(舊患) 計 一五

(325)

既往六ヶ年療病院收容患者年比較表

病名	年別					
	大正十三年	大正十四年	大正十五年	昭和二年	昭和三年	昭和四年
コレラ	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一
コレラ疑似症	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一
赤痢	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一
腸チフス	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一
パラチフス	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一
發疹チフス	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一
天然痘(假痘)	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一
猩紅熱	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一	患者一
計	二二	一九	二二	二二	二二	二二
總治療日數	四一五	三九七	七八二	九二六	一、五六〇	四五六

三、外來患者ノ診察  
本年中心於ケル外來患者延人員定ノ如シ  
昭和四年療病院外來患者延人員表

(326)

第八、保 淨 部

作業區域

第一區 福島街以北花園街以東  
第二區 福島街以南花園街以東  
第三區 花園街以西明石街以東  
第四區 明石街以西住吉街以東

區の編成  
巡捕一名 巡視捕三名(華人)  
道路掃除、下水道掃除、塵芥除去、屎尿除去、各人夫約四十五名

月別	年別											
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
邦人	三〇	三五	二九	一五	四五	五二	三〇	九五	一一	四五	三七	七〇
巡捕	三七	四三	五八	四八	五八	三七	二〇	八〇	七五	六八	八二	八〇
支那人	六五	三九	八	四	三	八	四〇	七八	一〇一	九三	八九	五七
計	一三二	一一七	九五	六七	一一〇	九七	七二	二五三	二〇六	二〇七	二四二	一九九
身体検査	七	五	七	二	九	一	二	四	二	一	一	五

(327)

汚物運搬自動車一輛、道路及下水道掃除塵芥泥土運搬車七輛

作業種別  
清潔法施行、道路撒水、道路掃除及除雪、公設下水道掃除及汚水池浸灌、私設下水  
道掃除及汚水汲取、塵芥除去、屎尿除去  
主要器具  
撒水道路掃除消火唧筒兼用大型自動車一輛、撒水自動車三輛、運搬自動車八輛、道  
路掃除用小型、汚物運搬車、汚泥運搬車、塵芥除去箱、下水道掃除用具等  
現業人員  
巡捕四名、苦力頭一名、自動車運轉手一名、揚水場監視人一名、苦力直備一九  
四名、屎尿拂下請負人供給六〇名

一、清潔法施行  
春季清潔法は五月十日より全月二十二日迄租界内を十一區に分ち施行せり。  
施行戸數 (日人) 一、三二七戸 計 四、四〇二戸  
施行戸數 (華人) 三、〇八五戸  
検査は警察巡查三名民團吏員五名を以て施行せり検査成績は今春季特に検査嚴重を極めたる結果に  
入物置等細部に亘る掃除を怠り甚しきは故無く全然施行を怠れる者等四五〇戸の多きに及び再検査  
の結果後一六戸の未済者を出せり再検査に於ける未済者に対しては警察に召喚の上將來を警はしめ  
嚴重説諭せり。  
秋季清潔法は十月一日より全月十四日迄租界内を十一區に分ち施行せり。

(328)

施行戸數 (日人) 一、四四九戸 計 四、四八四戸  
施行戸數 (華人) 三、〇三五戸

検査は警察巡查三名民團吏員五名を以て施行せり検査成績は今春季特に検査嚴重を極めたる結果に  
や一般に概して良好なりしも猶一五五戸の施行未済者有るが再検査の結果科料處分者一戸を出  
せり。  
清潔法施行検査に當り毎季百數十戸の施行未済者を出せるが其なる原因は初めて日本租界に居住せ  
る支那人は豫め民團より印刷物及口傳を以て通知爲し有るも猶清潔法の如何を充分に理解せざる爲  
め之を怠る者多く從て居留者の去來常なき當租界に在りては施行未済者の皆無は望み難きにつき檢  
査の煩は免れざるも再検査に依り清潔法の徹底を期しつゝあり。

二、道路撒水  
撒水自動車 大型 一輛  
全 小型 三輛  
撒水道路數 二十八街  
撒水方法 晝間撒水  
撒水の方法及狀態時季に應じ變更す可きものにして一定せざるも今撒水を最必要とする夏季に就き  
之を記す。  
晝間撒水は日出より日没とし全車輛を運轉せり而して各街一回一巡に要する車輛延數は二十台にし

(330)

(329)

て自動車一輛費十二時間運轉の撤水百數約二十五台四輛計百台として一道路一日費四回乃至六回平均五回の撤水を爲せり。

夏季一回の撤水による道路温潤時間は約五分乃至十分間にして晝間五回撤水とし計約三十分乃至一時間なり従て一日費間の道路温潤時は僅々約一時間にして乾燥時は約十一時間なるが故に夏季の道路は全く無撤水状態に在るも右述の数字は現在に於ける民團撤水設備の全能力にしてより以上を望み難し。

夜間撤水は日没より夜九時迄小型車二輛及時により大型車を運轉して全道路に對し一回乃至二回の撤水を爲したるが晝間に比し温潤時間長く其成績至て良好なり

現時夏季に於ける撤水状態は甚貧弱にして之に對し若し半完全なる撤水設備を爲すとすも自動車約二十台を要し其經費を概算せば自動車購入及車庫建築並に給水塔新設費等約十萬弗爾後年々運轉費約二萬弗を要し而も自動車の如き三年乃至四年にして機械磨滅の爲め使用不能となり其都度機關取換費約一萬弗を要すなり即ち夏季撤水の變更に必要なるは言を俟たざるも亦一面莫大なる經費の支出をも考慮せらるなり。

**三、道路掃除**

撤水掃除自動車 一 輛  
 塵芥運搬小車 三十 輛  
 掃除人夫 五十名  
 並通掃除、撤水掃除、馬糞掃除、歩道掃除

**掃除方法及状態**

並通掃除は各道路午前一律復竹箒又は草箒を以て掃除を行へり結果に於て小道路は一日前後二往復の掃除を以て略清浄を保ち得るも大道路に在りては車馬及一般の交通頻繁にして掃除後逐次に散亂する土砂塵芥等にて一日中早朝を除き街路の清浄保し難し。

撤水掃除自動車を以てせる道路掃除は本年初めての試みにして五月下旬より八月中旬迄夜中午前零時より約五時間一般交通の絶へたる時を以て租界内コルタ道路及ソデヂツ道路全部の掃除を行へり而して洗掃は最も完全なる道路掃除法にして洗掃後は路面に雲の塵芥も認めず其成績頗る良好なりしも茲に困難事は洗掃作業用大型自動車の車体重量過重なるが故に運轉中機關の音響及地盤の振動激しく其爲め一般の安眠を甚しく防ぐるの事實にして不特洗掃作業時刻を午前五時より約三時間に變更したるが其結果は充分なる成績を收め得ざりし即ち交通未頻繁ならざる時刻と雖ども點々車馬の通行するあり爲めに自動車の運轉を妨げられ結果洗掃作業の完全を缺き且つ作業時間短縮より各道路隔日洗掃の外ならしめたり。

歩道掃除はタイル舗装完成せる部分に對し刷毛箒を以て特に掃除を行へり。

馬糞掃除は舊街の如き車馬の交通特に頻繁にして馬糞散亂甚しく不潔なるも連續として車馬通行の爲め並通掃除作業至て困難なるにつき特に掃除夫をして馬糞のみを掃取りを爲さしめたり。

近時租界内道路は車道歩道共連年完成に近づきつゝあり此結果は道路保淨に至大の好成績を與ふるものにして即ち完成せる道路は撤水に掃除に作業容易にして且つ作業後の保淨亦至て良好なるが之と共に掃除作業に使用す可き器具も亦従来の竹箒又は草箒のみにては不完全なるを以て既に歩道タイル掃除に刷毛箒を使用せるが狗車道掃除につき撤水掃除自動車の小型なる物一輛設備の要を感じ

(332)

(331)

猶租界内道路中支那街に接したる部分は常に不潔なるも之が原因は道路至て不完全なる華界より車輛の轍に附着して土砂の租界内に搬入さるゝ事實にして之に對し本年土木課に於て特に華界に接續部分の道路修築以來之等土砂の浸入幾分緩和されたり。

**四、除雪**

掃雪自動車 一 輛 (大型撤水掃除車)  
 除雪運搬自動車 四 輛  
 除雪回數 四 回

**除雪方法及状态**

除雪掃雪は人夫により竹箒又は雪押を以てし車道掃雪は掃除自動車を以てせり而して掃除自動車による掃雪は本年初めての試みにして相當研究を要す事とし積雪一寸乃至二寸に及ぶ時は夜間と雖も運轉したりしが結果ローラ箒等に多少の改良を要したるも大体に於て頗る好成績を挙げ得たり。

從來の人夫掃雪及除雪法に在りては臨時多數の人夫呼集の煩有り隨て積雪後數時間を経ざれば掃雪作業に着手する能はず彼是にして一般の通行により積雪路面に踏著する爲め掃雪至て困難なりしも自動車即ち機械力による掃雪法に在りては僅々數名の從業員により行ひ得るを以て晝夜に不拘任意敏速に作業を爲し得るも夜間作業の如き一般車馬の交通妨ぎ爲め寧ろ晝間に比し掃雪完全に行はれ且つ容易なり。

斯くして一旦道路兩側に掃き寄せたる雪は運搬自動車を以て白河及運河方面に搬出せるが使用車輛及人夫は總て一般保淨作業用のものを臨時改造又は時間外勤務等の方法により利用せる結果尠からず除雪費の節約を爲し得たり。

因に三年十二月廿七、廿八兩日の降雪量は當地としては相當の降雪にして積雪四寸に及びたるが此回の掃雪成績を記せば。

掃雪自動車運轉午前零時より全七時迄。  
 掃雪人夫午前五時より作業着手

除雪日數 一 日間  
 除雪運搬自動車延台數 一、四六九台  
 馬車 二二〇台  
 全 小車 五〇〇台  
 臨時備人夫 三〇〇人  
 保淨課備人時間外作業 五八三人  
 揮發油消費 二八罐  
 除雪經費概算 四二八弗  
 除雪量 約一、三六〇方

**五、公設下水道掃除及汚水池浚渫**

公設下水道掃除人夫 十八名  
 汚泥運搬車 五輛

(333)

掃除方法及状態  
 年春秋二回下水道全般に亘り特別掃除を行なへり、一回の掃除に要する日時は約一ヶ月にして特別掃除終了後は部分的掃除即ち雨水溜槽及大溜槽の泥土波取掃除を爲せり。  
 下水道管及溜槽等につき不完全なる箇所なしとせざるも故障の箇所発見の場合は工務課に於て遠次施工修繕又は改造以て完全に努めつゝあり。  
 汚水池浚漚  
 住吉街溜槽所附屬汚水池は年春秋一回請負人をして浚漚せしめ浚漚後の汚水池には外観の醜態及臭氣の發散を防ぐ目的を以て苜蓿の上覆を施せり。

六、私設下水道掃除及汚水波取

掃除夫及波取夫 三十名  
 掃除戸數 一區 六五〇戸  
 二區 七七〇戸  
 三區 八〇三戸  
 四區 一、〇三八戸  
 計三、二六一戸

掃除方法及状態  
 各戸の下水道掃除は普通月二回と定めあるも水流不通其他の故障申出に對しては其都度臨時掃除を行へり。

(334)

現在各戸の下水道は大半不完全にして加之各戸使役人の下水道使用智識至て薄弱なる爲め常に種々なる故障を生じ之が修復作業は掃除に非ず而單なりとは云へ工事に屬するもの多し。  
 凡そ下水道に流し得るものは液体及液体に容易く溶解する物に限られ例へば便所に使用する紙の如きも便所用巻紙若くは繊維無き物を撰ぶ可きなり。  
 假りに下水道故障(水流不通、臭氣發散等)十戸につき其主なる原因を區分せば  
 一、下水道敷設勾配の無きも又は曲線の箇所有蓋の溜槽設備無き爲め完全なる掃除を爲し得ず隨て閉塞を早めたるもの、二戸  
 二、下水流口に濾過策の設備無き爲め  
 イ、殘飯類の爲め自然閉塞を早めたるもの、三戸  
 ロ、野菜魚類を包みたる新聞紙又は消炭等の爲め不自然に閉塞せるもの、三戸  
 三、臭氣止めの設備なき爲め臭氣の發散するもの及便所に於て多量の新聞紙等を使用し又は其都度水洗せざる爲め管を全く閉塞せるもの、二戸  
 右各項共故障の主なる原因は設備の不完全に基くものにして無闇使用上の不注意も有る可けれど設備完全なる時は多少の不注意は何等影響す可きものに非ず而も設備の價は一時的のものにして使用上の注意は日々永くなるが故に其類に堪へ難く稍もすれば之を免れざるなり此意味に於て故障なき家に對しては改造又は完全なる設備施工を要求しつゝあり。

汚水波取 四輛  
 汚水運搬車 一八二戸  
 汚水波取戸數 一八二戸

(335)

下水道未設家屋に對しては毎日一回汚水の波取搬出を爲せり、現在に於ける下水道未設家屋は總て最舊建築のものにして逐年改造又は修築と共に下水道亦敷設されつゝ有るを以て汚水波取戸數は自然減じつゝあり。

七、塵芥收去

運搬自動車 六輛  
 取夫 五十六名  
 塵芥收去戸數 三六三三戸  
 塵芥收去方法及状態  
 塵芥は毎日一回日出より午後四時頃迄の間に於て各戸より芥取夫をして一旦收集場に收去せしめ即時運搬自動車を以て塵芥拾場に搬出せり。  
 本年一月より十二月迄に於て伏見街西端民團汚物拾場に搬出されたる塵芥の量は實に自動車にて一萬四千台容積五千六百立方坪にして埋立たる土地面積約三百坪なり。  
 塵芥拾場埋立面積  
 二年度約千三百坪 高九尺乃至十尺  
 三年度約 五百坪 高廿五尺乃至三十尺  
 四年度約 三百坪 高三十尺  
 計 二千一百坪  
 内支那人所有地約三百坪

(336)

現在埋立中の池沼水深約二十尺  
 塵芥拾場  
 塵芥の撰拾は左記契約に依り尿尿收去作業請負人に爲さしむる事とせり。  
 民團に於て塵芥を一定の箇所へ搬出したる時は請負人は之を民團指定の高さに敷均らす可し此場合に使用する人夫は第二條規定人數の外請負人に於て別に供給するものとす。  
 前項の場合に於て請負人は無償にて塵芥の撰拾を爲す事を得但一寸目節以下の炭袋及特に民團より差止めたる物件の撰拾を許さず。  
 即ち請負人をして尿尿收去作業に使用する人夫六十人及收去運搬に要する自動車以外の器具一切を民團に無償提供せしめ而して民團は請負人に塵芥の撰拾及收去したる尿の收得を無償爲さしむる事とせり。

八、尿收去

運搬自動車 二輛 但塵芥と共用  
 尿尿波取夫 六十名 但請負人供給  
 尿尿波取戸數 二、四〇〇戸  
 尿尿收去方法及状態  
 尿尿收去は日波頃より波取夫として各戸の廁又は便桶より直接に波取らしめ之を汚物收集場に於て尿及尿に區分し尿は別箇の容器に移し運搬自動車を以て伏見街西端に運搬爲し更に河舟又は車馬を以て租界外に搬出せしめ尿は收集場に於て下水道に流捨せり。



保淨作業中最困難なるは尿尿除去にして日々一般家庭と作業人夫との間に一二件の事故を生ずる等  
其主たる原因は尿尿の取扱なるが故にして凡苦力中にて尿尿採取作業に従事する者は至て素  
質悪しき者多く従て常に酒錢強要又は故意に尿尿を忘る等の事故を生じ其監視者につきては日々  
其程度同一旨の注意を要し而も其言語の如き粗暴に堪らざる様留意せざれば監視者の言を用ひざる  
のみか却て是に反抗し時に暴力を以てする等全く常課現業員の最腐心する所なり尤も請負人に於て  
も不良苦力は直に解雇し可及的善良なる者を採供し可く努めつゝあれど一般苦力は何人も尿尿  
採取夫たる事を厭ふが爲めに是が人操縦には相當苦心せり願ふに一般人の尿尿採取物として談話に  
さへ厭はるゝ尿尿を直に汲取り作業中手指或は顔面に附着するとも敢て是を意に介せざるを以て  
するも是等尿尿採取夫の如何なる程度なるかを推知するに難からず。

#### 尿尿拂下方法

一 請負人を指定し請負人をして尿尿採取人夫及採取搬出に要する器具一切を無償提供せしめ除去し  
たる尿は請負人に無償下渡せり。

### 九、冷蔵用天然水配給

運搬自動車 三輛  
全馬車 一輛  
配達人夫 十二名

#### 氷塊購入及配給

前年度に於ては直營を以て氷塊の貯蔵を爲したるが結果に於て配給に過不足の場合豫算に對し危  
險を生ずる怖れ有るを以て本年度に於ては契約により請負人をして貯蔵せしめ民團は所要の數  
を壹個約百斤銀六仙五厘を以て購入し而して之を一般需用者に對し大塊壹個約百斤銀拾五仙小塊壹  
個約三十斤銀五仙とし直營を以て配給せり。

(338)

配給成績  
配給戸數 日界 九〇一戸 計 九三七戸  
佛界 三六六戸  
配給數量 大塊 一、三三六個 計大塊換算 四四、四八九個  
小塊 九九、三〇九個  
小塊三個を以て 大塊壹個に換算せり

### 第九、義 勇 隊

#### 一、隊員及役員異動

本隊々員現在四百四十名にして本年度に於ける入隊者三十四名退隊者八十八名にして昨年末當  
時の人員四百九十四名に對し五十四名減員なるは昨夏北支戰亂に際し臨時編入せる通譯班員及  
老齡者引退各多少人員を整理せる結果なり。

#### 二、教育及訓練

##### 1. 幹部 教育

上級職務者の一舉一動は悉く隊員の模範たり慎まざるべからず非常に際し沈着機に處し泰然た  
るの威容は以て全員の志氣を作興し機に望み成功の因を固うするを得へしとは聖典の吾人に示

(339)

せる教訓なり、本隊の綱領を貫徹せんか爲めには各種の方法を講し指導者の能力を啓發するこ  
と亦極めて緊要にして急務なりとす此精神に基き特に今年度より一般教育訓練の外に幹部教育  
を實施し主として典、範、の研究及陣中要務令中訓練上必要なる事項を抽出して教育の復習研  
究に資し指導者としての技能を培養せしめたり學科教育は一般教育開始前の一、二、三月及炎  
暑三伏の七、八月教練休止の時に於て前後四回延時間十二時間を實施し豫め、典、範類及要  
務令を貸與し置き研究要點を示し疑點の質問に應じ教官より初歩の戰術を加味して教育し更ら  
に一般訓練開始に當り之を實際に應用して解脫を加へ下二期に於ては廣々實兵の指揮をなさし  
め以て幹部教育向上につとめたるに各員の熱心は殆んど毎回全員の出席率を示し其成績亦見  
る可きものありたり。

#### 2. 一般訓練教育

本年度教育を第一期自三月至六月、第二期自九月至十一月三月に區分し第一期間に於  
ては各個教練の初歩より部隊教練、陣中勤務に進み射撃の一般要領を會得せしめ主として近距  
離に於ける狙撃に習熟せしむる程度とし他に兵器の構造法並に手入及機能の概要を教育し期  
末一回の春季射撃會に参加せり此間從來の既教育者は助手助教として未教育者の指導に任せり  
第二期間に於ては各個教練にて第一期教育の程度を向上し幹部には益々助教、助手としての教  
育技能を發揮せしむるにつとめ又部隊教練に於ては團結を鞏固にして隊紀を練り陣中勤務の要  
領を會得せしめ併せて幹部の技能を練磨し陣中勤務に於て幹部の指揮能力を養成し射撃教育に  
於ては據銃照準射撃を迅速ならしめ一回の狭射射撃より期末秋季實包射撃を實施せるに未教育者  
の射撃會に於ける成績は前回に比し一般に著しき進歩を認めたるは快欣に堪えざる所にして全

(340)

く訓練教育の賜なりと思考す要するに本年度に於ける教育訓練は何等本隊の活動を要する事件  
の發生を見ざりし爲め訓練も豫定の通り實施せられ訓練開始の三月十日より十一月十日の訓練  
納め迄十三回を重ね延時間約三十九時間にして此間三月十日の陸軍記念日に際し海光寺營庭に  
於ける駐屯隊の演習演習参加五月五日及十月二十日、秋射撃會實施、十一月十日訓練納め  
として大和公園及天津神社を中心として團兵及分列式を舉行し訓練實施上には何等の遺憾  
なく其効果も累次進境に向ひつゝありと謂ふ可きも唯だ隊員の出席率に於て稍々低下するの傾  
向あるは遺憾なり將來は教練に對し興味を喚起せしむる如き心機轉換法を研究し之れを補助課  
目として教材に配合せしめ訓練を一層適切ならしむると伴に出席率の向上に對し探究努力せん  
と欲す。

#### 隨意科目として柔劍道獎勵

實質剛健なる氣力及體力を養成し併て心身の鍛練精神修養の目的にて隨意科目として柔、劍道  
を獎勵し九月五日より之れが實施方法につき體育會柔、劍道部と打合せ隊員一般に通知せしに  
有志十數名の出席を見、熱心なるものは暑中稽古より引續き練習中の旨報告に接せり將來は馬  
術及スポーツ方面に對しても獎勵の方針なり。

#### 三、隊員表彰及申慰

隊員の表彰に就ては明文の規程なく「服務中に於ける弔慰疾病救済に關しては隊規第六條に又  
賞罰に對しては第十五條にて」何れも行政委員會の決議を経て行ふとあるのみなるを以て之れ  
が表彰方法に付再三審議行政委員會の決議を経て二月七日民團公告第三號を以て表彰規程を發  
表し第一年度に通り有資格者を調査し四月七日附三十六名に對し第一回の表彰をなし十二月二



(346)

村津	三文字圓五郎	門田七三郎	楠正一
江頭ハナ	須藤テル	永井義雄	井上勇之丞
澁澤銀藏	鷹巢福市	大木幹一	小島和三郎
田村多吉	茨木民藏	永安平吉	樋口知義
小林成夫	打鳥勇熊	清水喜十郎	大澤大之助
竹下重太	沼田順一	櫻村又吉	阿部安之助
岡村又五郎	山本永俊	逸見常造	岡本久雄
大野榮	武内進三	株式會社	上野藤三
山口寛藏	中田庄太郎	中田常一	大田万吉
山下榮	藤田かめ	河野康通	高橋健二
吉田房次郎	清水一太郎	中華株式會社	金山作次郎
清水幸三郎	清水コヒサ	取締役金山善八郎	瀬底正敏
中原定雄	宮野龜太郎	橋文助	植松龜太郎
横山慶之助	池上兼治	千秋實	成願新三
岡田晴光	柴坂直治	星野順次郎	黒川重幸
永戸新五	小島楠吉	田村俊次	高瀬伸
兒島鷲鷹	増永常雄	横田寅太郎	

(345)

モノトナルヘント思考セラル。  
 茲ニ於テ海外發展助長ノ方策トシテ將來ノ計ニ備フル所ナルヘカラサルヲ信シ特貸資金參百五拾萬弗貸出方ヲ民間ノ名ヲ以テ政府ニ請願セラレシコトヲ切望スルニ當リ茲ニ各調査資料ヲ相添ヘ關係者一同運署ヲ以テ請願ニ及ヒ候也。  
 昭和三年拾壹月貳拾四日

調査資料(資料内容ハ之ヲ省ク)  
 一、自大正六年天津經濟界ニ影響ヲ及ボシタル各種事項  
 一、個人關係土地評價表  
 一、個人關係房屋評價表  
 一、工場住宅地借地人名及坪數  
 一、船會社及倉庫寄託品在高調査表

右請願人  
 富成一二 金山喜八郎 直原常治 貞森利一  
 中川敏浩 赤山今朝治 井口勇 中戸川孝造  
 副田重次郎 森川照太 太田岩吉 白井忠三  
 加納隆宏 鍛冶静一郎 吉本勝三郎 中村常三郎  
 神谷要次郎 白鳥定治郎 郡茂行 福島次作  
 株式會社平林號 北澤千代藏 岩倉源之助 松本芳太郎  
 取締役森崎敬次

(348)

拜啓天津日本專管居留地は支那に於ける帝國勢力の延長とし將亦對支邦人經濟發展の根據地として居留民團の進展と相俟ち逐年隆盛を來し列國居留地並立の間今日迄克く國家的體面を維持し來りたるは是偏に政府並に監督官憲の指導保護の賜に外ならず候得共一面天津を墳墓の地として粒々辛苦克く對支發展の第一線に立ち今日の基礎を基きたる居留邦人努力の結晶と稱するも必ずしも誦言ならずと相信し候。

然るに居留地の股盛と俱に民團財政は歲々擴大せられつゝあるも仔細に之か内容を檢するときは租界の人口及不動産所有者は年と共に支那人のみに激増を來し現に民團歳入の「七五パーセント」は支那人によりて支持さるゝの實情にして日本租界の繁華は漸次有産支那人に獨占せらるるの形勢を示し我居留地の將來は眞に寒心に堪へざるもの有り之候就中邦人中天津を唯一の根據として奮闘しつゝある所謂土着中小商工業者は近年財界一般の不況に加へ累年打續く支那の動亂、交通の杜絶、排日貨、白濁の泥濘等により眞に疲弊困憊の極に達し辛うして商品不動産等の資産を支持する者あるも之か金融を得るの途なく洵に氣息奄々たる折柄近時南方政府の勢力を背景とする反日會は黨部指導の下に益々跳梁を極め日本商品に對する壓迫横暴は眞に言語に絶し、所謂事實に於て經濟絶交を遂行し其辛辣さと深刻さに於て未だ曾て見ざる悲慘の狀態にして今や我邦人は唯々拱手傍觀して時局の日に非なるを痛歎するのみに有之今にして何等かの方策を講ずるに非ざれば日本居留民の將來は自滅再ひ起つ能はざるに立至るへきは火を賭するより明かにして洵に深憂慨に堪へざる次第に御座候。

以上は單に居留邦人の現下に於ける一般情況を概説したるに過ぎざるも今試みに邦人商工業者各階級の内情を仔細に考察せば

(347)

天津居留民團  
 行政委員長 上野壽殿  
 (一) 請願ニ對スル行政委員會ノ經過  
 茲ニ於テ民間ハ之ヲ昭和三年十二月五日開會ノ行政委員會ニ提案シ種々研究ノ結果總領事ニ政府ノ内意ノ照會ヲ依頼スルコト、ナリシカ其回答ハ目下低利資金ノ貸出ハ到底見込無シトノコトナリキ去レド行政委員會ハ居留邦人中中小商工業者ノ爲メ緊切ナル必要ヲ痛感シ特ニ上京委員ヲ設ケ當路ニ請願スルコト、シ上京委員ニ民團議長吉田房次郎氏民團議員當成一二氏及天津商業會議所書記長小林陽之助氏ヲ推薦請願ヲ委嘱ス。  
 次テ行政委員會ハ直ニ政府ニ對スル天津邦人實業復興資金低利貸下請願書ヲ起草シ昭和四年一月十八日公會堂ニ於テ民團議員ヲ非公式ニ召集シ協議會ノ形式ヲ以テ請願ノ實行及之ニ要スル經費ノ支出ニ付認解ヲ得タリ。  
 民國ヨリ政府當路ニ對スル請願書左ノ如シ  
 天津邦人實業復興資金低利貸下請願書  
 租甲第二二號 昭和四年一月十七日 天津居留民團  
 行政委員長 田村俊次  
 内閣總理大臣 田中義一殿  
 外務大臣 田中義一殿  
 大藏大臣 三土忠造殿

(349)

一、邦人商工業者中累年の不況に愚蒙苦悶しつゝも猶辛うして所有不動産を支持せるもの左の如く  
 一、日本租界内個人所有地 壹萬參千九百四十六坪九〇七  
 此時價壹百拾萬參千四百參拾壹仙(民間課稅評價の約三倍)  
 一、日本租界外個人所有地 壹萬參千五百五拾貳坪八〇七  
 此時價五拾五萬四千〇九拾六兩八拾壹仙 (以上添付第一號書參照)  
 一、日本租界内個人所有家屋 九十參筆  
 民國課金基準 壹百四拾參萬參千參百貳拾五兩四拾九仙  
 一、日本租界外個人所有家屋 六 筆  
 此時價貳拾七萬六千貳拾參兩七仙 (以上添付第二號書參照)  
 不動產價格合計 參百參拾六萬六千九百八拾六兩九拾七仙也  
 (註)右は内地に本店を有するものを除き全然當地を活動根據となす者のみを抽出せり而して  
 家屋の評価は民間課稅を基準としたる民間調査に依り土地は時價を以て評價せり即ち邦人  
 所有不動産投資額は如上約參百參拾萬兩以上に達するも不幸にして内地に於ける興業、農工  
 銀行の如き金融機關を缺如せる當地に於ては全然資産は固定不動の狀態に陥り之を資本  
 化するの途なく隨て母國の對支政策に策應し隠忍自重除るに時局展開の機を待たんとする  
 も實を抱いて先づ自ら崩壊せんとするの矛盾を實現しつゝある次第に御座候  
 二、不動産所有者以外に於ても我邦人中小商工業者は現に商品の倉庫寄託高昭和三三年九月三十日現  
 在に於て約時價壹百〇四萬兩を有しつゝあり(天津商業會議所調査)(添付第三號書參照)而し

(350)

て反日排貨の險惡なる風潮は今や全然經濟絶交の域に達し商人は徒らに商品を倉庫に死蔵する  
 の外なく工業家は看す看す製品ストック轉價の見込立たず目前の利害を顧みれば寧ろ工場閉鎖  
 の急なるを可とするも他日の計を案すれば熟練職工の散逸に由る將來必然来るべき多大の損失  
 を考慮せざるへからず斯くして日夜局面打開の對策に奔走苦慮し或は反日の緩和若くは之が對  
 抗に狂奔しつゝあるの外なき狀態にあり  
 三、尙ほ茲に特筆すべきは近く反日に累せられ突如として我經濟界に一大脅威を與へたる滙業銀行  
 の休業事件と之に伴ふ天津財界の恐慌的波瀾なりと思ふに天津邦人として滙業銀行預金高は  
 其類必しも大なりと言ふ能はざるも中以下の貿易業者が其取引關係に於て滙業銀行に出で多大  
 の利便を得つゝありしは顯著なる事實にして今回突然の休業により之等商工業者に與ふる打撃  
 は眞に致命的にして其慘狀尙に見るに堪へざるものありとす  
 天津居留民團行政委員會は如上述べたる在留邦人の悲惨なる經濟的致死の狀態に直面し適當の救濟  
 手段を講ずべき義務と其責任を痛感するものに有之候得共嚴たる法制の下に公法團體として存立し  
 且つ邦人以外四萬に近き外國人を抱擁する行政主體として一般社會的施設の外何等の施すべきも  
 の無之念ふに斯の如き事態の發生は各種の事情に貽せる綜合的結果なること勿論なるも特に反日  
 被害の如きは亦我對支外交政策の反影の飛沫を浴びたるものとも謂ひ得べく加ふるに前述する如く  
 母國の同胞は不動産に對しては農工興業勸業銀行等の機關により夫々金融の途開け中小商工業者の  
 運轉資金は多額の低貸貸出方法を講せられ所謂産業立國の方策續々施設せられつつあるに拘はらず  
 海外商戰の第一線に在りて常に兵亂排日あらゆる苦難に遭遇せる我天津中小商工業者は不幸にして  
 内地一般商工業者の享受し得べき何等の利便をすらも有せざる憐むべき狀態に放置するは常に海外

(351)

發展助長を高唱する我國是に顧みて甚しき矛盾撞著の感を禁する能はず若し夫れ現下の狀態を此儘  
 に看過せんか邦人在留民は踵を次いで内地歸還の運命に陥り專管居留地は名ありて實なき不祥の結  
 果を招來するはまさに目前の間に在りと杞憂仕候  
 以上述べたる理由に因り當地財界救済の爲め  
 一、不動産金融貸付金として 金壹百萬圓也(添付第四號書特貸の形式に於て)  
 金七拾萬圓也(添付第五號書組合組織に於て)  
 二、輸出入及工業金融貸付金として 金拾萬圓也(添付第六號書上海及漢口の事例に因て)  
 三、業務復活資金貸付金として 金拾萬圓也(添付第六號書上海及漢口の事例に因て)  
 低利資金特殊貸出被成下度在留邦人の窮乏苦難見るに忍びず茲に奉請願候也  
 添付書類目次  
 一、在留邦人個人關係土地評價表  
 二、同上 個人關係家屋評價表  
 三、天津ニ營業本據ヲ有スル邦商ノ當地船會社倉庫ニ於ケル寄託品數  
 四、橫濱正金銀行滿洲特別貸付規程  
 同上 滿洲特別貸付取扱手續  
 五、天津輸出入及工業金融組合貸付規程案  
 天津輸出入及工業金融組合貸付規程案  
 六、在留邦人業務復活資金案綱目  
 七、參考書 天津居留邦人營業別軒數表  
 八、同上 自大正六年 天津經濟界ニ影響ヲ及ボシタル各種事項(添付書類ノ内容ハ之ヲ省略ス)

(352)

(三) 上京委員ノ運動  
 上京請願委員中ノ吉田富成兩員ハ上京ニ先ツテ一月八日北京駐在公使財務官ヲ訪問シ請願ノ趣旨ヲ  
 説述シ且借入運動ノ援助方ヲ依頼セリ  
 次テ請願委員三氏ハ一月三十日大阪ニ集合翌三十一日東京外務省ニ出頭シ加藤前天津總領事有田亞  
 細亞局長吉田外務次官等天津ニ終故深キ各官ヲ訪問シ熱心ニ運動ヲ開始セリ然シテ外務省ニ於テハ  
 低利資金貸下ニ付テハ上京委員ヨリ大藏省係官ニ紹介スルヲ以テ直接陳情スル方却テ效果アラント  
 ノコトナリシヲ以テ大藏省當局ニ對シテ直接陳情請願セリ  
 又外務省ニ於テハ若シ低利資金貸下困難ナル場合ニ於ケル所謂第二案ノ詳細ナル書類ヲ提出スヘキ  
 旨命セラレタルヲ以テ三委員協議ノ上豫テ小林委員長ニ提出シアリタル第一案ト第三案  
 ヲ折衷シテ第二案ヲ作成シ三月五日外務省ニ提出ス  
 第二案ノ要項左ノ如シ  
 一、借入金 額 金貳百參拾五萬圓  
 二、利 率 年六分五厘以下但シバムコトヲ得サレハ最高七分迄  
 三、期 限 三年間措置キ後七箇年ニ年賦償還  
 四、担 保 物 民國所有土地四萬八千九百〇一坪(時價三八七四、七二五圓)  
 民國營電氣部ノ發電機及汽機其他ノ資産(時價九六七、〇八七圓)及電  
 氣輸入純益一ヶ年見積額(一ヶ年四一九、八〇〇圓)  
 五、借 入 途 民間金融業者  
 花旗銀行ヨリ借入ノ埠頭築造費圓價、七拾貳萬弗及三菱公司ニ對スル發

(354)

(353)

電機代金年賦償却金拾九萬〇貳百貳拾五圓外ニ第三團債(土木費十萬弗)ノ殘三萬〇八百弗ヲ假ニ金銀同價トシテ計算スレハ合計概算九十五萬圓トシテ借換償還ス

殘金百四拾萬圓ハ不動産金融ノ爲貸付金ニ七十萬圓、天津輸出入及工業金融組合貸付金ニ四十萬圓天津邦人業務復活資金ニ三十萬圓ヲ振當ツ

東亞興業株式會社借入金ノ元金償還年度繰延及外務省貸下金五十萬圓ノ元金償還年度繰延及一定期間利息支拂ノ免除ヲ外務省ニ於テ認許セラレ度コト及本起債ニ付民間金融業者ニ對シ政府當局ノ紹介口添等ヲ煩ハシ度事

七、其他ノ條件

其ノ後二月十五日ニ至リ亞細亞局第二課ニ於テ研究中ノ第二案ニ關聯シ外務省ヨリ貸下金ノ償還延期及利息免除並東亞興業株式會社借入金ノ償還延期ノ必要トスル理由ヲ詳記セル書類ヲ提出方テ命セラレタルヲ以テ三委員會議議ノ上同二十日提出ス夫ヨリ三委員ハ願意ノ徹底カ四團ノ事情上頭ル困難ナルヲ感シ第二案ヲ以テ外務省ハ勿論大藏省當局橫濱正金銀行東亞興業株式會社等ノ間ヲ奔走シ各機關ノ諒解ヲ求メ且援助ヲ乞ヒ殆ント腕食ヲ忘レテ努力セラレシモノ一方行政委員會ニ於テハ異論アリテ可否ヲ決定シ得ザリシ際外務省ニ於テハ復興資金トシテ金五十萬圓借換ヘノ爲メ百萬圓計百五十萬圓ノ起債許可ノ内諾ヲ得タルヲ以テ茲ニ一樓ノ光明ヲ認メ直ニ民間借換ヘノ爲メ百萬圓十日行政委員會ハ民間起債ニ同意シタルヲ以テ三委員ハ更ニ正金銀行朝鮮銀行第一生命保險相互會社等ニ向テ交渉ヲ重テ恰モ當時天津總領事ニ新任ノ岡本總領事ノ特別ナル援助ヲ請フニ運動セシモ遂ニ決定ヲ見ルニ至ラス僅ニ、一ハ第一生命保險相互會社ヨリ百五十萬圓ヲ七分五厘ニテ貸

出ノ内意アルモ海外ノ天津居留民團ナルモノ、研究ヲ要スル爲メ來ル六月迄其決定ヲ保留セラレシト一ハ東京建物株式會社ニ於テ外務省ヨリノ依頼アレハ短期金五十萬圓ヲ年利九分内外ニテ貸出ニ應ムル旨内諾セルトノミナリシモ建物會社ノ分ハ利率高キニ失スルヲ以テ外務省ノ同意ヲ得難ク行政委員會ニ於テモ短期借入ハ借換ノ不能トナル場合及利率高キ點ヲ考慮シ之ヲ七分五厘以下トシテ交渉スルコトニ決定其旨上京委員ニ通知セリ

依テ上京委員ハ更ニ第一生命保險相互會社ニ向テ前記研究ヲ進意ニ進展セシムル様依頼シ建物會社ニ對シテハ如上ノ行掛ヲ説明シ若シ第一生命保險相互會社ノ方面不成立ノ際ハ年九分以内ニ應セラレ、コトニ口約ヲナシ最終殘留吉田委員ハ五月二十日東京出發歸津セラル

(四) 民會ニ對スル請願運動經過報告

昭和四年六月十一日午後五時公會堂ニ於テ民會議員ニ對スル上京委員ノ報告會ヲ協議會ノ形式ヲ以テ開會シ上京委員ヨリ運動ノ模様ヲ詳細説明シ且小林委員ハ更ニ在支中小商工業者ノ資力補救及發展トシテ在支各地ノ民間及商業會議所ヲ聯合シテ政府ニ對スル運動ヲ開始スル爲メ上海ニ委員ヲ派遣スルノ必要ヲ説述セラレタリ依テ行政委員會ハ之カ委員トシテ吉田房次郎氏及小林陽之助氏ヲ上海派遣委員トシテ交渉ヲ委囑シ其歸途吉田委員ハ直チニ上海ニ再ヒ實業復興資金借入運動ニ從事スルコトヲ委囑ス

(五) 第一生命保險相互會社ヨリ金三十萬圓借入ノ契約

七月十九日吉田委員ハ當地ヨリ大連及青島ヲ經テ上海ニ赴キ上海ヨリハ直チニ上海後東奔西走ノ結果八月二十九日ニ至リ遂ニ第一生命保險相互會社ヨリ金三十萬圓ノ期限、二年期間後十萬圓宛三ヶ年償還、利子年七分五厘土地担保ニテ借入ノコトニ決定直ニ行政委員會ハ吉田委員ニ假契約ノ締結

(356)

(355)

ヲ委囑シ全氏ハ之ヲ完了シ更ニ橫濱正金銀行保管ノ銀資金借入方ニ付外務省當局ニ依頼シ九月二十一日東京出發歸津セラル

茲ニ於テ行政委員會ハ昭和四年十月十五日第二十四次居留民會臨時會ヲ開會シ第一生命保險相互會社ヨリ團債起債ノ件及實業復興資金貸付方法ニ關スル條件ヲ附議シ民會ハ之ヲ可決十月八日監督官ノ認可ヲ得テ十二月二日左記更正證書ヲ作製契約ヲ了ス

第拾七號

抵當權設定金錢消費借貸契約公正證書

昭和四年拾貳月貳日在天津日本帝國總領事館ニ於テ本官ハ當事者双方ノ囑託ヲ受テ其陳述ヲ聞キ公正證書ヲ作成スルコト左ノ如シ

第壹條 借主天津居留民團(以下單ニ借主ト稱ス)ハ居留民會ノ決議及ヒ領事外務大臣ノ許可ニ基キ天津邦人實業復興資金トシテ貸主第一生命保險相互會社(以下單ニ貸主ト稱ス)ヨリ金拾萬圓ヲ借受ケタリ

第貳條 元金ハ借入ノ日ヨリ貳ヶ年間握置キ以後參商年間ニ左記ニヨリ分割償還スルモノトス

一、昭和七年拾月參拾壹日 金拾萬圓

一、昭和八年拾月參拾壹日 金拾萬圓

一、昭和九年拾月參拾壹日 金拾萬圓

但シ借主ノ都合ニヨリ隨時期限前償還ヲ爲スコトヲ妨ケス

第參條 利息ハ年七分五厘ノ割合トシ毎年貳月末日及ヒ八月末日ノ兩度ニ各其日迄ノ分ヲ支拂フモノトス

但シ最終ノ利息ハ元金ノ償還ト同時ニ支拂フモノトス

第肆條 元金又ハ利息ノ支拂ヲ滞滞シタル場合ニ於テハ其延滞期間金百圓ニ付キ日歩四錢ノ割合ヲ以テ延滞利息ヲ支拂フモノトス

第伍條 借主ハ本債務擔保ノ擔保トシテ其所有ニ屬スル末尾表示ノ不動産ニ對シ第壹條地位擔當權ヲ設定シタリ

借主ハ本契約締結後遲滞ナク貸主ト共ニ前項ニヨル不動産擔當權設定ノ登記手續ヲ爲スヘキモノトス

前項ノ登記手續トハ天津帝國專管居留地土地建物屆出規則ニヨル權利設定ノ届出ヲ指稱ス

第六條 前條ノ擔當物件ニ對シテハ借主ハ貸主ノ許諾ナクシテ之ヲ讓與シ又ハ處分シ若クハ其他直接間接ニ擔當物件ノ價格ヲ減シ又ハ減スル虞アルコトヲ爲スコトヲ得ス

借主カ期限内ニ於テ元金ノ一部ヲ償還シタルトキ又ハ貸主ノ認ムル相當ノ代擔保ヲ提供シタルトキハ本契約ニヨル擔當物件ノ一部ヲ解除スルコトヲ得

借主カ本借入金ノ用途ヲ誤リタルトキ又ハ本契約ニ違反シタルトキ若クハ擔當物件ノ所有權ヲ失フニ至リタル場合ニ於テハ期限ノ利益ヲ失ヒ債務金ノ一時辨濟ヲナスコトヲ承認シタリ

第七條 借主ハ本契約ニヨル債務ノ辨濟ヲ履行セザルトキハ直ニ強制執行ヲ受クルモ異議ナキコトヲ認諾シタリ

第八條 借主ハ本契約ニヨル擔當權實行ノ前後ナルト同時ナルト問ハス借主ノ他ノ財產

ニ對シテモ強制執行ヲ爲スコトヲ得ヘク且抵當物中ノ競賣スルニハ一併シテ競賣スルト  
 分割シテ競賣スルトハ貸主ノ任意トス  
 第九條 元利金其ノ他總テ金錢ノ支拂ハ貸主ノ本社又ハ其ノ指定シタル場所ニ於テナスヘシ  
 第十條 本契約ノ締結履行及抵當權實行ニ關スル一切ノ費用ハ借主ノ負擔トス  
 第十一條 本契約ニヨリ生スル權利義務ニ關シテハ東京地方裁判所ヲ以テ之レカ管  
 轄裁判所トス  
 當事者ノ表示左ノ如シ

東京市京橋區南馬場町參丁目五番地  
 貸主 第一生命保險相互會社  
 右 法律上 代理人 野 恒 太  
 取締役 矢 野 恒 太  
 天津日本租界宮島街七番地 六拾五年  
 右 代理人 石 川 四 拾 六 年  
 天津日本租界 福島街  
 借主 天津居留民團  
 右 法律上 代理人 野 壽  
 行政委員長 上 野 壽

(357)

(358)

(六) 實業復興資金運用ニ關スル諸條例ノ制定  
 十月十五日臨時民會ニ於テ實業復興資金運用方法ノ調査研究及立案ハ之ヲ行政委員會ニ一任スルコ  
 トニ決定セルヲ以テ行政委員會ニ於テハ審議ノ結果右ニ關スル特別調査委員會ヲ設ケ之ニ委嘱スル  
 ヲ適當ト認メ左記十一名ヲ委員ニ推薦ス  
 上 野 壽 澤原 靜 衛 田中 壽太郎 山 上 逸  
 吉田 房次郎 牧 尙 一 香川 正 一 粕谷 富太郎  
 砂田 實 小林 陽之助 金山 喜八郎  
 前記委員ハ十月三十日第一回委員會ヲ開會シ砂田實氏ヲ委員長ニ澤原靜衛氏ヲ副委員長ニ選舉シ慎  
 重ナル態度ヲ以テ資金ノ運用ニ關スル調査研究及規程ノ立案ニ當リ會議回數九回(爾後第二回ヲ十  
 一月五日第三回ヲ全七回第四回ヲ全十一日第五回ヲ全十五日第六回ヲ全十八日第七回ヲ全十九日第  
 八回ヲ全二十五日第九回ヲ全二十九日開會シ)審議ノ結果左記三條例案ヲ決定シ之ヲ行政委員會ニ  
 報告ス

一、實業復興資金特別會計條例案  
 二、興業資金貸付條例案  
 三、興業資金貸付條例案  
 (七) 實業復興資金運用ニ關スル諸條例ノ公布ト金融部ノ開設  
 行政委員會ハ實業復興資金運用委員會ノ報告ニ基キ(十一月二十七日及二十八日ノ二回ニ亙リ)

以下略ス 六拾壹年

前記三條例案ヲ審議一部ノ修正ヲ加ヘ之ヲ昭和四年度ノ豫算案ト共ニ十二月五日第二十六次居留民  
 會臨時會ニ附議シ全民會ハ興業資金貸付條例ヲ修正可決其他ハ原案通り可決セシヲ以テ直ニ監督官  
 ノ認可ヲ受ケ十二月六日實業復興資金特別會計條例興業資金貸付委員會條例興業資金貸付條例ヲ制  
 定公布ヲ了ス  
 次テ行政委員會ハ十二月四日民團金融部規程ヲ決定シ十二月十一日監督官ノ認可ヲ得テ公布シ金融  
 部職員ノ任命ヲナシ昭和四年十二月十三日ヨリ金融部ヲ開設ス

二、金融部事務報告

昭和四年十二月十三日民團告示第五六號ヲ以テ金融部ヲ開設シ即日ヨリ昭和四年十二月六日告示條  
 例第三號ニ依ル興業資金ノ取扱事務ヲ開始ス  
 早天ニ惡雨ノ如ク期待セラレタル融通資金ハ果シテ豫想以上ノ申込數ニ昇リ月末迄ニ合計七十三口  
 金額十五萬七千五百弗ニ達セリ  
 之ヨリ先資金貸付委員會ハ歲末ノ金融ニ資セン爲メ委員任命ノ翌十四日ヨリ連續會議ヲ開キ條例及  
 規程ニ基キ晝夜兼行實際方法ニ關スル貸付細則及貸付内規ノ立案、證書、簿表、様式等ヲ作成シ引  
 續キ貸付申込ニ對シテ審議ヲ重ネ二十六日迄ニ六十九口ノ審査ヲ了シ三〇口銀四萬壹千五百弗ノ貸  
 付ヲ決定セシヲ以テ金融部ハ委員會決定ノ分ニ對シテ逐次公正證書作成登記手續及貸付金交付手續ヲ  
 爲シ貸付見合セ返却分ニ對シテハ申込書及附屬書類ヲ返送シ審査保留持越ノ分ニ對シテハ其旨夫々  
 申込人ニ返却及通知狀ヲ發セリ一方資金ハ民團會計主任ノ取計ニヨリ豫定ノ通り到着セシヲ以テ地  
 銀ニ交換ノ上三十日迄ニ悉皆各本人ニ貸付ヲ了セルハ快欣ニ堪ヘサル處ニシテ之全ク歲末多忙ノ時  
 機ニ保ラズ監督官廳ニ於テ取扱上特別ノ便宜ヲ與ヘラレタル資金貸付委員ノ精勵努力ノ結果ニ外  
 ナラス

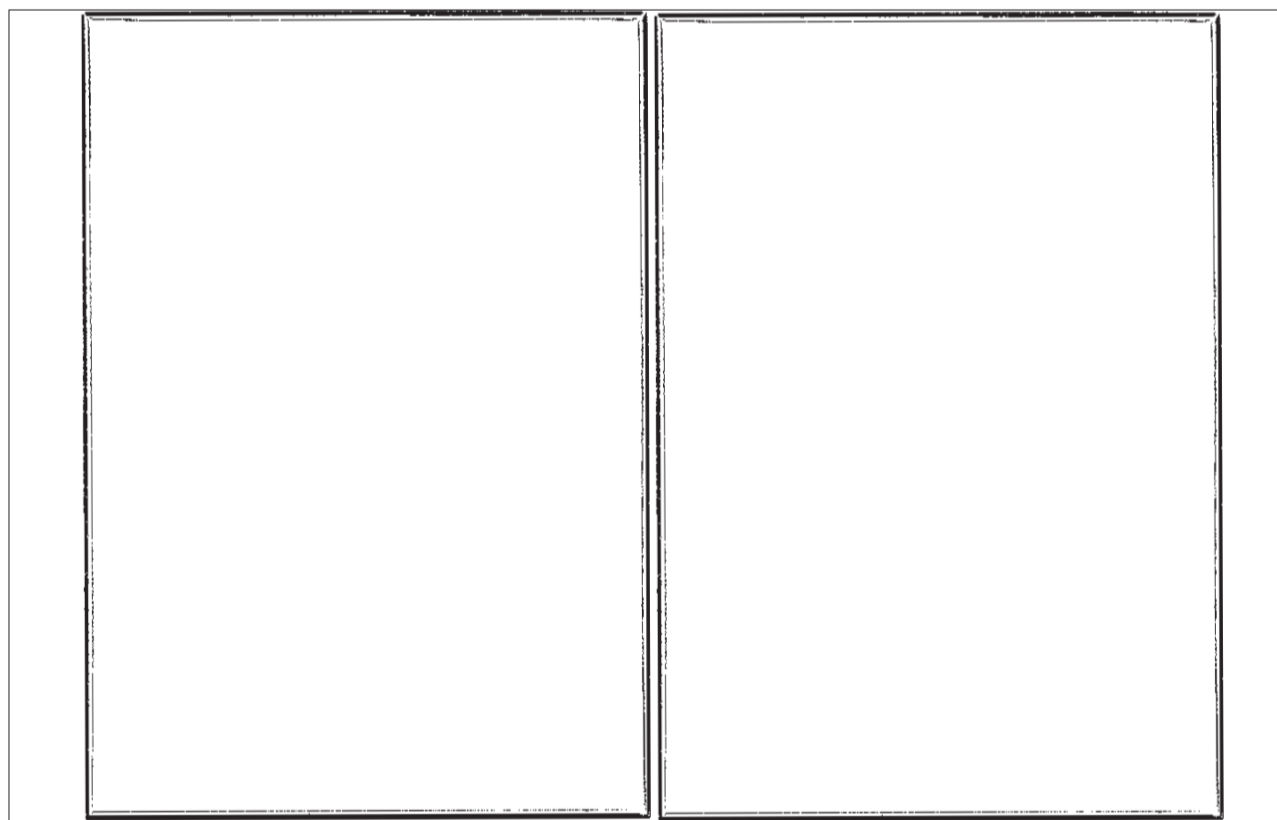
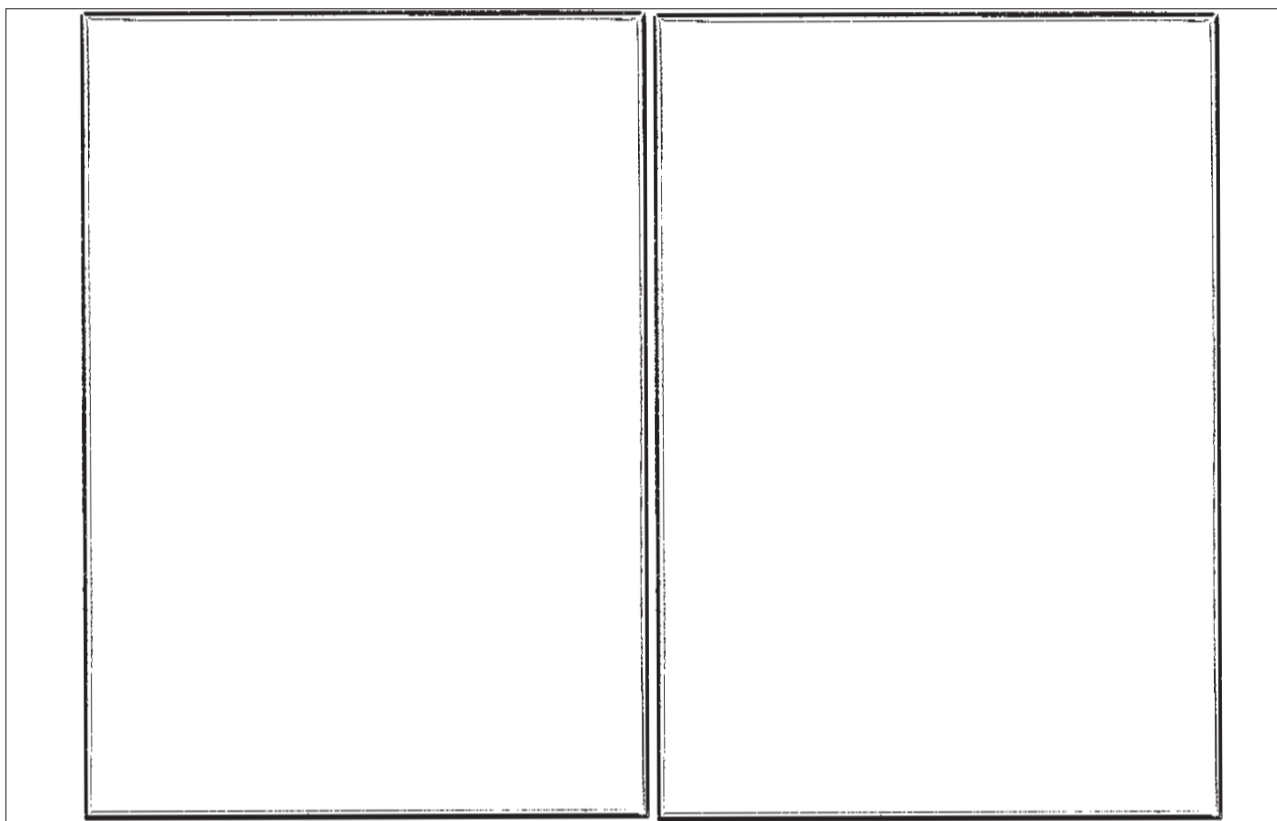
(359)

(360)

金融部ハ改廢下件ニ本資金ノ爲メニ一層ノ努力ヲ致サント欲ス  
 一、十二月末日ニ於ケル興業資金ノ實況左ノ如シ  
 貸付申込口數及金額合計 七三〇口 銀 一五七、五〇〇弗  
 特別貸付申込金額合計 一〇〇口 銀 五〇、〇〇〇弗  
 貸付決定高 三〇〇口 銀 四一、五〇〇弗  
 全還減高 (三〇〇口) 銀 一六、五〇〇弗  
 保留翌年へ持越高 二二〇口 銀 四七、〇〇〇弗  
 全特別貸付 一〇〇口 銀 五〇、〇〇〇弗  
 貸付見送り返却高 一六〇口 銀 三五、〇〇〇弗  
 取消申出高 二〇〇口 銀 三、〇〇〇弗  
 申込高 四〇〇口 銀 一四、五〇〇弗  
 二、主ナル事項及會議左ノ如シ  
 十二月十三日 會長名ニテ興業資金貸付委員會推薦中ノ處認可及總領事指名發表ニ付承諾及將來盡力  
 方ニ付依頼狀ヲ發ス  
 十二月十四日 於會議室第一回貸付委員會開會  
 貸付委員長ニ砂田氏 副委員長ニ 牧氏 當選ス

	<p>十二月十七日 於會議室第二回貸付委員會開會 全 日 資金貸付細則決定ニツキ行政委員會ニ報告ノ上領事館ニ認可申請手續ヲ依頼ス</p> <p>全 十八日 於會議室第三回貸付委員會開會 資金貸付委員會内規ヲ決定シ取扱秘密トシ行政委員長宛報告ス</p> <p>十二月十九日 公告第五九號ヲ以テ興業資金貸付細則ヲ發表ス</p> <p>全 二十日 於金融部第四回貸付委員會開會</p> <p>全 二十三日 第五回貸付委員會全斷</p> <p>全 二十六日 第六回 全斷</p> <p>全 日 行政委員會ニ金融部現況ヲ報告ス</p> <p>全 二十七日 貸付決定及見送り並保留越年ノ分ニ對シ夫々返却及通知狀ヲ發ス</p> <p>全 日 興業資金ニ對スル現況ヲ監督官、行政委員會ニ報告ス</p> <p>全 三十日 本年度貸出資金其他ニ對スル實況ヲ貸付委員及監督官ニ報告ス</p> <p>全 日 本年度貸付ニ對スル公正證書登記及貸付金支出ヲ完了ス</p>
--	---

--	--





(362)

民團財產明細書

(昭和四年十二月)

資産ノ部

一、銀四百八十七萬六千四百七十八仙也

(土地)

名稱	面積	現在價格(時價)	摘要
官有地拂下宅地	四、四四四	三、九三三〇五	胡同一、二七坪七〇六(含七)
低價買收宅地	四〇、三三六	一、五二一、四三三	
松島街舊變電所敷地	四、〇〇〇	一、〇〇〇	
橋立街變電所	四、〇〇〇	一、〇〇〇	
山口街柳筒所	三、〇三三	三、六八五	
本願寺及公設墓地一圓	二、五九九	六、三三四	

(363)

名稱	面積	現在價格(時價)	摘要
避病院及軍病院(一部)敷地	三、五三六	一、四〇、三三六	
基督教會敷地	三、九六九	一〇、三三三〇〇	
其他租界內宅地	三、七四三	九、三三三	
埠頭用地買收地	一、七三六	九、〇〇〇	
埠頭用地並倉庫用地買收地	三、三三三	三〇、〇〇〇	
海光寺外舊墓地	九、四〇〇	一、〇〇〇	
全 海光寺外舊葬場	一、〇〇〇	五〇〇	
全 海光寺外學校運	七、七六〇	六、九八八	
全 勸業豫定地	二、八三三	一、四四四	
全 上	一、九三三	三、七〇〇	
全		三、七〇〇	

日本租界內宅地總面積九萬四千三百六十一坪一合三勺一才  
 總價格四百七十五萬八千四百八十二仙〇七仙  
 租界外土地總面積一萬三千〇三十三坪六合四勺八才  
 總價格十一萬七千九百八十八仙八十一仙  
 全 土地(道路及胡同)之部(無道路及胡同)價格

(364)

一、道路及胡同總面積

五萬九千一百七十四坪一合四勺五才

内

一、銀五拾萬〇貳拾弗拾六仙也

(建物及附帶物)

名稱	面積	前年度價格	本年增	本年減	本年度現在價格	摘要
官有地拂下宅地内道路(リタルモ)	一、一六〇	七六八			七六八	拂下當時ノ既成道路ヲ含マス
低價買收土地道路	五、八四〇	一六三			一六三	
寄附道路	二、九六三	三四三			三四三	
右ノ除ク道路其他	四、六四二	七三二			七三二	
胡同	二、七八七	一四〇			一四〇	
部圖書及附屬家一式	五、〇八四	八〇六		七〇〇	一〇、九六六	増武齋館及附屬家新築 減在來調理室取毀シ建坪四坪

(365)

名稱	前年度價格	本年增	本年減	本年度現在價格	摘要
橋街、花園式	九、七〇五			九、七〇五	
吏員宿舍一式	一、六九五			一、六九五	
正門一式	九、四八五			九、四八五	
暖房裝置一式	一、九九支			一、九九支	
下水道敷設一式	二、六三三			二、六三三	
合 計	二六、五〇三		七〇〇〇	二五、八〇三	武齋館暖房新設ポンプ一ヶ所 以上事務所ノ部
神社、拜殿本殿其ノ他	八、六三七			八、六三七	
社務所其ノ他	二、一〇二			二、一〇二	
鳥井、參道、神燈一式	五、五三七			四、九三五	奉齋殿寄附金ニヨリ新築
合 計	一六、二三二			一六、三三七	以上神社ノ部
御眞影奉安所	九、九〇〇			九、九〇〇	
玉垣其ノ他	一、六八七			一、六八七	
校舍及附屬家一式	一、八三〇			一、八三〇	便所ベンチレーター新設
煉瓦塔壁其他	八、七四〇			八、七四〇	
伏見街教員宿舍一式	三、四七五			三、四七五	
暖房裝置一式	三、四七五			三、四七五	







	<p style="text-align: center;">内 譯</p> <p>一、銀四萬八千零八拾八兩貳拾四仙也        有價証券及濟安自來水公司株貳千株四萬弗        天津銀行預入金 銀五千五百兩ノ換算額</p> <p>二、銀四萬八千四百四拾六兩六拾六仙也        天津銀行預入金</p> <p>三、銀參萬七千五百五拾四兩五拾壹仙也        正金銀行預入金</p> <p>四、銀壹萬四千五百四拾六兩九拾七仙也        現金</p> <p>合 計 銀六萬八千八百五拾七兩七拾八仙也        金參拾貳萬貳千四百五拾五圓九拾九錢也</p> <p>負 債 ノ 部</p> <p>一、銀貳萬貳千弗也        下水暗渠及道路製造工費正金外二銀行ヨリ借入金</p> <p>二、上海通用銀六拾參萬五千兩        土地家屋買收費東亞興業株式會社ヨリ借入金</p> <p>三、銀七拾貳萬弗也        埠頭築造ノ爲花旗銀行ヨリ借入金</p> <p>四、金五拾萬圓也        全 外務省ヨリ借入金</p> <p>五、金參拾萬圓也        復興資金第一生命保險相互會社ヨリ借入金</p> <p>六、金拾六萬四千二百四圓也        渡電所機械及汽罐代金三菱商會社ヨリ購入分未拂額</p> <p>合 計 上海通用銀六拾參萬五千兩也        金九拾六萬四千貳百四圓也</p>
--	--

--	--

